

福山市

2023年度

今津20号線・仲間橋(23-1)

広島県福山市 今津町 地内

橋梁災害復旧工事実施設計書

工事概要

工事延長	L =	52.4 m
橋長	L =	55.6 m
有効幅員	W =	4.5 m
橋台工	N =	1 基 (V=72m ³)
橋脚工	N =	1 基 (V=111m ³)
鋼管杭打込工φ600	N =	8 本
鋼管杭打込工φ800	N =	9 本
間知ブロック張工	A =	58 m ²
仮設土留工		一式
ヤード整備工		一式

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、橋梁災害復旧工事（今津20号線・仲間橋）(23-1)に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和5年8月 広島県 土木工事共通仕様書，「設計図書（別冊図面，仕様書）」，「福山市建設工事執行規則」，「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
「令和5年8月 広島県 土木工事共通仕様書の1-1-1-26 週休二日の対応」は本工事においては適用しない

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 施工承認図の作成

- ・受注者は、受注後、設計図書に基づき現地を照査し、施工承認図を作成し監督員に提出すること。

第5節 情報共有システム

- 1 本工事は、受注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 受注者は、情報共有システムの利用対象としないことを希望する場合は、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し、承諾を得ること。
- 4 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、（一社）広島県土木協会に利用申込みを行い、利用料を支払うものとする。
- 5 受注者は、情報共有システムの利用にあたり、情報共有システム利用手引に基づき運用すること
- 6 工事情報共有システムの完了後のデータ受理方法について
作成者：受注者
納品方法：CD、DVD
作成方法：「情報共有システム→共有書類・検査支援→一括ダウンロードしたデータ

第6節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第7節 工事に着手すべき期日について（特別な事情がある場合）

本工事は河川管理者との協議により、2024年（令和6年）6月16日から2024年（令和6年）10月20日の間、本体工事及び仮設工事を施工してはならない。

第8節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第9節 保安施設設置基準について

- ・工事標示板及び工事説明看板の挨拶文の記載については、広島県保安施設設置基準に準じたものにする。

第10節 再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2章 材料

第1節 大型土のう

・次のいずれかの要件に該当する場合は、袋体が破損する恐れがあるので「耐候性大型土のう積層工法」設計・施工マニュアル第2回改訂版（令和5年5月）で要求される性能（19項目）を全て満たした製品を使用すること。

- (1) 要領1m³当たりの中詰材重量が10kNを超える場合（20kN未満）
- (2) 2か月を超えて屋外へ使用する場合（3年未満）

第2節 コンクリートの配合指定

・鉄筋コンクリート（呼び強度21及び24）の水セメント比については55%以下、無筋構造物のコンクリート（呼び強度18）の水セメント比については60%以下とすること。

第3章 施工条件

第1節 関連する別途工事

- ・工事名：下水道移設工事
- ・他工事の内容：下水道管移設

第2節 工事支障物件

- ・調査項目：地下埋設物位置確認
- ・調査時期：工事着手前
- ・移設期間：工事期間中
- ・提出書類：受注者は、工事着手に先立ち、水道管、ガス管、その他の地下埋設物の調査を行い、施工による不測の事態に対処するため、各管理者（水道管の場合は監督員）に誓約書を提出すること。

第3節 道路工事に伴う中国電力の架空線の防護管に要する費用について

工事区域上空の架空線の防護管に要する費用については、現在見込んでいない。ただし、架空線等事故防止対策簡易ゲートに要する費用については、安全費として共通仮設費率に含んでいる。架空線に近接した工事の施工に当たって、架空線管理者又は防護管施工会社（以下、「架空線管理者等」という）との協議により、架空線管理者等から防護管に要する費用負担を求められた場合、工事打合せ簿により監督職員と協議し、設計変更の対象とする。設計変更の対象として認められる場合は、架空線管理者等からの見積書を提出すること。

第4節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第5節 公害防止

騒音規制法及び振動規制法に定める特定建設作業を行う場合は、事前に特定建設作業実施届出書を福山市経済環境局環境部環境保全課に提出すること。

第6節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第7節 任意仮設

- ・本工事に伴う以下の内容の仮設工は、積算用参考図に見込んでいる。なお、積算用参考図は任意仮設の積算内容を示したものであり、工事目的物を完成させるための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。ただし、別途提示する河川管理者の許可条件を遵守するものとする。
- ・内容：作業ヤード整備工一式、仮設土留工一式

第8節 購入土（搬入）（建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土）

- ・本工事では、土砂購入を見込んでいる。
- ・当該工事に使用する購入土は、建設発生土処分先一覧表に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土（改良土を含む。）を使用するものとする。積算にあたっては、運搬費と処理土購入費（工場渡し）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き購入土に要する費用（単価）は変更しない。
- ・上記により使用することとしている処理土について、何らかの事情によりその使用が困難である場合は、設計図書の内容について監督員と協議すること。
- ・使用する処理土がセメント及びセメント系固化材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。

第9節 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

- ・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、監督員と受注者が協議するものとする。
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
- ・実施伝票は原本を提出すること。

第10節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

- ・令和5年8月 広島県 土木工事共通仕様書で使用を義務づけている排出ガス対策型建設機械においては、第三次基準以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 その他

第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

第2節 現場標示板等について

- 「第20 回世界バラ会議福山大会2025」の周知と機運醸成を図るため、現場標示板等へ大会ロゴの標示について、ご協力をお願いします。
- ・使用するロゴは「第20 回世界バラ会議福山大会2025 ロゴ利用規程」に沿ったものとする。
- ・「第20 回世界バラ会議福山大会2025 ロゴ利用規程」に定められた「大会ロゴ利用許諾申請書」の提出は不要とする。
- ・使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意すること。
- ・大会ロゴの標示については任意事項とし、標示に必要な経費は工事費に計上しない。
- ・ロゴ標示期限は2026年（令和8年）3月31日とする。（デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へお問い合わせください。）

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 70 福山市 00-06.01.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 02 河川・道路構造物工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁下部					Y1E05 レベル1
橋台工	1	式			Y1E0505 レベル2
作業土工	1	式			Y1E050501 レベル3
床掘り 【土質】	1	式			Y1E05050102 レベル4
床掘り 土砂 標準 切梁腹起式 障害無し	130	m3			SPK23040015 00 単第0 -0001 表
床掘り 土砂 標準 切梁腹起式 障害有り	100	m3			SPK23040015 00 単第0 -0002 表
埋戻し 【土質区分,土質】		m3			Y1E05050103 レベル4
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	150	m3			SPK23040020 00 単第0 -0003 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 【土質】		m3			Y1E05050111レベル4
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離5.0km以下(3.5km超)	60	m3			SPK23040002 00 単第0 -0004 表
残土等処分 【土質】		m3			Y1E05050306レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処理費 礫質土	60	m3			T9998 00
既製杭工	1	式			Y1E050503 レベル3
積込(ルーズ) 【土質】		m3			Y1E05050302レベル4
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	20	m3			SPK23040007 00 単第0 -0005 表
土砂等運搬 【土質】		m3			Y1E05050305レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離5.0km以下(3.5km超)	270	m3			SPK23040002 00 単第0 -0004 表
残土等処分 【土質】		m3			Y1E05050306レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処理費 礫質土	270	m3			T9998 00
鋼管杭 【鋼管径(杭径), 鋼管長さ(杭長)】		本			Y1E05050309レベル4
鋼管杭打込工 (中掘工グラウト注入) 600mm以上 700mm未満 平均N値20未満 杭先端岩盤閉塞	8	本			V03830 00 単第0 -0006 表
鋼管杭杭頭処理工 鋼管杭板厚(8mm~10mm)	30	m			S0413 00 単第0 -0010 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB バックハウ(クレーン機能付)打設	2	m3			SPK23040154 00 単第0 -0012 表
鉄筋工 SD345_D13 一般構造物 [規]10t以上	0.23	t			SS000099 00 単第0 -0013 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鉄筋工 SD345_D16～D25 一般構造物 [規]10t以上	1.14	t			SS000099 00 単第0 -0014 表
現場取卸(鋼管杭)		t			Y1E05050310レベル4
現場取卸(鋼管杭)	13.4	t			SPK23040149 00 単第0 -0015 表
橋台躯体工	1	式			Y1E050508 レベル3
基礎材 【基礎材規格(砕石の場合等),敷厚】		m2			Y1E05050801レベル4
基礎砕石 砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下 RC-40	36	m2			SPK23040034 00 単第0 -0016 表
均しコンクリート 【Co規格,敷厚】		m2			Y1E05050802レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックハウ(クレーン機能付)打設	4	m3			SPK23040154 00 単第0 -0017 表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	3	m2			SPK23040156 00 単第0 -0018 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 【Co規格,養生費,Co夜間割増の有無】		m3			Y1E05050803レベル4
橋台・橋脚コンクリート打設 24-12-20(25)BB	72	m3			S3080 00 単第0 -0019 表
鉄筋 【鉄筋材料規格・径】		t			Y1E05050804レベル4
鉄筋工 SD345_D13 一般構造物 [規]10t以上	0.48	t			SS000099 00 単第0 -0022 表
鉄筋工 SD345_D16~D25 一般構造物 [規]10t以上	2.11	t			SS000099 00 単第0 -0023 表
機械式継手工 ねじ節鉄筋継手_D16 有機系グラウト材_ロックナット無	4	箇所			VS0000991 00 単第0 -0024 表
型枠 【型枠の種類】		m2			Y1E05050805レベル4
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	87	m2			SPK23040156 00 単第0 -0025 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	0.5	m2			SPK23040156 00 単第0 -0025 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
円形紙管 150×3.5	4	m			T2170011 00
RC橋脚工	1	式			Y1E0506 レベル2
作業土工	1	式			Y1E050601 レベル3
床掘り 【土質】		m3			Y1E05060102レベル4
床掘り 土砂 標準 切梁腹起式 障害無し	140	m3			SPK23040015 00 単第0 -0001 表
床掘り 土砂 標準 切梁腹起式 障害有り	210	m3			SPK23040015 00 単第0 -0002 表
床掘り 土砂 掘削深さ5m超20m以下 切梁腹起式 障害有り	20	m3			SPK23040015 00 単第0 -0026 表
埋戻し 【土質区分,土質】		m3			Y1E05060103レベル4
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	270	m3			SPK23040020 00 単第0 -0003 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 【土質】		m3			Y1E05060111レベル4
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離5.0km以下(3.5km超)	70	m3			SPK23040002 00 単第0 -0004 表
残土等処分 【土質】		m3			Y1E05060306レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処理費 礫質土	70	m3			T9998 00
既製杭工	1	式			Y1E050603 レベル3
積込(ルーズ) 【土質】		m3			Y1E05060302レベル4
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	10	m3			SPK23040007 00 単第0 -0005 表
土砂等運搬 【土質】		m3			Y1E05060305レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離5.0km以下(3.5km超)	490	m3			SPK23040002 00 単第0 -0004 表
残土等処分 【土質】		m3			Y1E05060306レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処理費 礫質土	490	m3			T9998 00
鋼管杭 【鋼管径(杭径), 鋼管長さ(杭長)】		本			Y1E05060309レベル4
鋼管杭打込工 (中掘工グラウト注入) 800mm以上 900mm未満 平均N値20以上40未満 杭先端岩盤閉塞	9	本			V03831 00 単第0 -0027 表
鋼管杭杭頭処理工 鋼管杭板厚(8mm~10mm)	45	m			S0413 00 単第0 -0010 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB バックハウ(クレーン機能付)打設	4	m3			SPK23040154 00 単第0 -0012 表
鉄筋工 SD345_D13 一般構造物 [規]10t以上	0.28	t			SS000099 00 単第0 -0013 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鉄筋工 SD345_D16～D25 一般構造物 [規]10t以上	1.19	t			SS000099 00 単第0 -0014 表
現場取卸(鋼管杭)		t			Y1E05060310レベル4
現場取卸(鋼管杭)	12.5	t			SPK23040149 00 単第0 -0015 表
橋脚躯体工(構造物単位)	1	式			Y1E050608 レベル3
壁式橋脚 【高さ区分,打設量化粧型枠の有無】		m3			Y1E05060802レベル4
壁式橋脚 100m3以上280m3未満 (H5m以上15m未満) 24-12-25(20) BB	111	m3			S3074 00 単第0 -0029 表
鉄筋 【鉄筋材料規格・径】		t			Y1E05060803レベル4
鉄筋工 SD345_D16～D25 一般構造物 [規]10t以上	5.59	t			SS000099 00 単第0 -0023 表
鉄筋工 SD345_D29～D32 一般構造物 [規]10t以上	4.94	t			SS000099 00 単第0 -0030 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鉄筋工 SD345_D35 一般構造物 [規]10t以上	2.08	t			SS000099 00 単第0 -0031 表
円形紙管 150×3.5	3	m			T2170011 00
法覆護岸工	1	式			Y1E0510 レベル2
作業土工	1	式			Y1E051001 レベル3
床掘り 【土質】	1	式			Y1E05100102 レベル4
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	70	m3			SPK23040015 00 単第0 -0032 表
埋戻し 【土質区分,土質】		m3			Y1E05100103 レベル4
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準)	40	m3			SPK23040007 00 単第0 -0033 表
土砂等運搬 【土質】		m3			Y1E05100111 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離5.0km以下(3.5km超)	30	m3			SPK23040002 00 単第0 -0004 表
残土等処分 【土質】		m3			Y1E05060306 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処理費 礫質土	30	m3			T9998 00
コンクリートブロック工(間知ブロック張)	1	式			Y1E051004 レベル3
コンクリートブロック基礎 【Co規格,底幅,高さ】		m			Y1E05100401 レベル4
現場打基礎コンクリート 18-8-40BB 基礎砕石無し	3	m3			SPK23040049 00 単第0 -0034 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックハウ(クレーン機能付)打設	1	m3			SPK23040154 00 単第0 -0017 表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	3	m2			SPK23040156 00 単第0 -0018 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
間知ブロック張 【ブロック規格,裏込材規格】 【胴込・裏込Co規格,遮水シートの有無】		m2			Y1E05100405レベル4
間知ブロック張 150kg/個未満(各種) 砕石不要 18-8-40BB	58	m2			SPK23040038 00 単第0 -0035 表
胴込・裏込材(砕石) 間知・平・連節・緑化ブロック RC-40	18	m3			SPK23040045 00 単第0 -0036 表
護岸付属物工	1	式			Y1E051008 レベル3
巻止コンクリート 【Co規格,幅,高さ】		m			Y1E05100808レベル4
小型擁壁 擁壁平均高さ0.8m以上1.0m以下 18-8-40BB 基礎砕石無し	5	m3			SPK23040069 00 単第0 -0037 表
天端コンクリート 【Co規格】		m3			Y1E05100407レベル4
現場打天端コンクリート 18-8-40BB 一般養生	0.8	m3			SPK23040052 00 単第0 -0038 表
平張コンクリート 【Co規格,底幅,天端幅,高さ】		m2			Y1E05100810レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	3	m3			SPK23040154 00 単第0 -0039 表
基礎砕石 砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下 RC-40	15	m2			SPK23040034 00 単第0 -0016 表
目地板 1工事当り使用量30m2未満 瀝青繊維質目地板 t=10mm	7	m2			SPK23040122 00 単第0 -0040 表
仮設工	1	式			Y1E0512 レベル2
工事用道路工	1	式			Y1E051201 レベル3
仮設舗装		m2			Y1E05120105 レベル4
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工	28	m2			SPK23040234 00 単第0 -0041 表
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上厚50mm	28	m2			SPK23040241 00 単第0 -0042 表
仮区画線工	1	式			Y1E051220 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮区画線 【施工方法区分,規格・仕様区分】 【塗布厚,排水性舗装の有無,塗料規格】		m			Y1E05122001 レベル4
区画線設置(ペイント式) 水性型(常温式) 実線_15cm	30	m			SDT00003 00 単第0 -0043 表
交通管理工					Y1E051221 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員		人			Y1E05122101 レベル4
交通誘導警備員B	125	人			R0369 00
交通誘導警備員B 2交替(1の組) 基準額 所定時間 8時~17時(8時間)	21	人			R0369 00
交通誘導警備員B 2交替(2の組) 基準額 所定時間 20時~5時(8時間)	21	人			R0369 00
交通誘導警備員		人			Y1E05122101 レベル4 H=0.468957871
交通誘導警備員B 2交替(1の組) 基準額*割増対象賃金比*1/8*1.25*3 時間外割増 17時~20時(3時間)	21	人			R0369 00

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員B 2交替(2の組) 基準額*割増対象賃金比*1/8*1.25*3 時間外割増 5時~8時(3時間)	21	人			R0369 00
交通誘導警備員		人			Y1E05122101レベル4 H=0.186252771
交通誘導警備員B 2交替(2の組) 基準額*割増対象賃金比*1/8*0.25*6 深夜割増 22時~5時(6時間)	21	人			R0369 00
全工種共通仮設					Y1J01 レベル1
仮設工	1	式			Y1J0101 レベル2
土留・仮締切工	1	式			Y1J010104 レベル3
鋼矢板 【鋼矢板型式,平均鋼矢板長さ】 【鋼矢板打込長,平均鋼矢板引抜長】	1	式			Y1J01010402レベル4
鋼矢板圧入(Nmax 25) 陸上施工 3型 圧入長(m)_9以下(6超)	90	枚			S0440 00 単第0 -0044 表
鋼矢板引抜き 陸上施工 3型 引抜長(m)_9以下(6超)	90	枚			S0454 00 単第0 -0047 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼矢板圧入(Nmax 50) 25<Nmax 50 陸上施工 3型 圧入長(m)_12以下(9超)	84	枚			S0450 00 単第0 -0048 表
鋼矢板引抜き 陸上施工 3型 引抜長(m)_12以下(9超)	84	枚			S0454 00 単第0 -0050 表
油圧式杭圧入引抜機据付・解体 圧入(Nmax 25) III型	1	回			S0458 00 単第0 -0051 表
油圧式杭圧入引抜機据付・解体 圧入(Nmax 50) III型	1	回			S0458 00 単第0 -0052 表
油圧式杭圧入引抜機据付・解体 引抜き III型	2	回			S0458 00 単第0 -0053 表
鋼矢板3型賃料【橋台】 1回使用 供用日数50日	51.3	t			S0850 00 単第0 -0054 表
鋼矢板3型賃料【橋脚】 1回使用 供用日数74日	55.4	t			S0850 00 単第0 -0055 表
切梁・腹起し		t			Y1J01010414レベル4
切梁・腹起し設置,撤去【橋台】 設置	7.3	t			SHD10019 00 単第0 -0056 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
切梁・腹起し設置,撤去【橋台】 撤去	7.3	t			SHD10019 00 単第0 -0057 表
山留材質料【橋台】 H-350,150kg/m及びH-300,100kg/m	5.8	t			SHD10013 00 単第0 -0058 表
切梁・腹起し設置,撤去【橋脚】 設置	10.6	t			SHD10019 00 単第0 -0059 表
切梁・腹起し設置,撤去【橋脚】 撤去	10.6	t			SHD10019 00 単第0 -0060 表
山留材質料【橋脚】 H-300,100kg/m	8.4	t			SHD10013 00 単第0 -0061 表
水替工	1	式			Y1J010106 レベル3
ポンプ排水 【排水量,排水方法】		日			Y1J01010601 レベル4
ポンプ設置・撤去	1	箇所			SHD10037 00 単第0 -0062 表
ポンプ運転 排水量 0以上40未満 (m3/h) 作業時排水	13	日			S1050031 00 単第0 -0064 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
作業ヤード整備工					Y1J010110 レベル3
	1	式			
ヤード造成					Y1J01011001 レベル4
		m2			
大型土のう製作・設置(RTC設置)					SHD10005 00
	234	袋			単第0 -0067 表
大型土のう設置 作業半径 6mを超え20m以下					SHD10009 00
	228	袋			単第0 -0069 表
大型土のう撤去 作業半径 6m以下					SHD10011 00
	234	袋			単第0 -0070 表
処理土					F0000000100 00
	1,100	m3			
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離8.0km以下(6.5km超)					SPK23040002 00
	1,100	m3			単第0 -0072 表
路体(築堤)盛土 施工幅員4.0m以上 施工数量10,000m3未満 障害無し					SPK23040004 00
	1,300	m3			単第0 -0073 表
掘削 土砂 オープンカット 押土有り 普通土30,000m3未満又は湿地軟弱土					SPK23040001 00
	840	m3			単第0 -0074 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満	1,200	m3			SPK23040001 00 単第0 -0075 表
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	1,600	m3			SPK23040007 00 単第0 -0005 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離5.0km以下(3.5km超)	1,800	m3			SPK23040002 00 単第0 -0004 表
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し クレーン装置付BT2t級2.9t吊	0.7	t			SPK23040411 00 単第0 -0076 表
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離20.0km以下(17.0km超)	0.7	t			SPK23040410 00 単第0 -0077 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処理費 礫質土	1,800	m3			T9998 00
廃プラスチック処理費 大型土のう 耐候性1年	700	kg			F0000000110 00
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運搬費					Z0004
運搬費					YZZ04 レベル2
運搬費	1	式			YZZ04001 レベル3
運搬費	1	式			YZZ04001003 レベル4
重建設機械分解組立輸送費					YZZ04001003 レベル4
重建設機械分解組立輸送 クローラ式杭打機 100t超え150t以下		回			S1000017 00
	2	回			単第0 -0078 表
重建設機械分解組立輸送 クローラクレーン系 35t吊超え80t吊以下		回			S1000017 00
	2	回			単第0 -0079 表
仮設材運搬費					YZZ04001004 レベル4
		t			
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 54.7km 製品長 12m以内					S1000007 00
	1	式			単第0 -0080 表
技術管理費					Z0006

本工事費 内訳表

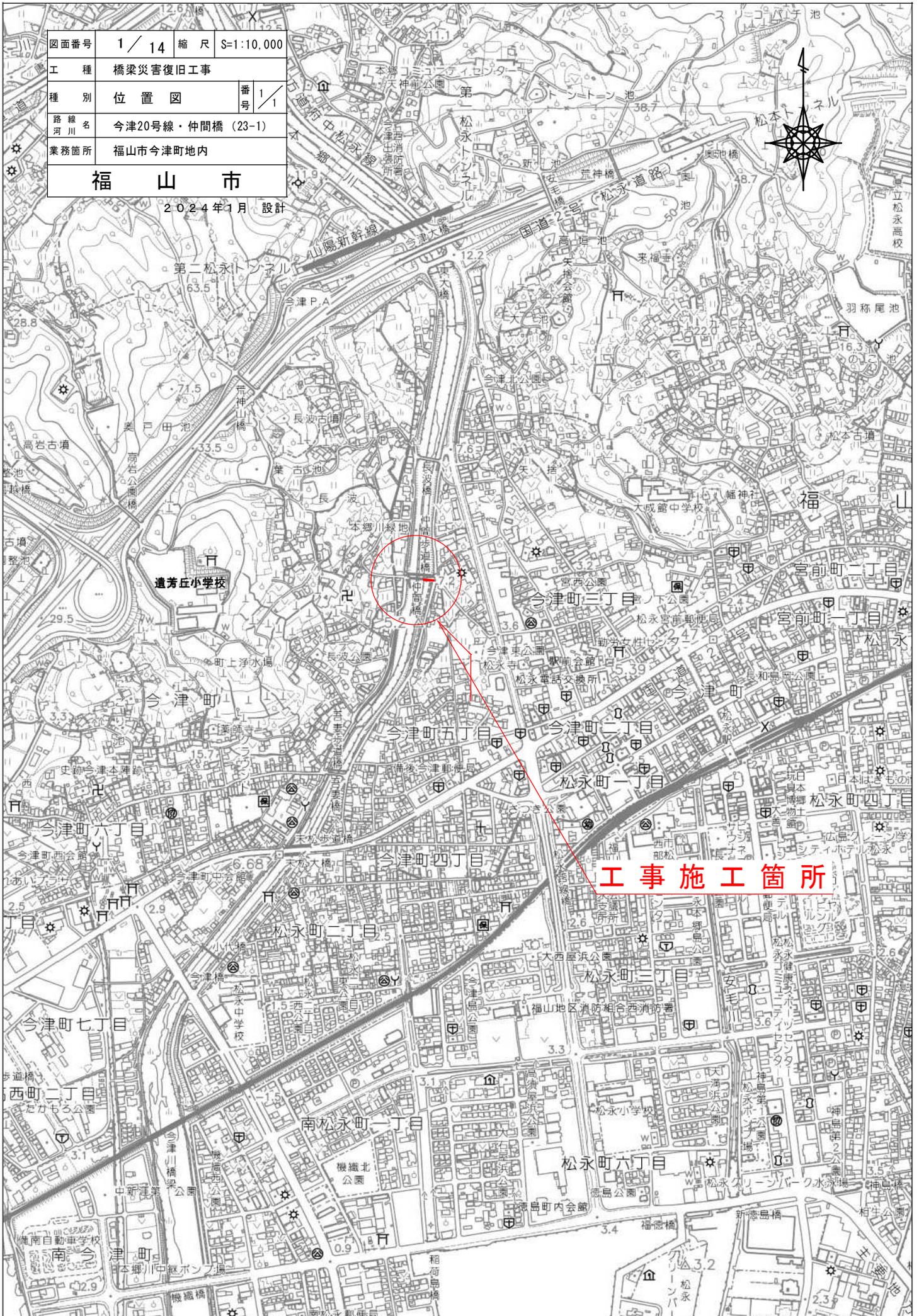
費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
技術管理費					YZZ06 レベル2
	1	式			
技術管理費					YZZ06001 レベル3
	1	式			
地質試験費					YZZ06001002 レベル4
		式			
【設計経費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0048
環境庁告示第46号溶出試験 六価クロム溶出試験費 試験方法2					TH003914 00
	3	試料			
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理费率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費計 **					
** 契約保証費計 **					

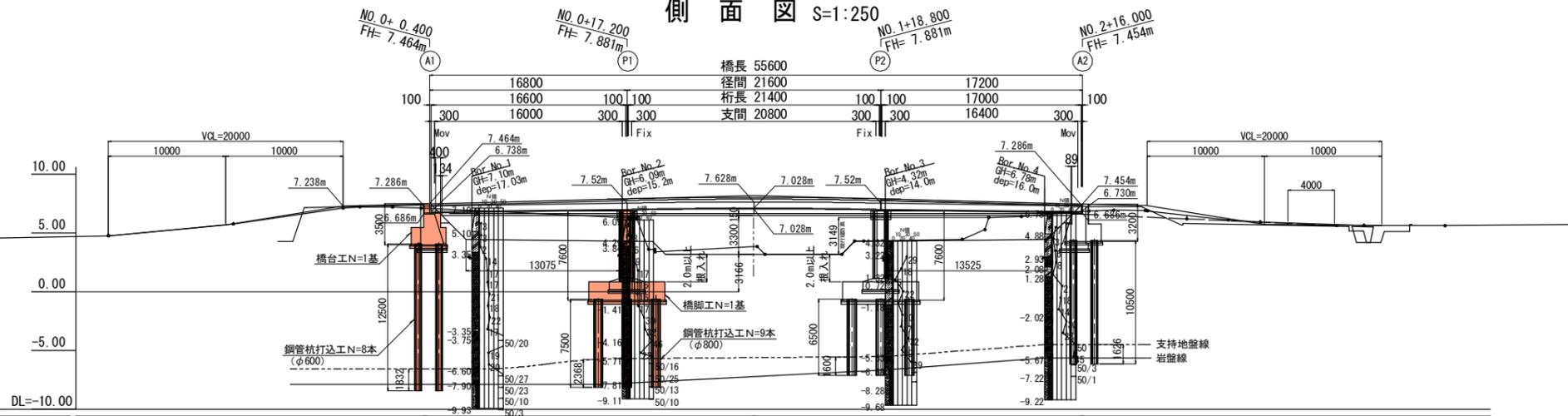
図面番号	1 / 14	縮尺	S=1:10,000
工種	橋梁災害復旧工事		
種別	位置図	番号	1 / 1
路線名 河川名	今津20号線・仲間橋 (23-1)		
業務箇所	福山市今津町地内		
福 山 市			

2024年1月 設計

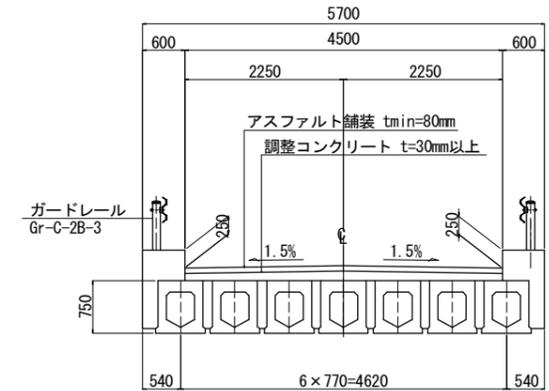


全体一般図

側面図 S=1:250



標準断面図 S=1:50

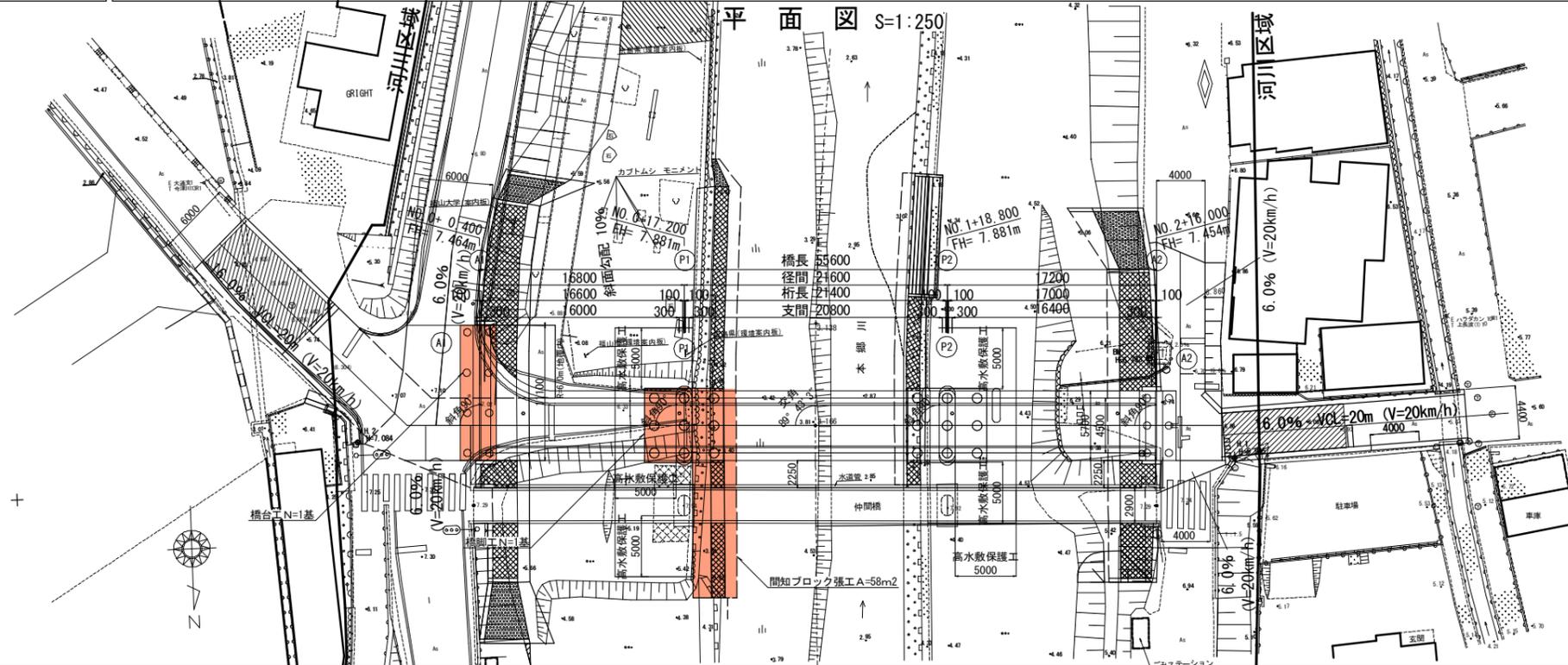


勾配	$i = 2.500\%$ $L = 28.000m$				
計画高	7.454	7.881	7.934	7.998	7.854
地盤高	7.044	6.281	3.393	3.781	4.370
追加距離	0.000	17.200	20.000	28.000	38.800
区間距離	0.000	17.200	2.800	8.000	10.800
測点	NO.0	+17.200	NO.1	-8.000	+18.800
曲線	R = ∞				
片勾配摺付	-1.5	-1.5	-1.5	-1.5	-1.5

設計条件

路線名	市道今津20号線
河川名	二級河川本郷川
道路規格	第3種第5級
設計速度	V = 20 Km/h
荷重	A活荷重 (T-25)
上部工型式	PC3径間連結プレテンション方式中空床版橋
橋長	55.600 m
径間長	16.800 m + 21.600 m + 17.200 m
桁長	16.600 m + 21.400 m + 17.000 m
支間	16.000 m + 20.800 m + 16.400 m
有効幅員	4.500 m
斜角	$\theta = 90^\circ 00' 00''$
平面線形	R = ∞
横断勾配	1.50% 1.50%
縦断勾配	2.500% 2.500%
添加物荷重	無し
その他荷重	無し
下部工型式	橋台: 逆T式橋台、橋脚: 壁式橋脚
基礎型式	杭基礎 (中掘り杭工法: 鋼管杭)
耐震性能	A種の橋
設計震度	橋台 kh=0.20 (A1), kh=0.18 (A2), khg=0.17 橋脚 kh=0.21, khg=0.17
適用基準	道路橋示方書・同解説 (H29)

平面図 S=1:250

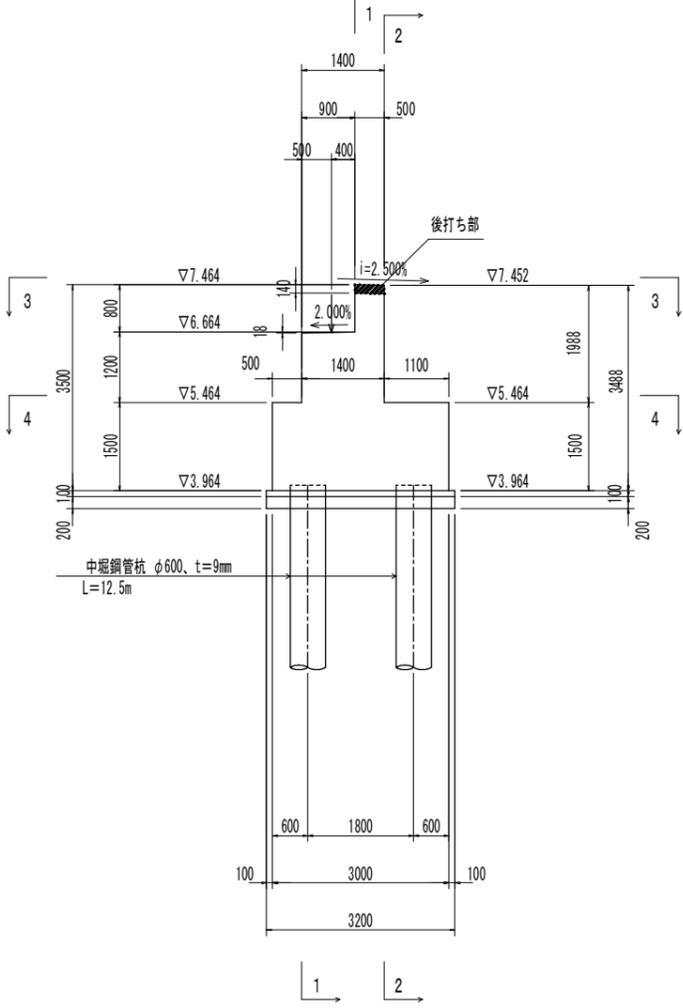


※本図面はA1をA3に縮小している (縮尺50%) ※

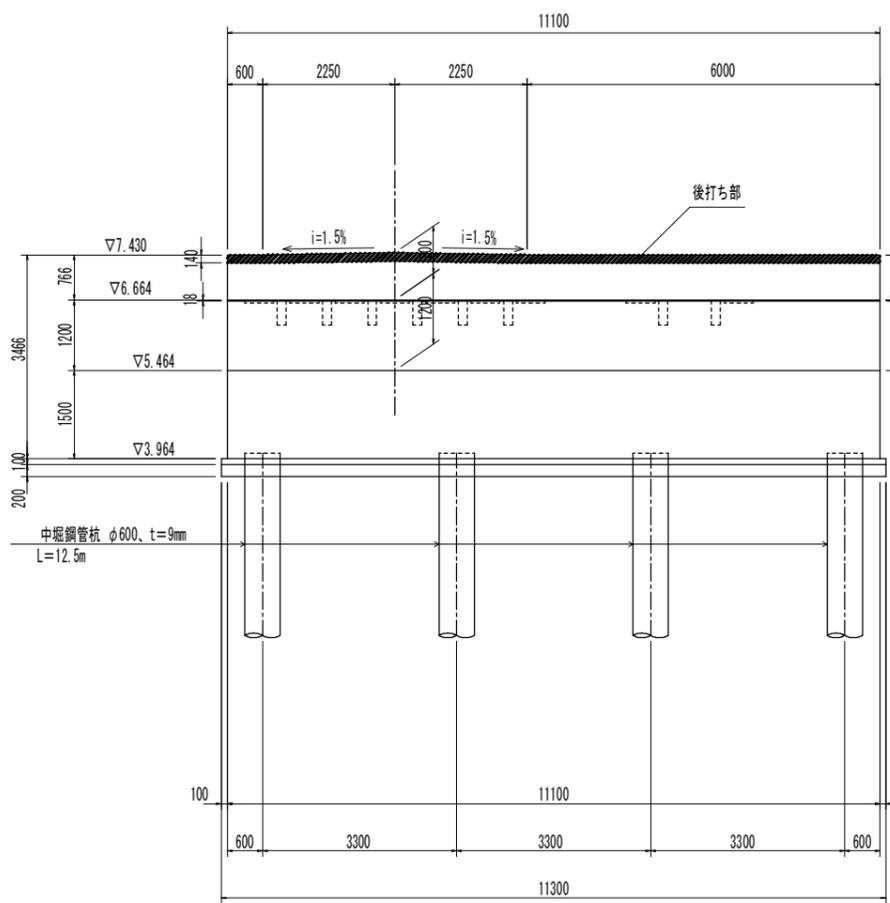
工事名	橋梁災害復旧工事(今津20号線・仲間橋)(23-1)		
図面名	全体一般図		
作成年月日	2024年 1月		
縮尺	1:250, 1:50	図面番号	2 / 14
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

A1橋台構造一般図 S=1:60

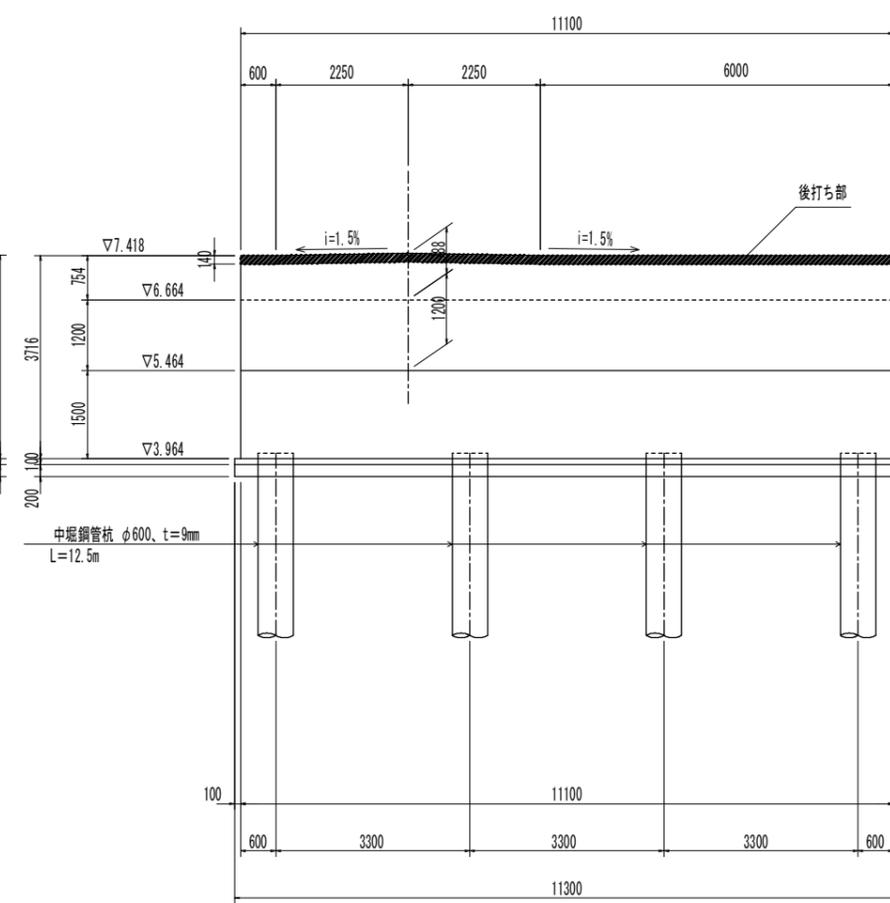
断面図
5-5



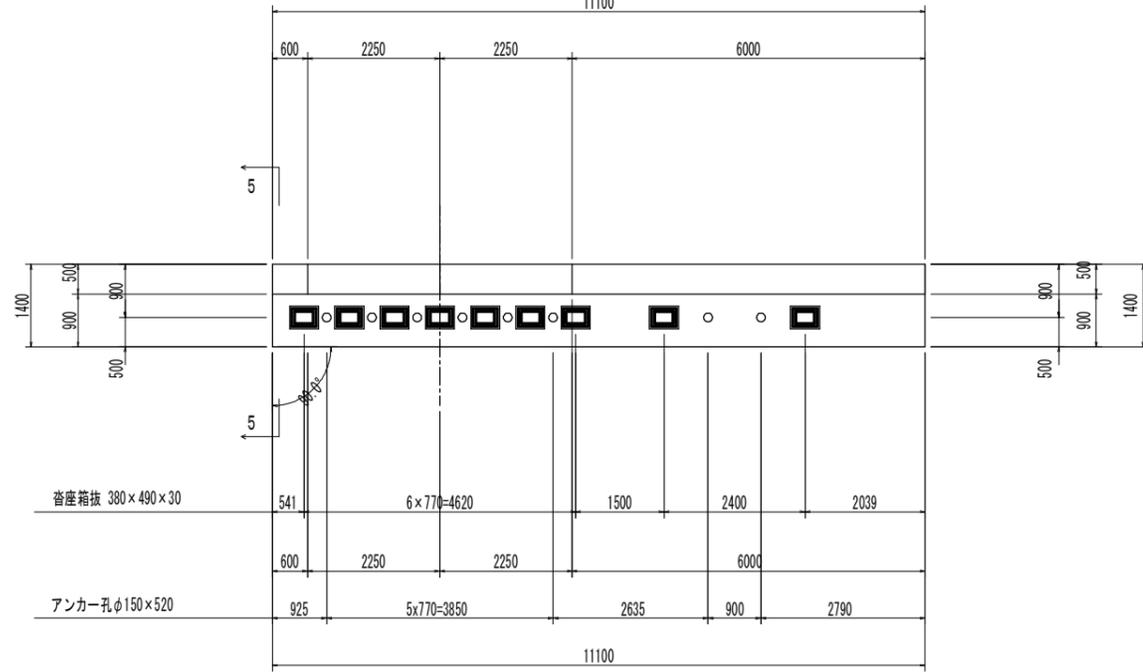
前面図
1-1



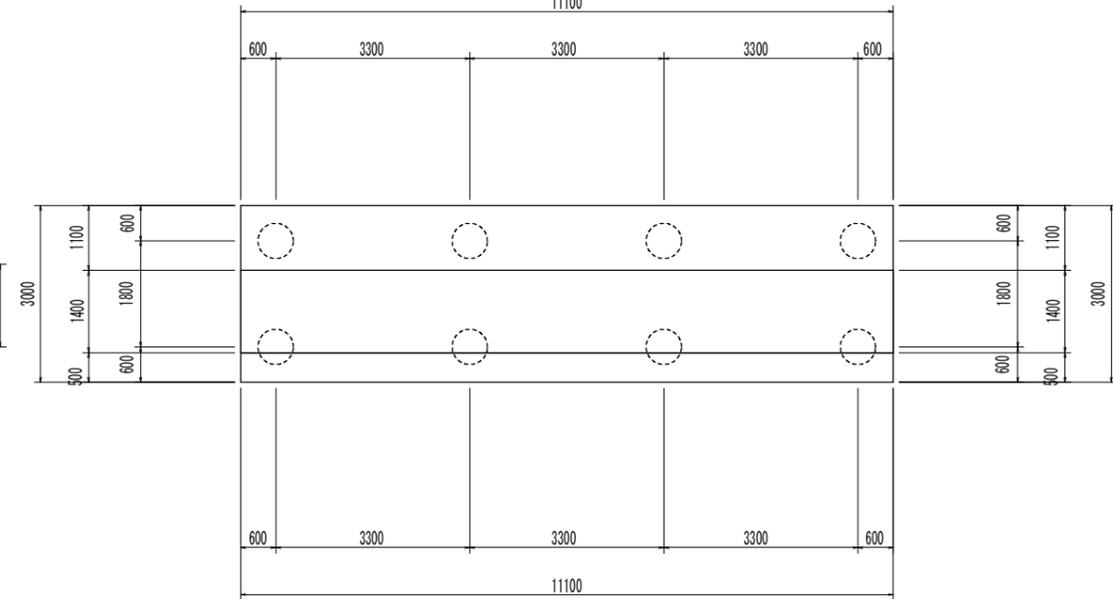
背面図
2-2



たて壁平面図
3-3



底版平面図
4-4



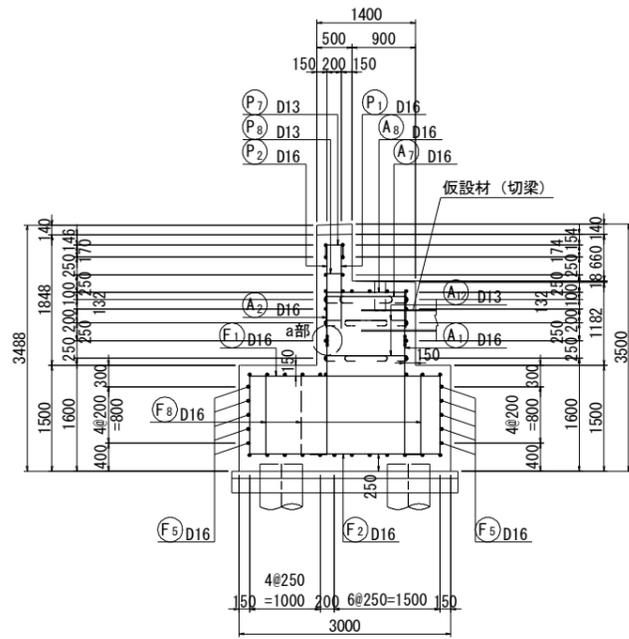
※本図面はA1をA3に縮小している(縮尺50%)※

注記
 部は、後打ちコンクリート。

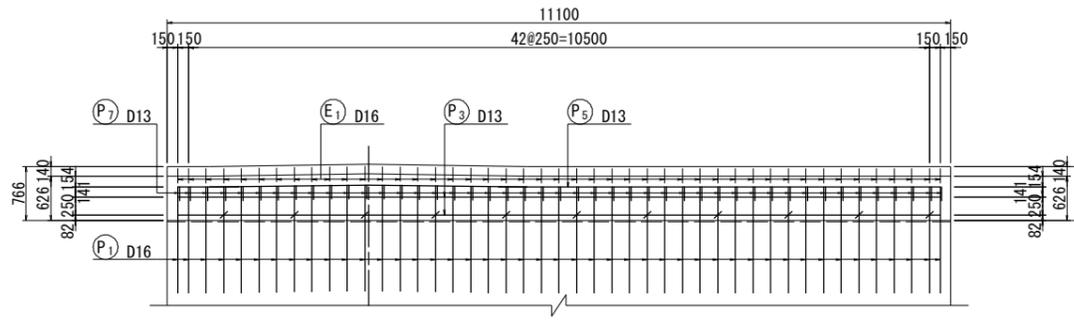
工事名	橋梁災害復旧工事(今津20号線・仲間橋)(23-1)		
図面名	A1橋台構造一般図		
作成年月日	2024年 1月		
縮尺	1:60	図面番号	3 / 14
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

A1橋台配筋図(その1) S=1:50

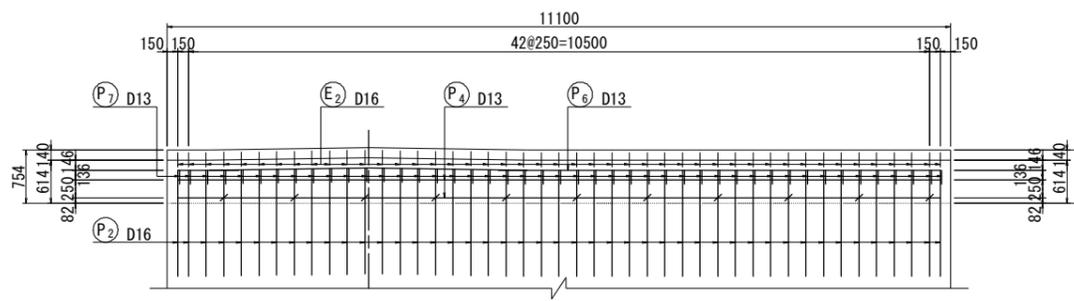
断面図(1-1)



断面図(2-2)

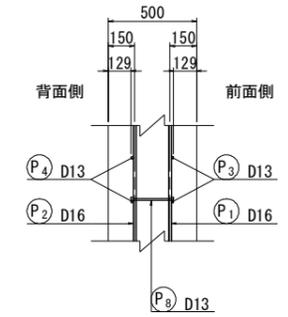


断面図(3-3)



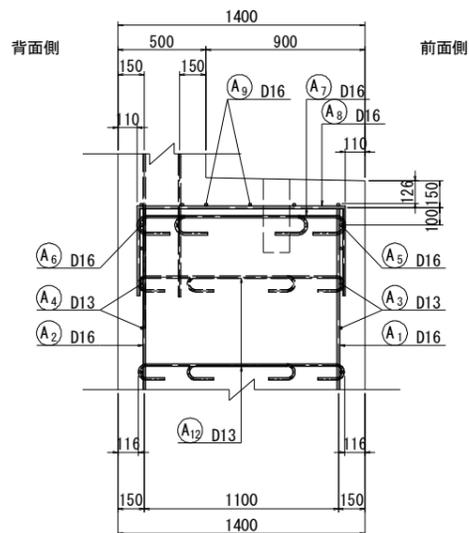
かぶり詳細図 S=1:20

パラペット

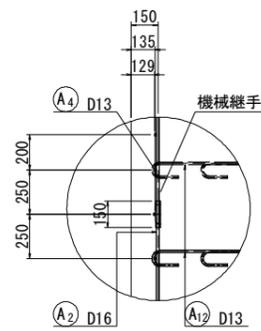


かぶり詳細図 S=1:20

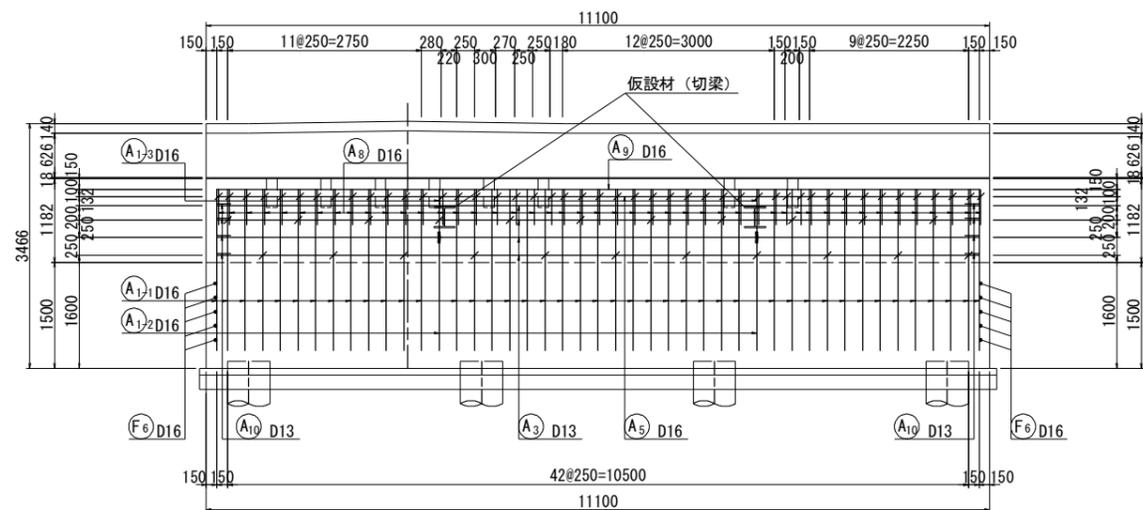
縦壁



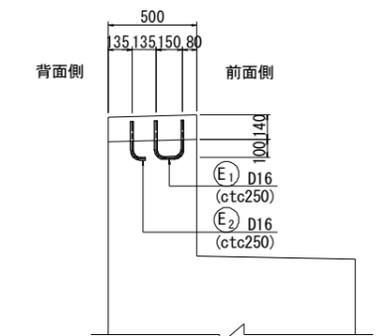
a部詳細 S=1:20



断面図(4-4)

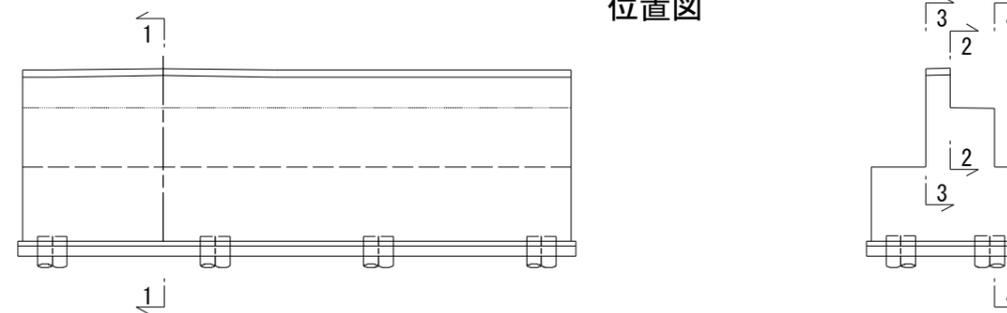


パラペット頂部詳細図 S=1:20



注) 設置詳細は、伸縮装置詳細図を参照すること。

位置図

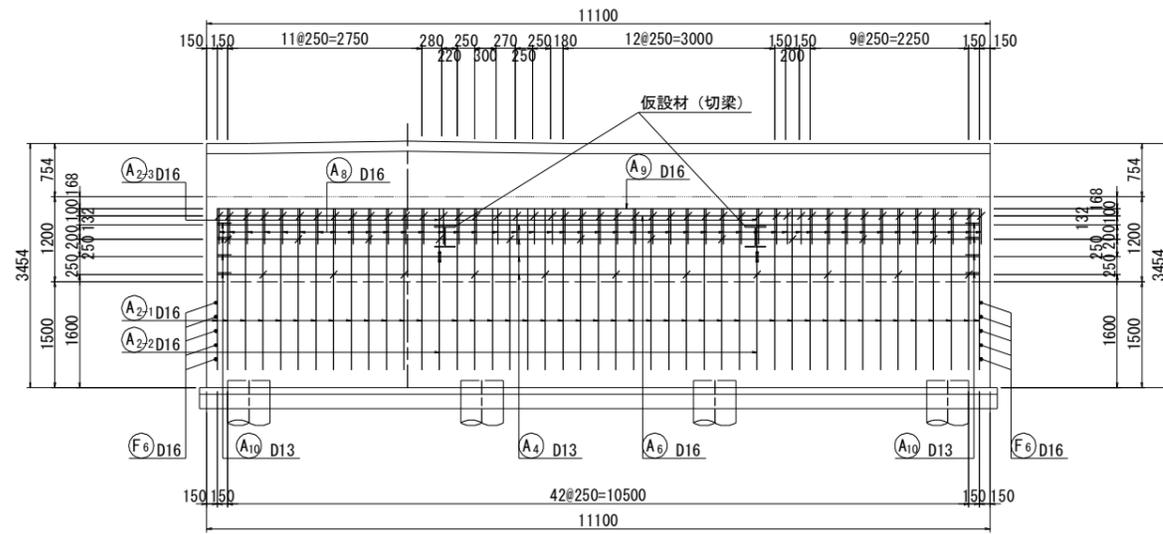


※本図面はA1をA3に縮小している(縮尺50%)※

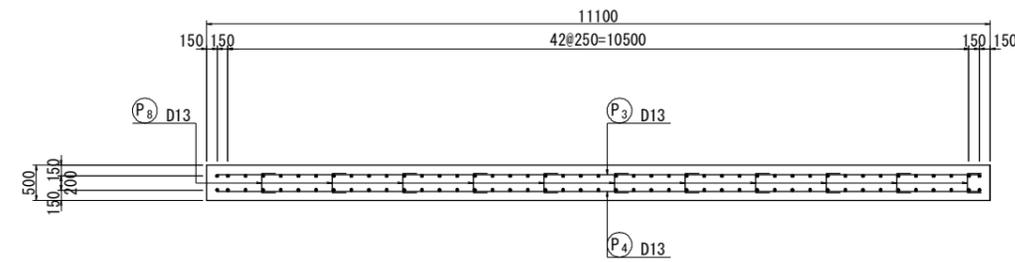
工事名	橋梁災害復旧工事(今津20号線・仲間橋)(23-1)		
図面名	A1橋台配筋図(その1)		
作成年月日	2024年 1月		
縮尺	図示	図面番号	4 / 14
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

A1橋台配筋図(その2) S=1:50

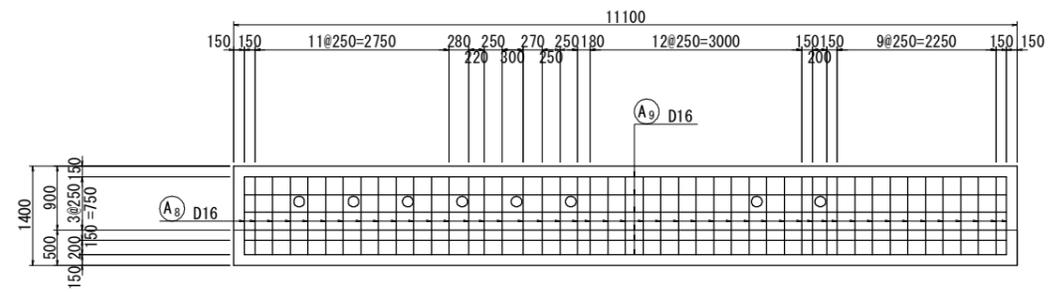
断面図(5-5)



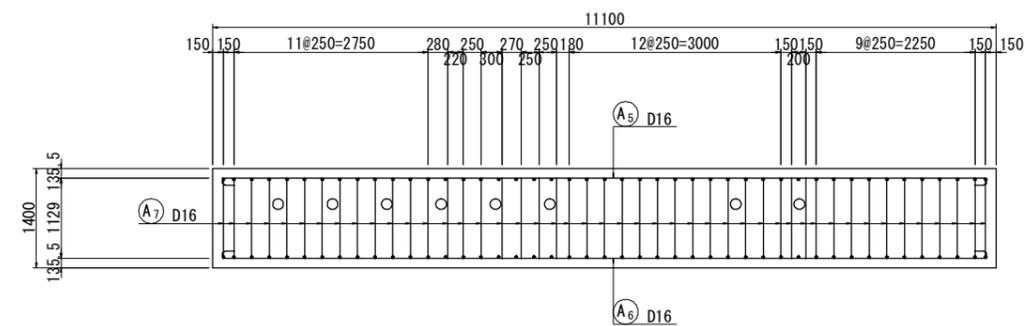
断面図(6-6)



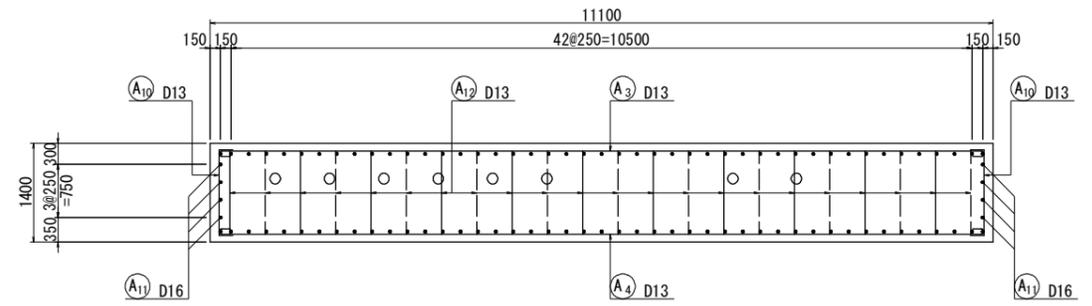
断面図(7-7)



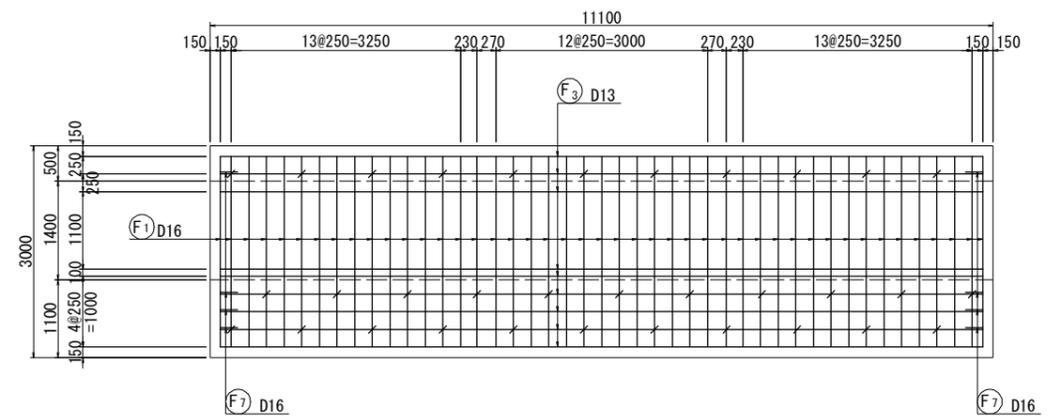
断面図(8-8)



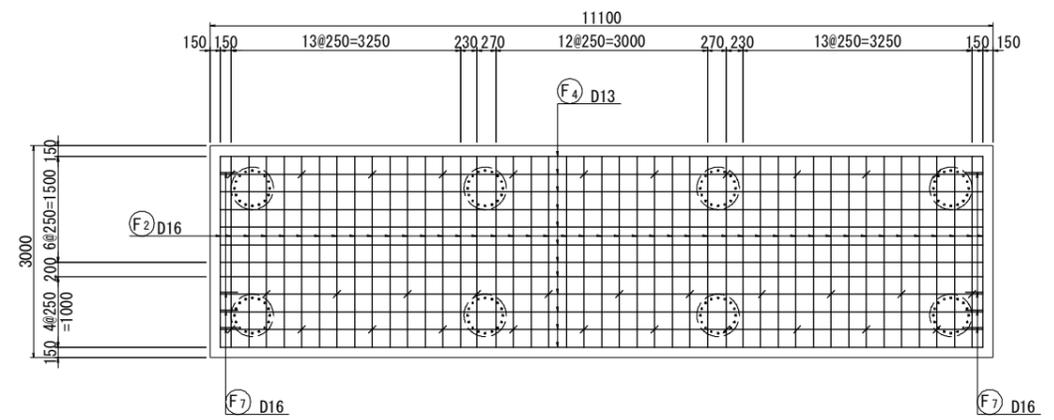
断面図(9-9)



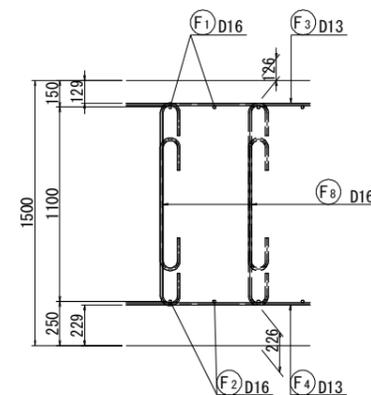
断面図(10-10)



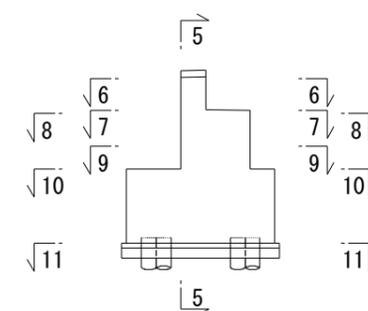
断面図(11-11)



かぶり詳細図 S=1:20



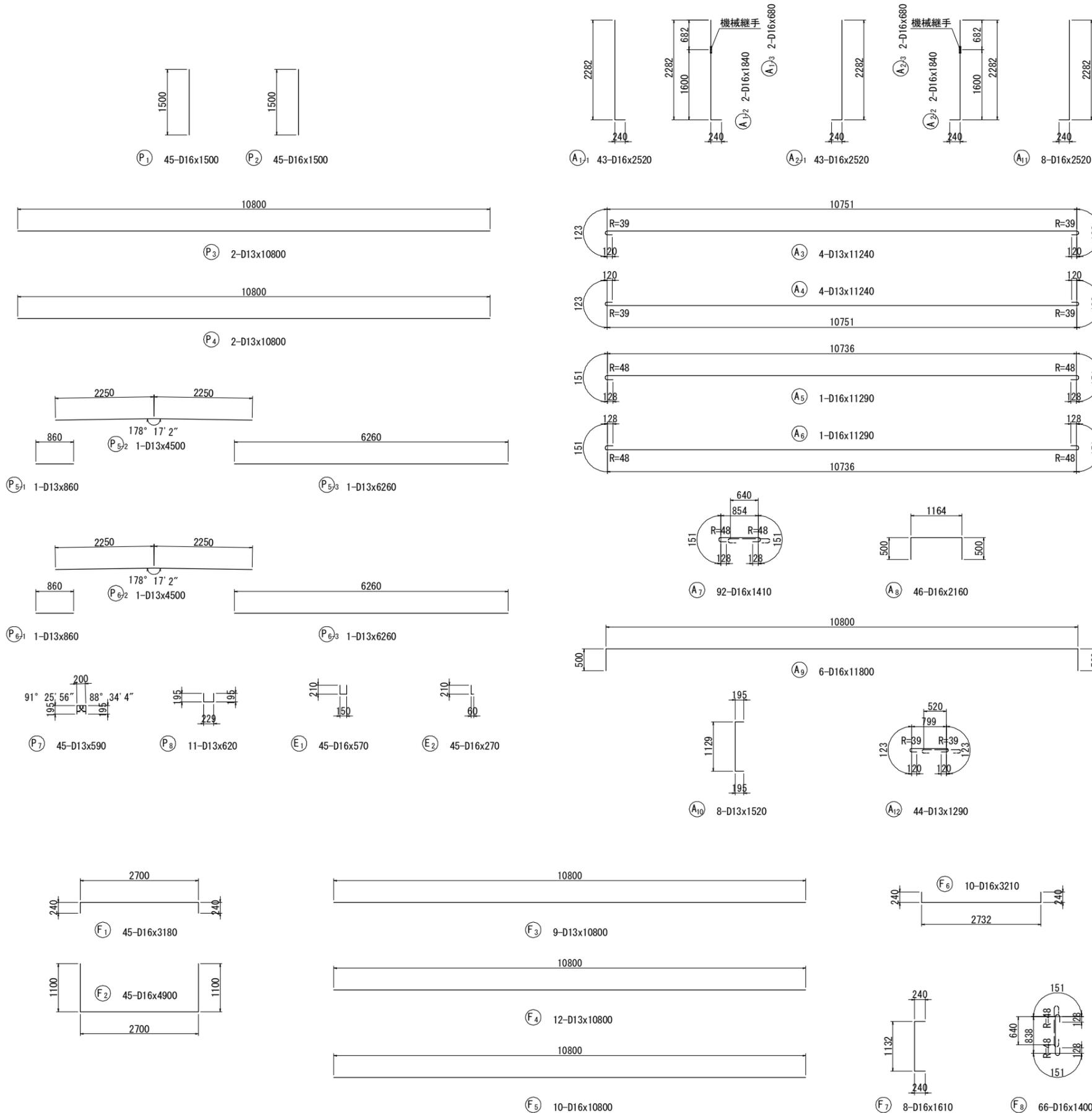
位置図



※本図面はA1をA3に縮小している(縮尺50%)※

工事名	橋梁災害復旧工事(今津20号線・仲間橋)(23-1)		
図面名	A1橋台配筋図(その2)		
作成年月日	2024年 1月		
縮尺	図示	図面番号	5 / 14
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

A1橋台配筋図(その3) S=1:50



鉄筋表

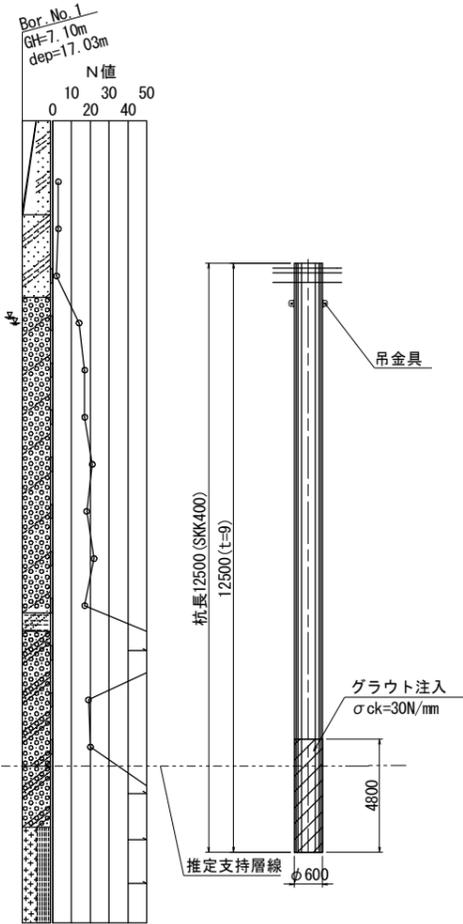
記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
P ₁	D16	1500	45	1.56	2.34	105	
P ₂	D16	1500	45	1.56	2.34	105	
P ₃	D13	10800	2	0.995	10.75	22	—
P ₄	D13	10800	2	0.995	10.75	22	—
P ₅₋₁	D13	860	1	0.995	0.86	1	—
P ₅₋₂	D13	4500	1	0.995	4.48	4	—
P ₅₋₃	D13	6260	1	0.995	6.23	6	—
P ₆₋₁	D13	860	1	0.995	0.86	1	—
P ₆₋₂	D13	4500	1	0.995	4.48	4	—
P ₆₋₃	D13	6260	1	0.995	6.23	6	—
P ₇	D13	590	45	0.995	0.59	27	┌
P ₈	D13	620	11	0.995	0.62	7	└
310 kg							
E ₁	D16	570	45	1.56	0.89	40	└
E ₂	D16	270	45	1.56	0.42	19	└
59 kg							
A ₁₋₁	D16	2520	43	1.56	3.93	169	└
A ₁₋₂	D16	1840	2	1.56	2.87	6	└ (2)
A ₁₋₃	D16	680	2	1.56	1.06	2	
A ₂₋₁	D16	2520	43	1.56	3.93	169	└
A ₂₋₂	D16	1840	2	1.56	2.87	6	└ (2)
A ₂₋₃	D16	680	2	1.56	1.06	2	
A ₃	D13	11240	4	0.995	11.18	45	┌
A ₄	D13	11240	4	0.995	11.18	45	┌
A ₅	D16	11290	1	1.56	17.61	18	┌
A ₆	D16	11290	1	1.56	17.61	18	┌
A ₇	D16	1410	92	1.56	2.20	202	┌
A ₈	D16	2160	46	1.56	3.37	155	┌
A ₉	D16	11800	6	1.56	18.41	110	┌
A ₁₀	D13	1520	8	0.995	1.51	12	┌
A ₁₁	D16	2520	8	1.56	3.93	31	└
A ₁₂	D13	1290	44	0.995	1.28	56	┌
1046 kg							
F ₁	D16	3180	45	1.56	4.96	223	┌
F ₂	D16	4900	45	1.56	7.64	344	└
F ₃	D13	10800	9	0.995	10.75	97	—
F ₄	D13	10800	12	0.995	10.75	129	—
F ₅	D16	10800	10	1.56	16.85	169	—
F ₆	D16	3210	10	1.56	5.01	50	└
F ₇	D16	1610	8	1.56	2.51	20	┌
F ₈	D16	1400	66	1.56	2.18	144	└
1176 kg							
総質量							機械継手箇所
					D16	2107 kg	(4)
					D13	484 kg	-
合計					2591 kg	(4)	

※本図面はA1をA3に縮小している (縮尺50%) ※

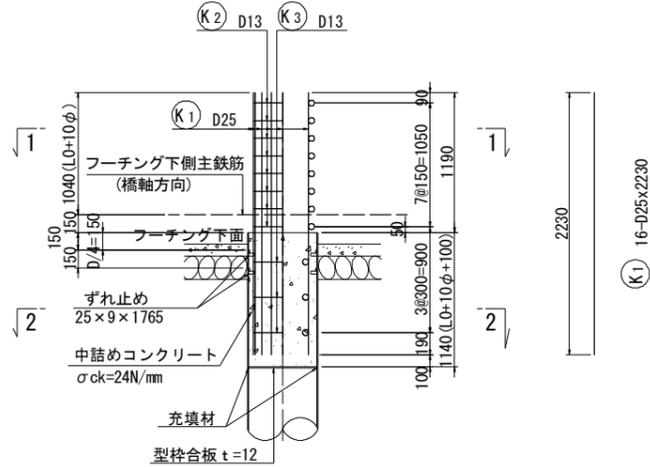
工事名	橋梁災害復旧工事(津20号線・仲間橋) (23-1)		
図面名	A1橋台配筋図(その3)		
作成年月日	2024年 1月		
縮尺	図示	図面番号	6 / 14
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

A1橋台鋼管杭詳細図 S=1:30

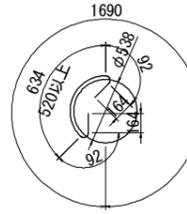
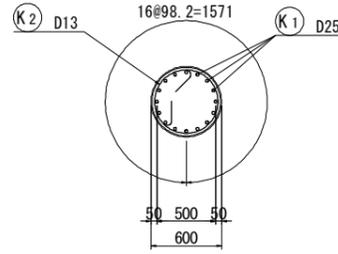
杭構成図 S=1:75



杭頭補強詳細図

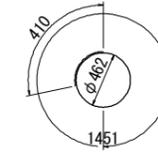
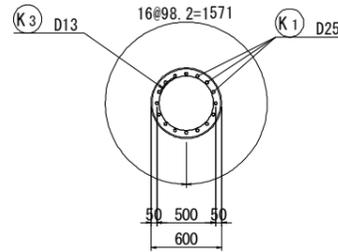


1-1



Ⓚ2 8-D13x2840
※帯鉄筋の継手位置は隣接する鉄筋でずらして配置する

2-2

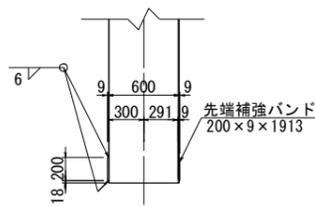


Ⓚ3 3-D13x1860

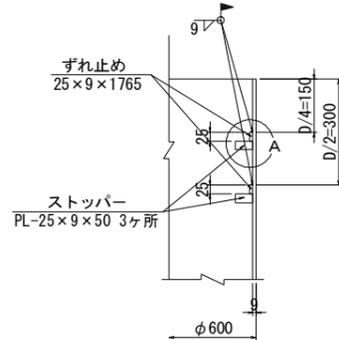
材料表

種別	形状寸法	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
鋼管杭						
PIPE	φ 600 × 9 × 12500	1	131	1638	1638	SKK400
					1638	kg
鉄筋						
K1	D25	2230	16	3.98	8.88	142 SD345
K2	D13	2840	8	0.995	2.83	23 ○ SD345
K3	D13	1860	3	0.995	1.85	6 ○ SD345
					171	kg
杭先端・杭頭・継手 SS400						
PL	PL- 25 × 9 × 1765	2	1.77	3.12	6.2	ずれ止め
PL	PL- 25 × 9 × 50	3	1.77	0.09	0.3	ストッパー (ずれ止め用)
PL	PL- 200 × 9 × 1913	1	14.1	27.03	27.0	補強バンド
PL	PL- 100 × 12 × 120	2	9.42	1.13	2.3	吊金具
					35.8	kg
中詰めコンクリート σck=24N/mm²						
$1/4 \times \pi \times 0.582^2 \times 1.140 \times 1 \text{本} = 0.3 \text{ m}^3$						
鋼管杭 SKK400 (t=9mm)						
					1638	kg
					× 8	= 13104
						kg
鋼材 SS400						
					35.8	kg
					× 8	= 286.4
						kg
鉄筋 SD345						
					171	kg
					× 8	= 1368
						kg
中詰めコンクリート σck=24N/mm²						
					0.3	m ³
					× 8	= 2.4
						m ³

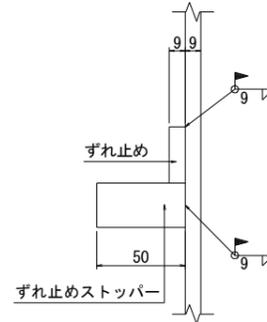
杭先端補強図



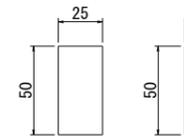
ずれ止め詳細図 S=1:10 (現場取付の場合)



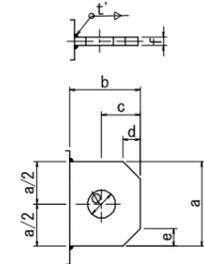
A部詳細図 S=1:2



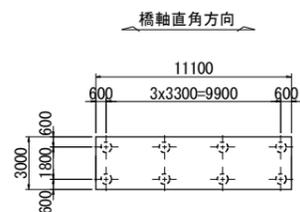
ストッパー S=1:2 (ずれ止め用)



吊金具詳細図 S=1:5



杭配置図 S=1:200



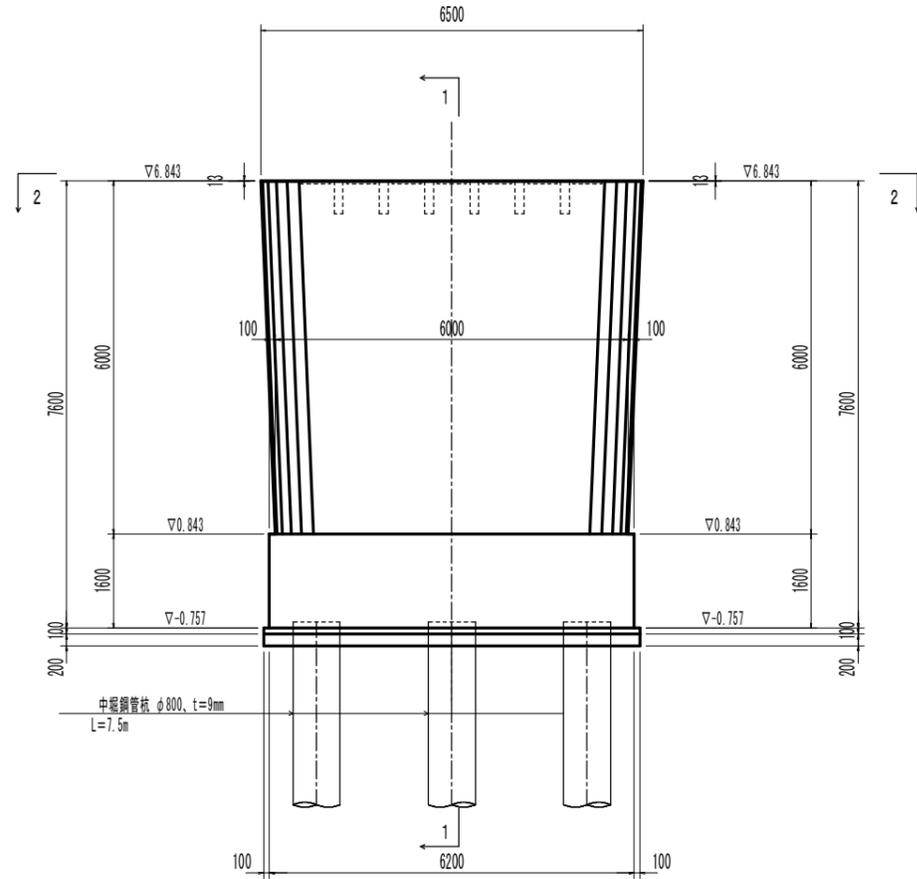
最大吊荷重 (t)	a	b	c	d	e	f	φ	t	箇所
3以下	120	100	55	25	25	12	40	6	2
3~5以下	120	100	55	25	25	16	40	9	0
5~10以下	200	150	90	30	30	22	65	15	0

※本図面はA1をA3に縮小している (縮尺50%) ※

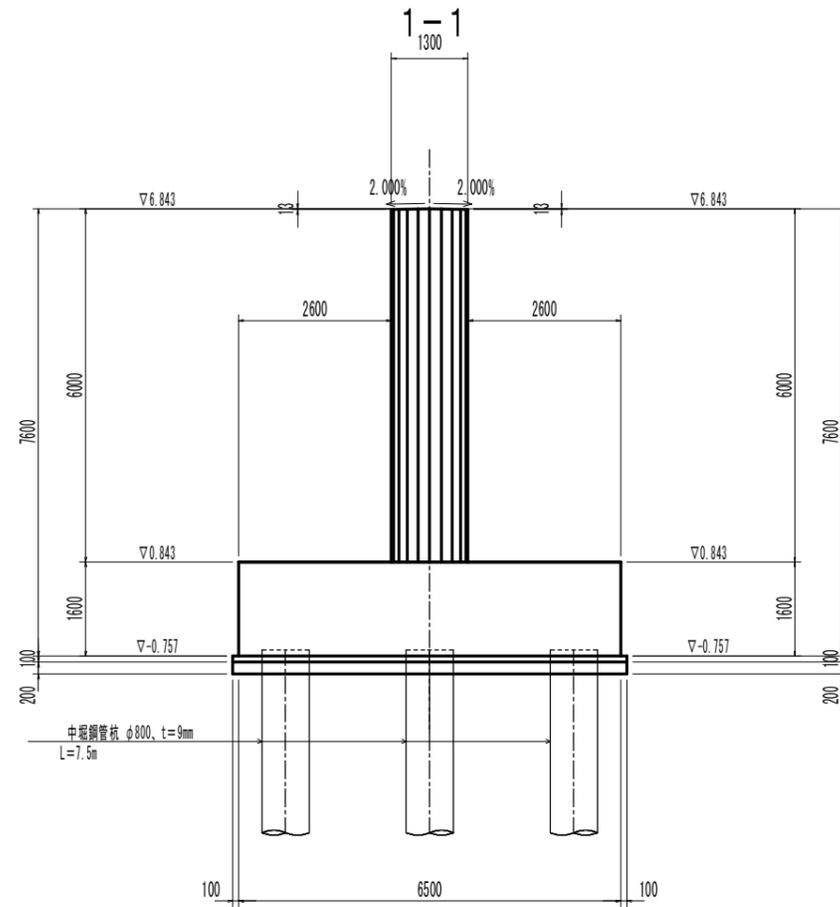
工事名	橋梁災害復旧工事 (今津20号線・仲間橋) (23-1)		
図面名	A1橋台鋼管杭詳細図		
作成年月日	2024年 1月		
縮尺	1:50	図面番号	7 / 14
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

P1橋脚構造一般図 S=1:60

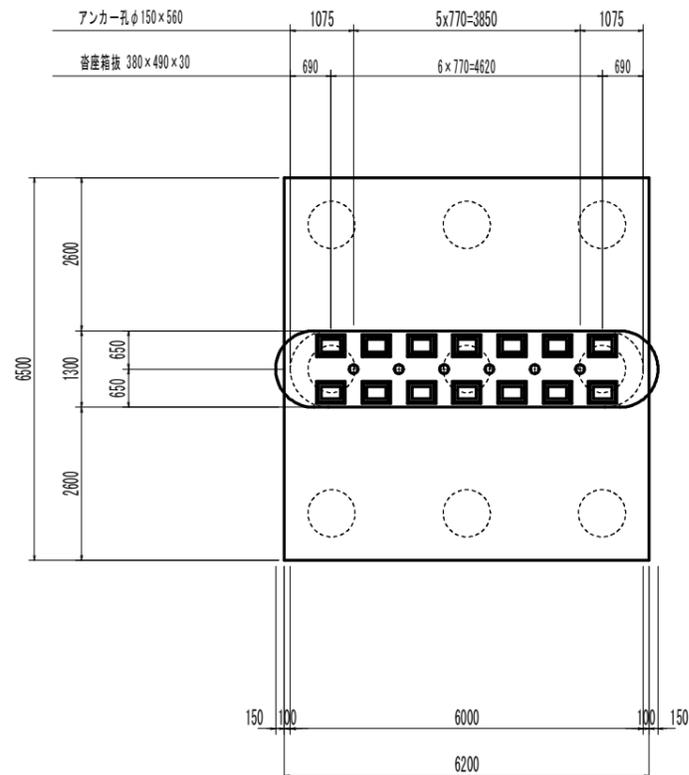
正面図



側面図



平面図
2-2

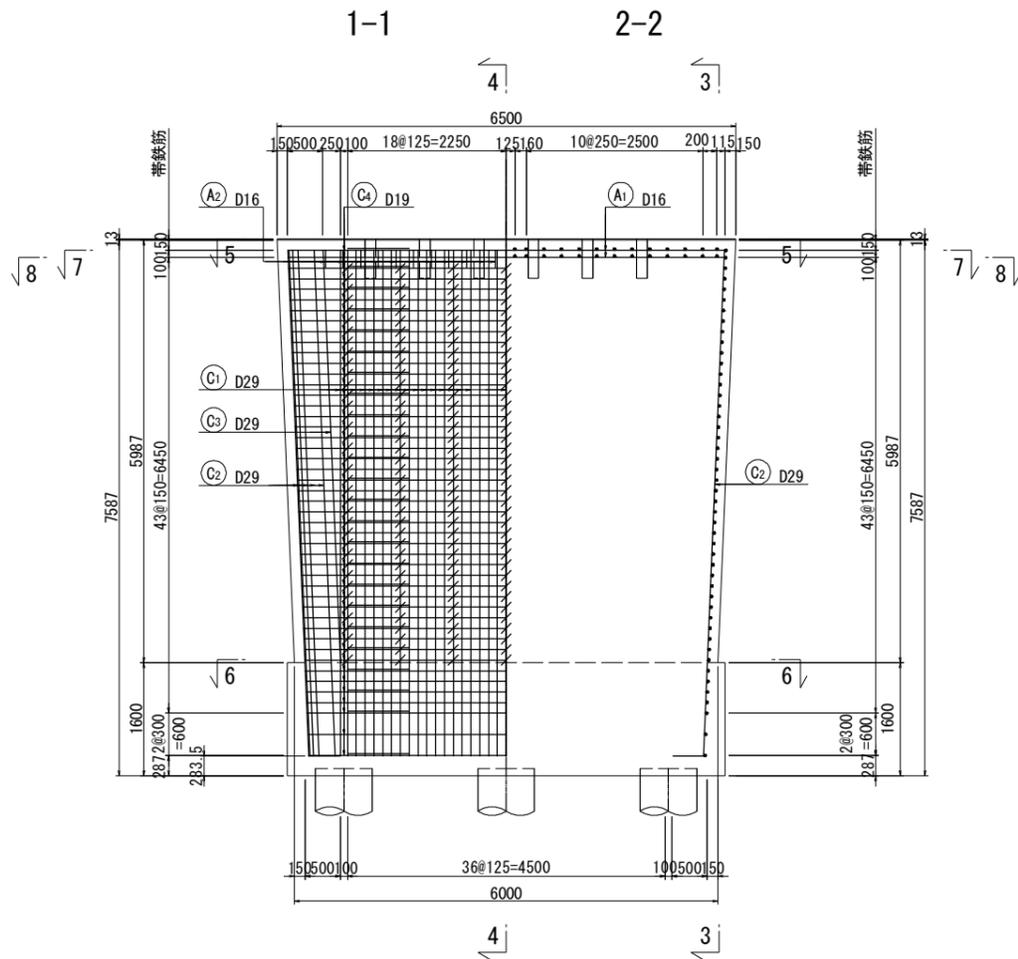


※本図面はA1をA3に縮小している（縮尺50%）※

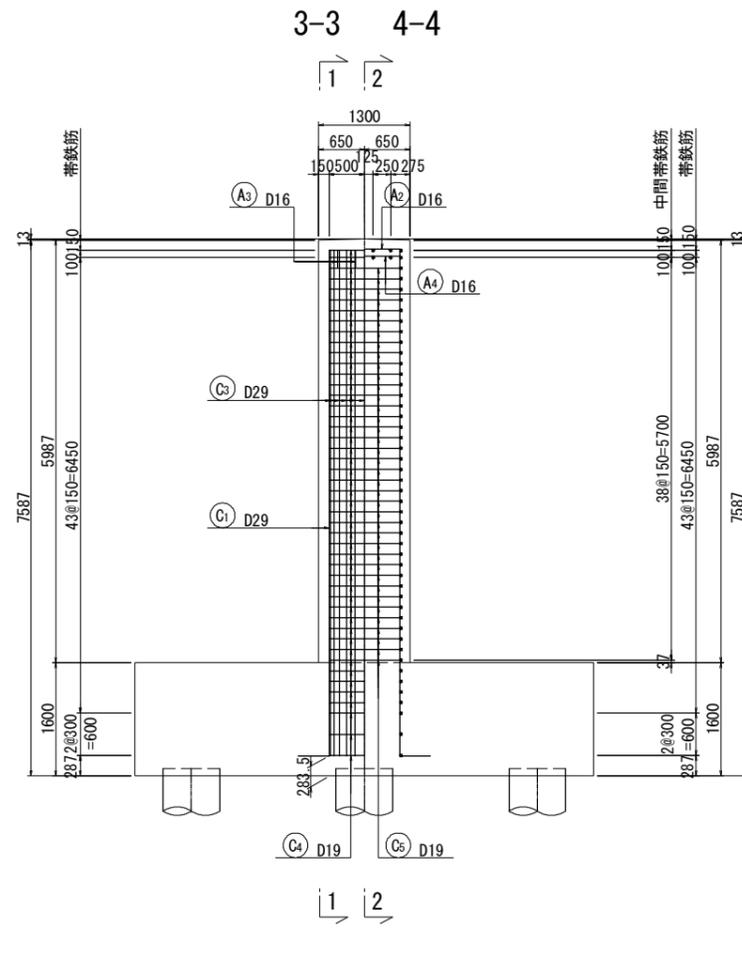
工事名	橋梁災害復旧工事(今津20号線・仲間橋)(23-1)		
図面名	P1橋脚構造一般図		
作成年月日	2024年 1月		
縮尺	1:60	図面番号	8 / 14
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

P1橋脚配筋図(その1) S=1:50

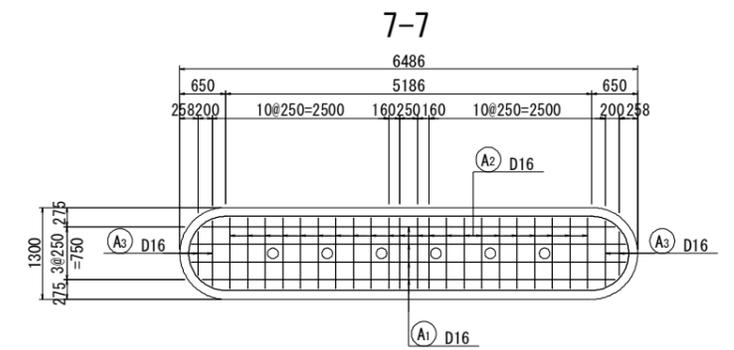
正面図



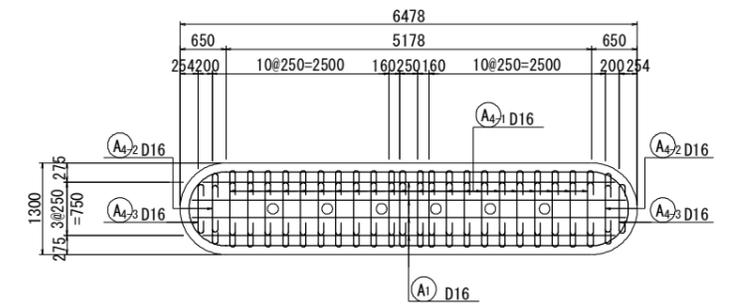
側面図



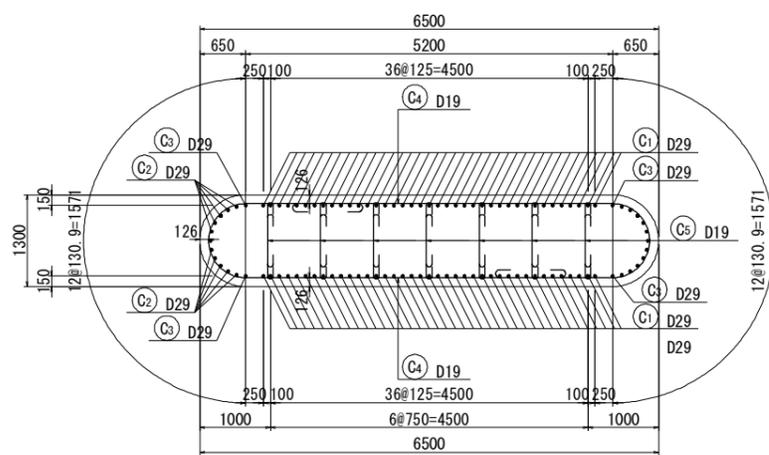
柱天端平面図



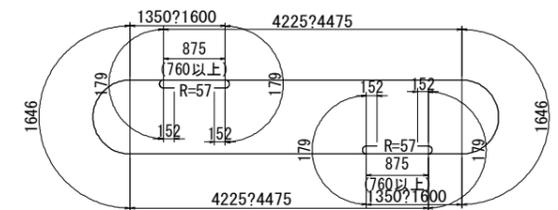
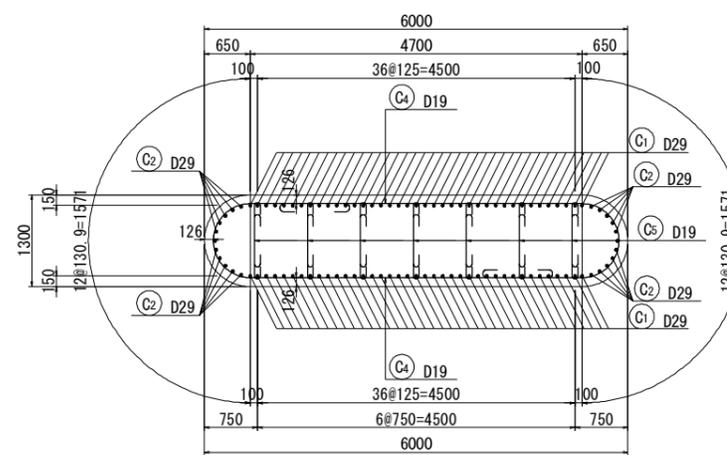
8-8



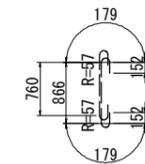
断面図(5-5)



断面図(6-6)

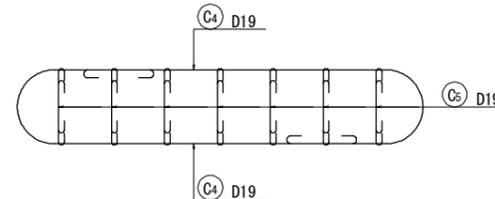


④ 94-D19x8130 (平均長) ⑤ C4 D19



⑤ 532-D19x1530

帯鉄筋組立図

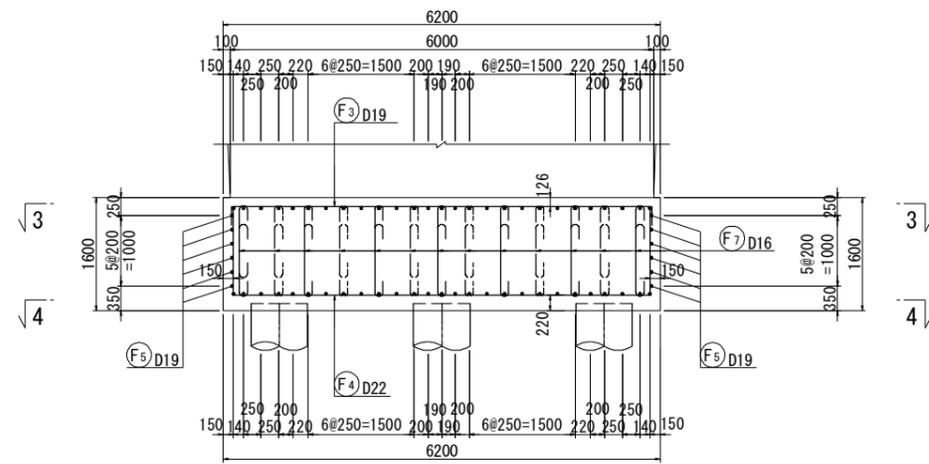


※本図面はA1をA3に縮小している(縮尺50%)※

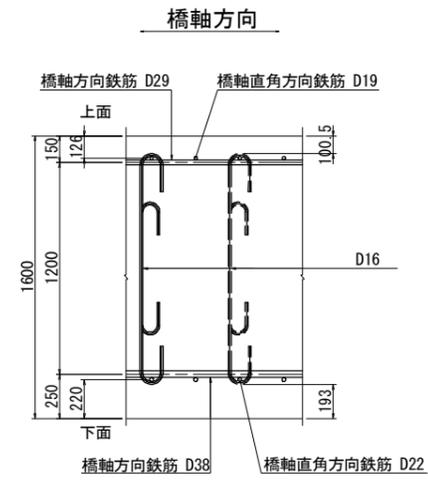
工事名	橋梁災害復旧工事(津20号線・仲間橋)(23-1)		
図面名	P1橋脚配筋図(その1)		
作成年月日	2024年 1月		
縮尺	1:50	図面番号	9 / 14
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

P1橋脚配筋図(その2) S=1:50

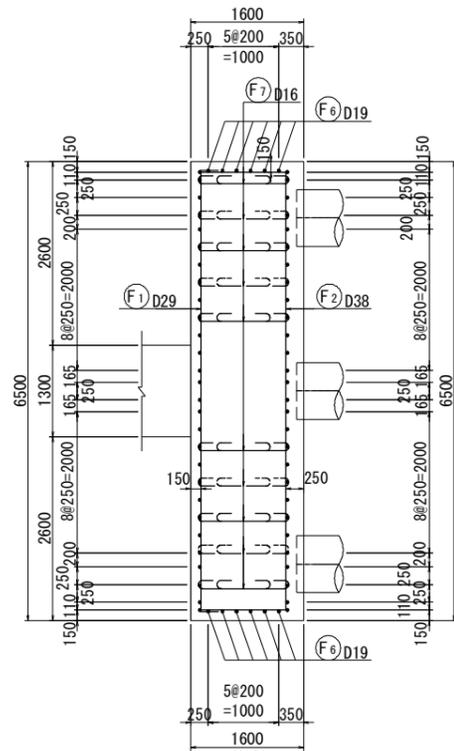
橋軸直角方向(1-1)



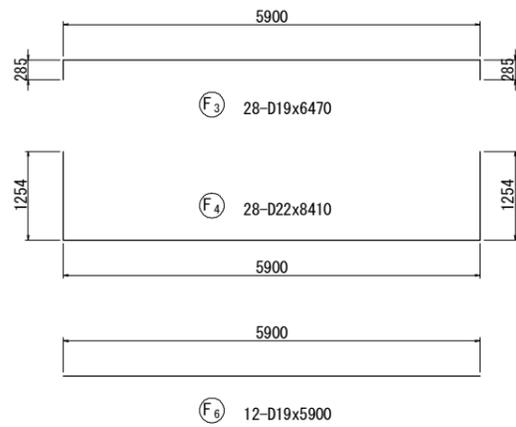
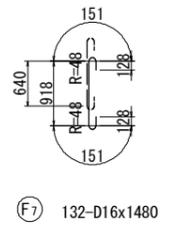
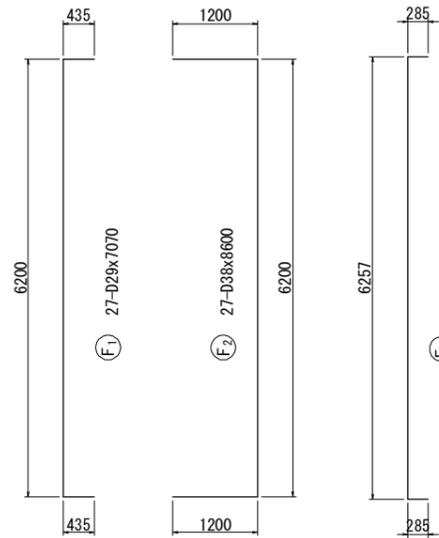
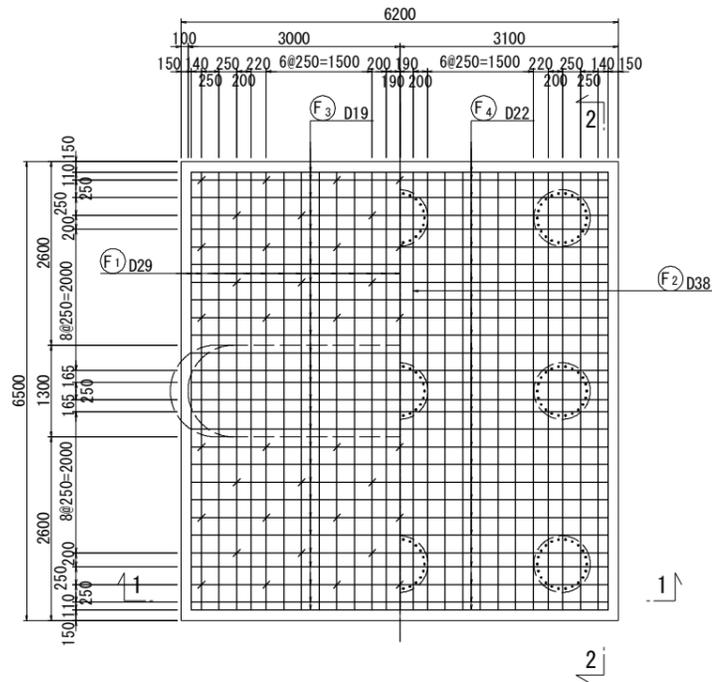
かぶり詳細図 S=1:20



橋軸方向(2-2)



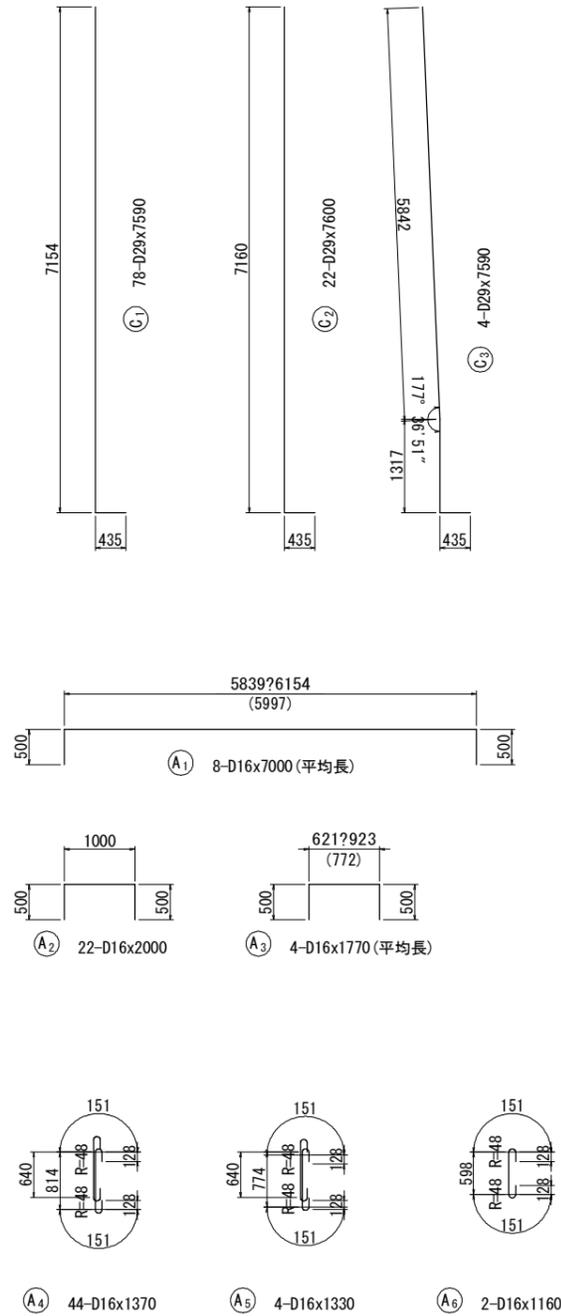
上面図(3-3) 下面図(4-4)



※本図面はA1をA3に縮小している(縮尺50%)※

工事名	橋梁災害復旧工事(今津20号線・仲間橋)(23-1)		
図面名	P1橋脚配筋図(その2)		
作成年月	2024年 1月		
縮尺	1:50	図面番号	10 / 14
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

P1橋脚配筋図(その3) S=1:50



鉄筋表

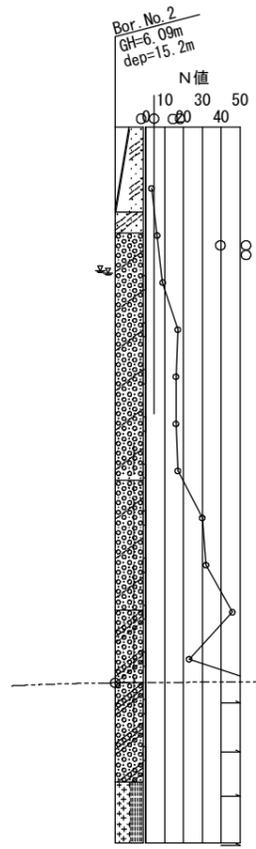
記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
C ₁	D29	7590	78	5.04	38.25	2984	└
C ₂	D29	7600	22	5.04	38.30	843	└
C ₃	D29	7590	4	5.04	38.25	153	└
C ₄	D19	8130	94	2.25	18.29	1719	└ 平均長
C ₅	D19	1530	532	2.25	3.44	1830	└
						7529	kg
A ₁	D16	7000	8	1.56	10.92	87	└ 平均長
A ₂	D16	2000	22	1.56	3.12	69	└
A ₃	D16	1770	4	1.56	2.76	11	└ 平均長
A ₄	D16	1370	44	1.56	2.14	94	└
A ₅	D16	1330	4	1.56	2.07	8	└
A ₆	D16	1160	2	1.56	1.81	4	└
						273	kg
F ₁	D29	7070	27	5.04	35.63	962	└
F ₂	D38	8600	27	8.95	76.97	2078	└
F ₃	D19	6470	28	2.25	14.56	408	└
F ₄	D22	8410	28	3.04	25.57	716	└
F ₅	D19	6830	12	2.25	15.37	184	└
F ₆	D19	5900	12	2.25	13.28	159	└
F ₇	D16	1480	132	1.56	2.31	305	└
						4812	kg
総質量							
				D16	578	kg	
				D19	4300	kg	
				D22	716	kg	
				D29	4942	kg	
				D38	2078	kg	
				合計	12614	kg	

※本図面はA1をA3に縮小している(縮尺50%)※

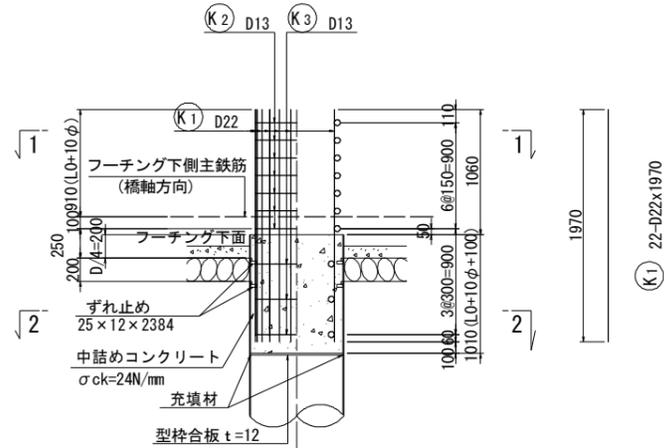
工事名	橋梁災害復旧工事(今津20号線・仲間橋)(23-1)		
図面名	P1橋脚配筋図(その3)		
作成年月日	2024年 1月		
縮尺	1:50	図面番号	11 / 14
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

P1橋脚鋼管杭詳細図 S=1:30

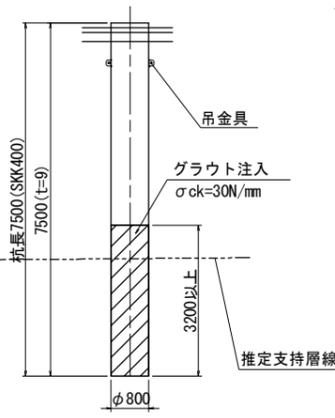
杭構成図 S=1:75



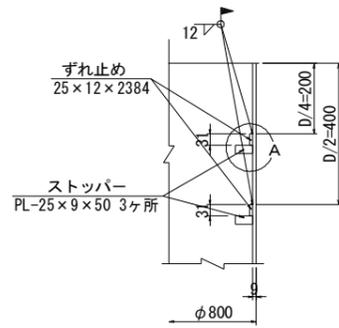
杭頭補強詳細図



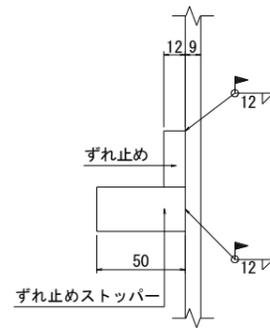
杭先端補強図



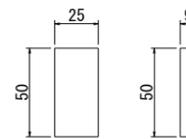
ずれ止め詳細図 S=1:10 (現場取付の場合)



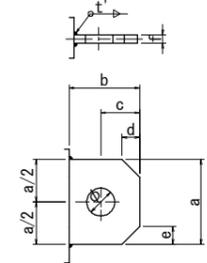
A部詳細図 S=1:2



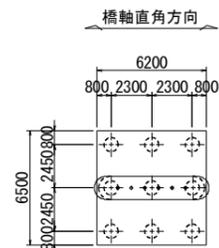
ストッパー S=1:2 (ずれ止め用)



吊金具詳細図 S=1:5

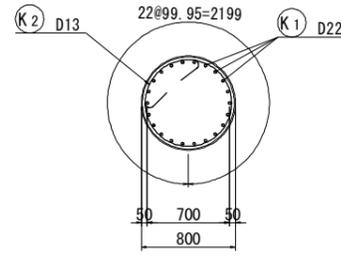


杭配置図 S=1:200

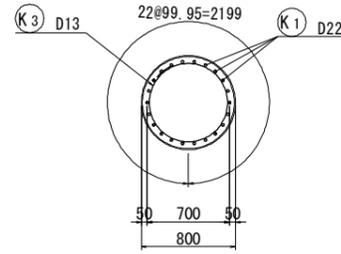


最大吊荷重(t)	a	b	c	d	e	f	φ	t'	箇所
3以下	120	100	55	25	25	12	40	6	2
3~5以下	120	100	55	25	25	16	40	9	0
5~10以下	200	150	90	30	30	22	65	15	0

1-1



2-2



材料表

種別	形状寸法	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
鋼管杭						
PIPE	φ 800 × 9 × 7500	1	176	1320	1320	SKK400
					1320 kg	SKK400
鉄筋						
K1	D22	1970	22	3.04	5.99	132 SD345
K2	D13	3460	7	0.995	3.44	24 ○ SD345
K3	D13	2500	3	0.995	2.49	7 ○ SD345
					SD345	163 kg
杭先端・杭頭・継手 SS400						
PL	PL- 25 × 12 × 2384	2	2.36	5.62	11.2	ずれ止め
PL	PL- 25 × 9 × 50	3	2.36	0.09	0.3	ストッパー(ずれ止め用)
PL	PL- 300 × 9 × 2542	1	21.2	53.88	53.9	補強バンド
PL	PL- 100 × 12 × 120	2	9.42	1.13	2.3	吊金具
					67.7 kg	
中詰めコンクリート σck=24N/mm²						
1/4 × π × 0.782 ² × 1.010 × 1 本 = 0.49 m ³						
鋼管杭 SKK400 (t=9mm)						
		1320 kg	×	9	=	11880 kg
鋼材 SS400						
		67.7 kg	×	9	=	609.3 kg
鉄筋 SD345						
		163 kg	×	9	=	1467 kg
中詰めコンクリート σck=24N/mm²						
		0.49 m ³	×	9	=	4.4 m ³

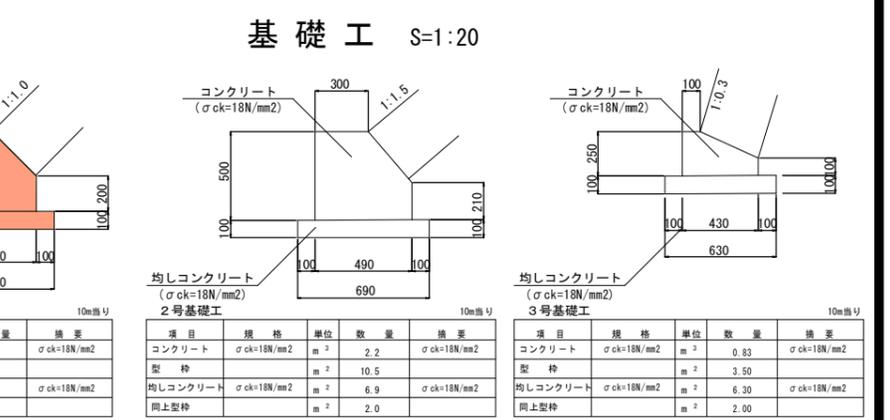
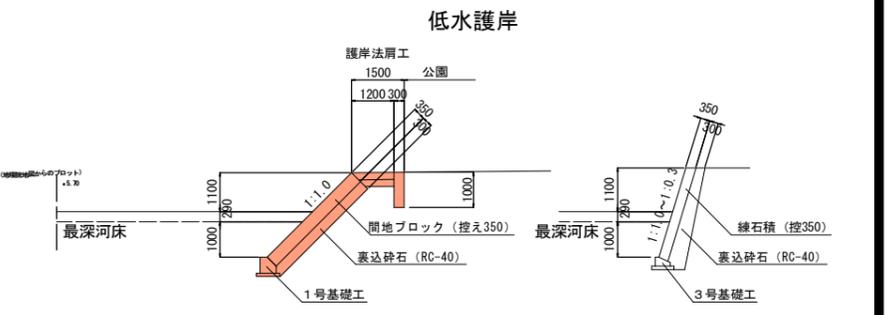
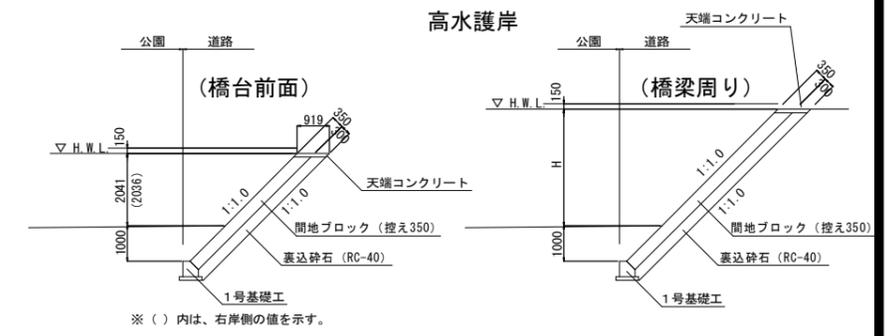
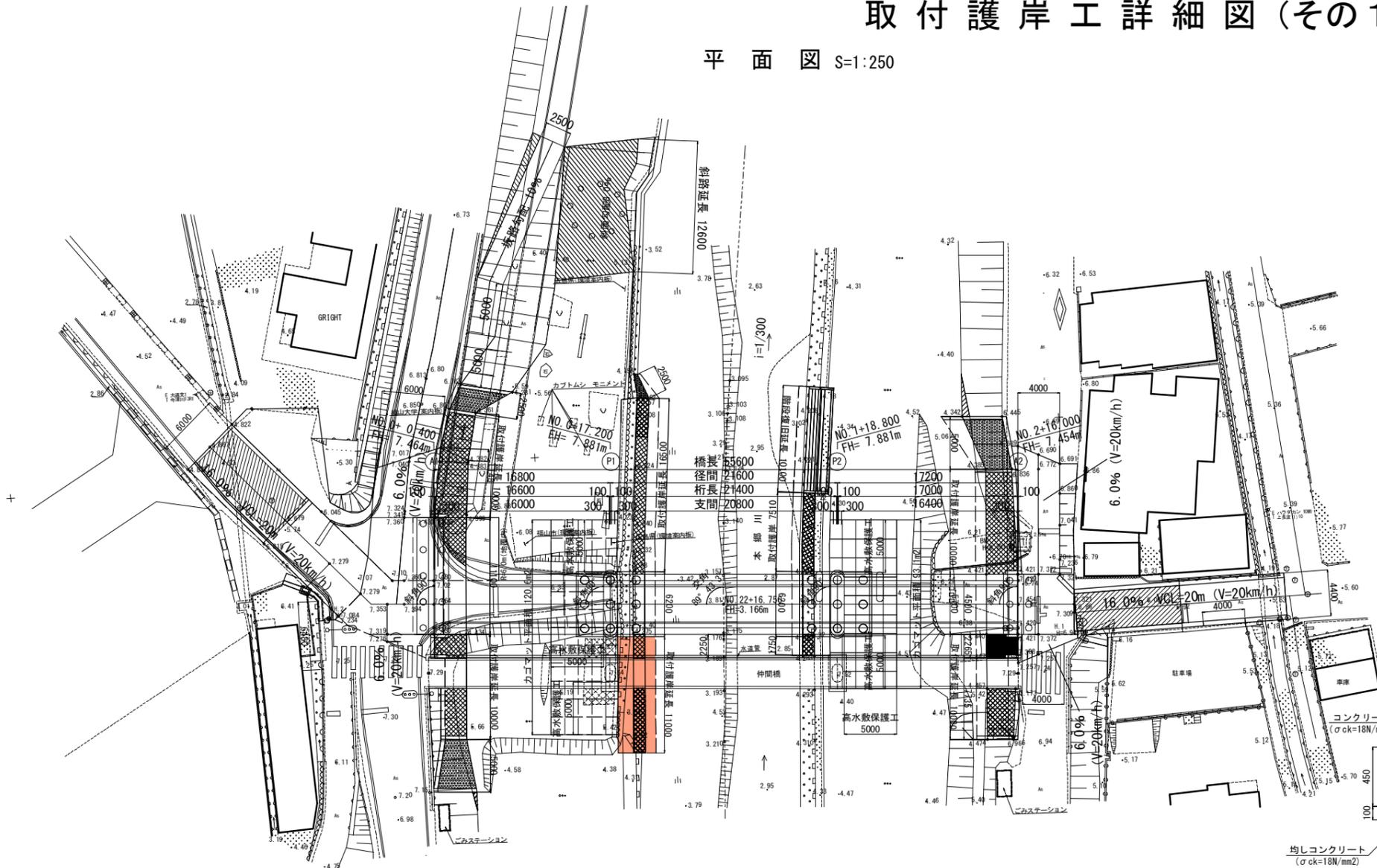
※本図面はA1をA3に縮小している(縮尺50%)※

工事名	橋梁災害復旧工事(今津20号線・仲間橋)(23-1)		
図面名	P1橋脚鋼管杭詳細図		
作成年月日	2024年 1月		
縮尺	図示	図面番号	12 / 14
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

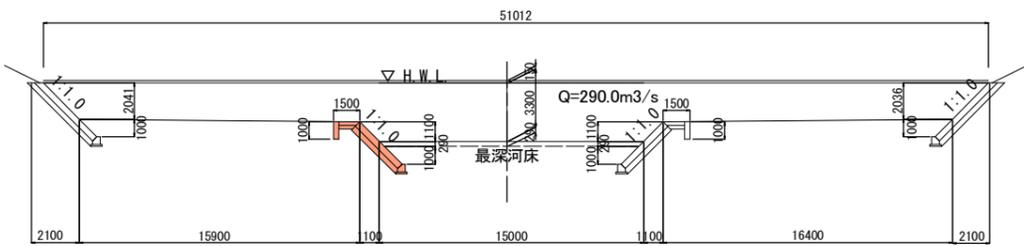
取付護岸工詳細図(その1)

平面図 S=1:250

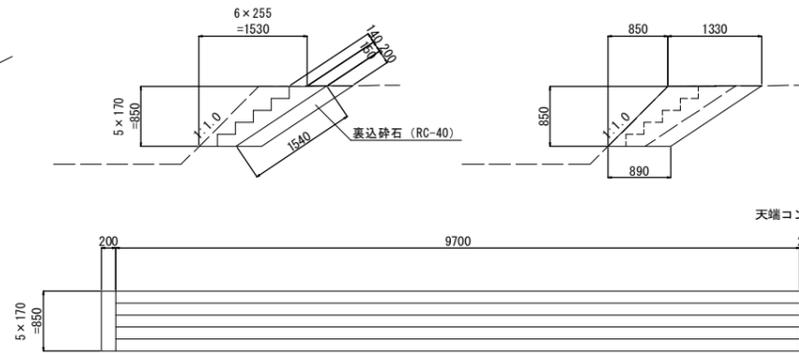
断面図 S=1:100



横断面図 S=1:200

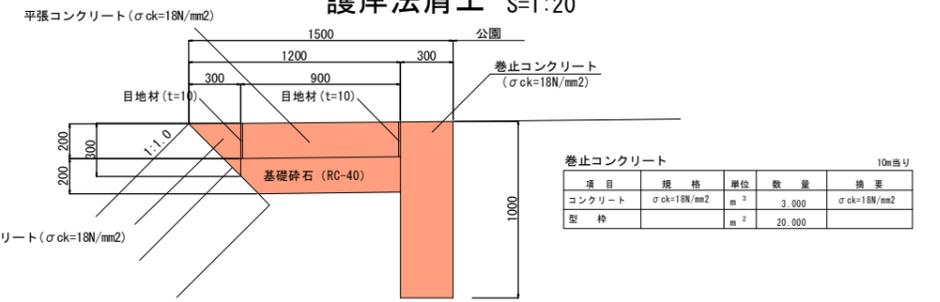


階段工 S=1:50



項目	規格	単位	数量	備考
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	3.669	σck=18N/mm ²
型枠		m ²	12.019	
裏込砕石	RC-40	m ³	2.988	

護岸法肩工 S=1:20



項目	規格	単位	数量	備考
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	0.450	σck=18N/mm ²
型枠		m ²	3.000	

項目	規格	単位	数量	備考
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	1.760	σck=18N/mm ²
基礎砕石	RC-40	m ²	8.670	
目地材		m ²	4.000	横目地は5m毎

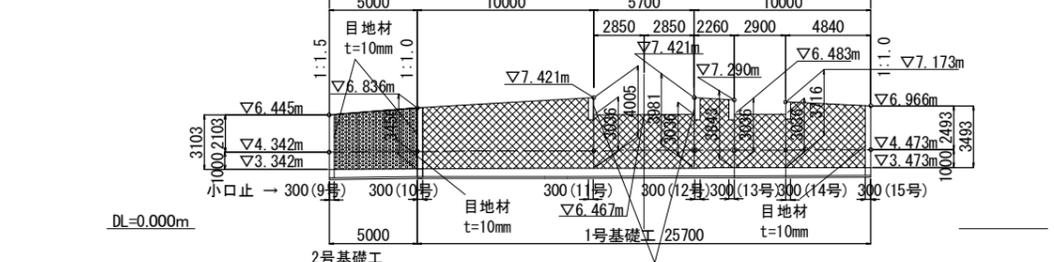
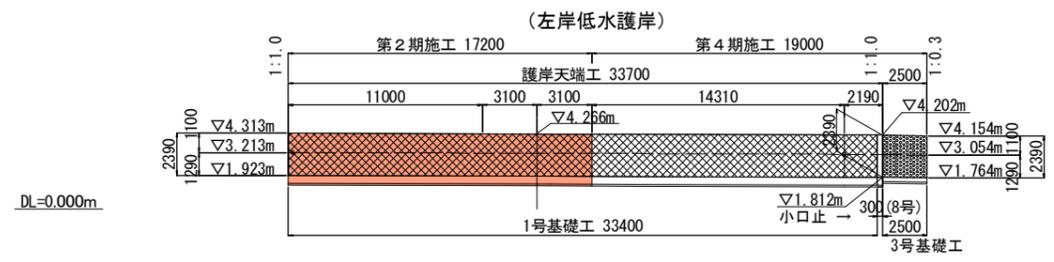
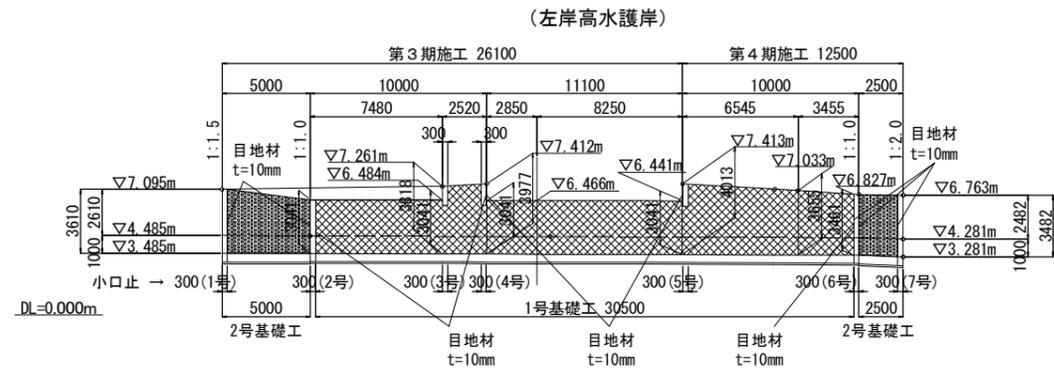
項目	規格	単位	数量	備考
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	3.000	σck=18N/mm ²
型枠		m ²	20.000	

※本図面はA1をA3に縮小している(縮尺50%)※

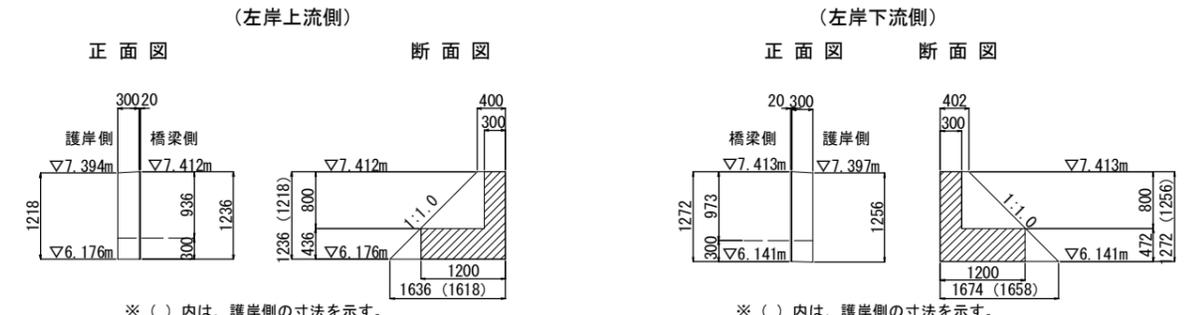
工事名	橋梁災害復旧工事(今津20号線・仲間橋)(23-1)		
図面名	取付護岸工詳細図(その1)		
作成年月日	2024年 1月		
縮尺	図示	図面番号	13 / 14
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

取付護岸工詳細図(その2)

護岸工展開図 S=1:200



橋梁部小口止工構造図 S=1:50

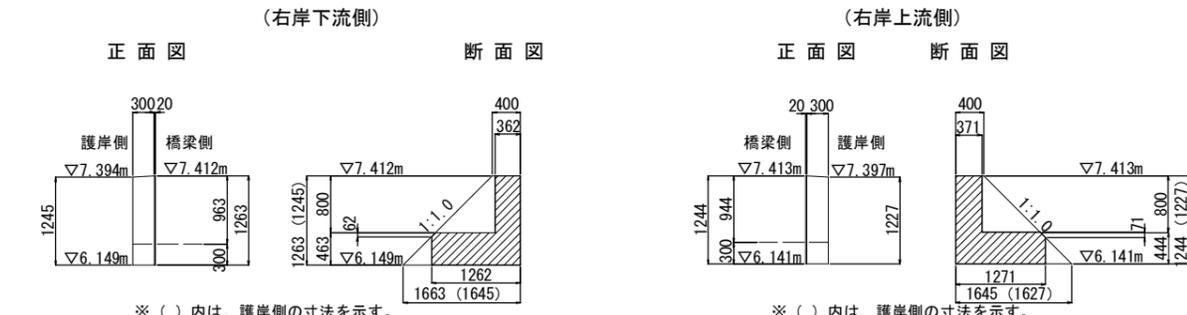


※ () 内は、護岸側の寸法を示す。

項目	規格	単位	数量	換算
コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³	0.373	
型枠		m ²	4.686	
目地材	t=10mm	m ²	0.763	

※ () 内は、護岸側の寸法を示す。

項目	規格	単位	数量	換算
コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³	0.392	
型枠		m ²	4.859	
目地材	t=10mm	m ²	0.806	



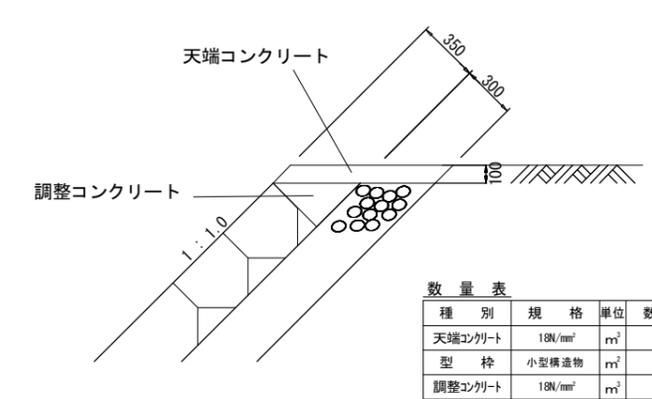
※ () 内は、護岸側の寸法を示す。

項目	規格	単位	数量	換算
コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³	0.386	
型枠		m ²	4.731	
目地材	t=10mm	m ²	0.872	

※ () 内は、護岸側の寸法を示す。

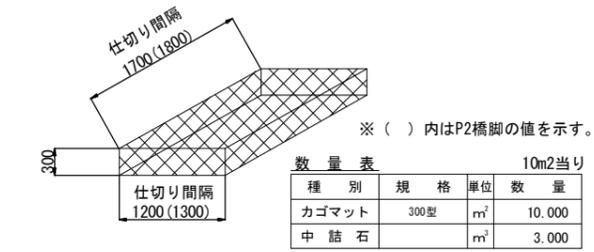
項目	規格	単位	数量	換算
コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³	0.377	
型枠		m ²	4.641	
目地材	t=10mm	m ²	0.859	

天端コンクリート (切土部) S=1:20



種別	規格	単位	数量
天端コンクリート	18N/mm ²	m ³	0.919
型枠	小型構造物	m ²	2.828
調整コンクリート	18N/mm ²	m ³	0.613

高水敷保護工 (カゴマット) S=1:10



種別	規格	単位	数量
カゴマット	300型	m ²	10.000
中詰石		m ³	3.000

※本図面はA1をA3に縮小している(縮尺50%)※

工事名	橋梁災害復旧工事(今津20号線・仲間橋)(23-1)		
図面名	取付護岸工詳細図(その2)		
作成年月日	2024年 1月		
縮尺	1:200, 1:50	図面番号	14 / 14
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

以下，参考図書

施工単価表

床掘り

土砂 標準

機械構成比: 12.80% 労務構成比: 73.72%

SPK23040015

切梁腹起式 障害無し

材料構成比: 13.48%

単第0 -0001 表

1

m3 当り

標準単価: 428.44000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	12.80%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	46.86%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	26.86%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	13.48%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=4 切梁腹起式 E=1 -(全ての費用)			B=1 標準 D=1 障害無し		

施工単価表

床掘り

土砂 標準

機械構成比: 13.99% 労務構成比: 71.28%

SPK23040015

切梁腹起式 障害有り

材料構成比: 14.73%

単第0 -0002 表

1

m3 当り

標準単価: 478.99000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	13.99%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	41.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	29.36%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.73%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=4 切梁腹起式 E=1 -(全ての費用)			B=1 標準 D=2 障害有り		

施工単価表

埋戻し

SPK23040020

単第0 -0003 表

最大埋戻幅1m以上4m未満

1

m3 当り

機械構成比: 11.71% 労務構成比:

83.03%

材料構成比:

5.26%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,861.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.8/平積0.6m3	9.99%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00014 MTPT00014
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.8~1.1t	1.62%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.8~1.1t		KTPC00008 KTPT00008
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	0.10%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
普通作業員	51.56%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	22.78%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	8.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.12%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.14%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

土砂等運搬

SPK23040002

単第0 -0004 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間有り 距離5.0km以下(3.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 46.25% 労務構成比:

38.07%

材料構成比: 15.68%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

997.58000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	46.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	38.07%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	15.68%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=15 距離5.0km以下(3.5km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=2 DID区間有り		

施工単価表

鋼管杭打込工 (中掘工グラウト注入)

V03830

単第0 -0006 表

600mm以上 700mm未満

平均N値20未満 杭先端岩盤閉塞

10

本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	3.25	人			
とび工	3.25	人			
特殊作業員	3.25	人			
普通作業員	3.25	人			
鋼管杭_杭径600_杭長12,500 SKK400,<長さエキストラ>,端部補強バンド含 <地域エキストラ>広島・陸上18m以下	10	本			
アースオーガ併用中掘機運転 オーガ出力55kW モンケン装備なし	3.25	日			単第0-0007 表
機-18_クローラクレーン運転 油圧駆動ウインチ・ラチスジブ型50~55t吊 排出ガス対策型2次基準	3.25	日			単第0-0008 表
バックホウ運転 クローラ型[標準型]山積0.45m3 (平積0.35m3) 排出ガス対策型2次基準	3.25	日			単第0-0009 表
諸雑費	52	%			#09
*** 合計 ***	10	本			
*** 単位当たり ***	1	本			

施工単価表

頁0 -0036

コンクリート

SPK23040154

単第0 -0012 表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.32% 労務構成比:

37.95% 材料構成比: 57.73%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

29,669.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	4.08%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	11.26%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.41%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.90%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	55.58%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

基礎碎石

SPK23040034

単第0 -0016 表

碎石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.22% 労務構成比:

67.59%

材料構成比: 27.19%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,289.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	5.19%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	32.39%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	14.14%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	12.65%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	7.95%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	22.33%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	4.83%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0043

コンクリート

SPK23040154

単第0 -0017 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.32%

労務構成比:

37.95%

材料構成比:

57.73%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

29,669.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	4.08%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	11.26%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.41%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.90%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	55.58%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

型枠

SPK23040156

単第0 -0018 表

一般型枠

均しコンクリート

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

4,504.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	59.07%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	19.80%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=5 均しコンクリート		

施工単価表

橋台・橋脚コンクリート打設
24-12-20(25)BB

S3080

単第0 -0019 表

10 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.060	人			0.06*1
特殊作業員	0.180	人			0.18*1
普通作業員	0.240	人			0.24*1
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	10.200	m3			
コンクリートポンプ車運転 トラック架装ブーム式 90~110m3/h	0.060	日			単第0-0020 表
養生工 一般養生 鉄筋構造物	10	m3			単第0-0021 表
諸雑費	3	%			#09
*** 合計 ***	10	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=3 24-12-20(25)BB F=0 30mを超える部分の圧送管延長 (m) J=1 小型車割増なし			C=1 I=0	一般養生 潮待割増率	

施工単価表

型枠

SPK23040156

単第0 -0025 表

一般型枠

鉄筋・無筋構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

8,890.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.99%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.08%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.24%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

床掘り

SPK23040015

単第0 -0026 表

土砂 掘削深さ5m超20m以下

切梁腹起式 障害有り

1

m3 当り

機械構成比: 39.45% 労務構成比:

48.99% 材料構成比: 11.56%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,210.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ドラグライン及びクラムシェル 油圧クラムシェル・テレスコピック式 平積0.4m3	34.61%		ドラグライン及びクラムシェル 油圧クラムシェル・テレスコピック式 平積0.4m3		MTPC00066 MTPT00066
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.08/平積0.06m3	4.84%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.08/平積0.06m3		MTPC00061 MTPT00061
普通作業員	16.61%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	16.32%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	16.06%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.56%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=4 切梁腹起式 E=1 -(全ての費用)			B=3 掘削深さ5m超20m以下 D=2 障害有り		

施工単価表

鋼管杭打込工 (中掘工グラウト注入)
800mm以上 900mm未満

V03831

単第0 -0027 表

平均N値20以上40未満 杭先端岩盤閉塞

10

本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	3.54	人			
とび工	3.54	人			
特殊作業員	3.54	人			
普通作業員	3.54	人			
鋼管杭_杭径800_杭長7,500 SKK400,<長さエキストラ>,端部補強バンド含 <地域エキストラ>広島・陸上18m以下	10	本			
アースオーガ併用中掘機運転 オーガ出力90kW モンケン装備なし	3.54	日			単第0-0028 表
機-18_クローラクレーン運転 油圧駆動ウインチ・ラチスジブ型50~55t吊 排出ガス対策型2次基準	3.54	日			単第0-0008 表
バックホウ運転 ク-ラ型[標準型]山積0.45m3 (平積0.35m3) 排出ガス対策型2次基準	3.54	日			単第0-0009 表
諸雑費	52	%			#09
*** 合計 ***	10	本			
*** 単位当たり ***	1	本			

施工単価表

壁式橋脚

S3074

単第0 -0029 表

100m3以上280m3未満 (H5m以上15m未満)

24-12-25(20) BB

10

m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.600	人			0.6*1
特殊作業員	0.200	人			0.2*1
型わく工	1.800	人			1.8*1
とび工	0.500	人			0.5*1
普通作業員	1.600	人			1.6*1
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	10.200	m3			
コンクリートポンプ車運転 トラック架装ブーム式 90~110m3/h	0.060	日			単第0-0020 表
雑工種(基礎材敷設転圧)	2	%			#06
雑工種(均しコンクリート打設)	4	%			#06
諸雑費	29	%			#09
*** 合計 ***	10	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			

施工単価表

床掘り

SPK23040015

単第0 -0032 表

土砂 上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 20.81%

労務構成比: 71.39%

材料構成比: 7.80%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,046.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	20.81%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	38.71%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	32.68%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.80%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

積込(ルーズ)

SPK23040007

単第0 -0033 表

土砂

小規模(標準)

1

m3 当り

機械構成比: 28.44%

労務構成比: 59.55%

材料構成比: 12.01%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,011.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	28.44%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	59.55%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.01%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=4 小規模(標準)		

施工単価表

現場打基礎コンクリート

SPK23040049

単第0 -0034 表

18-8-40BB

基礎砕石無し

1

m3 当り

機械構成比: 2.00% 労務構成比:

70.30%

材料構成比: 27.70%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

60,074.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	2.00%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
型わく工	21.74%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	17.06%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.59%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	10.26%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	26.36%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.15%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

間知ブロック張
150kg/個未満(各種)

SPK23040038

単第0 -0035 表

砕石不要 18-8-40BB

1

m2 当り

機械構成比: 5.26% 労務構成比:

32.30%

材料構成比: 62.44%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

17,177.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	5.26%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
普通作業員	11.47%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	8.73%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	5.44%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
ブロック工	4.41%		ブロック工		RTPC00005 RTPT00005
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリート積みブロック-滑面-<JISA5371> 280×420×350,参考質量41.2kg以上 8.5個/m2	36.73%		コンクリート積みブロック-滑面-<JISA5371> 250×400×350,参考質量35.0kg以上 10.0個/m2		F000000491 TTPT00042
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	21.04%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	4.67%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

胴込・裏込材(碎石)

SPK23040045

単第0 -0036 表

間知・平・連節・緑化ブロック

RC-40

1

m3 当り

機械構成比: 10.09% 労務構成比:

65.00%

材料構成比: 24.91%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

6,631.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	10.09%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
普通作業員	33.66%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.37%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	11.44%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	20.44%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	4.47%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 間知・平・連節・緑化ブロック			B=1 RC-40		

施工単価表

頁0 -0068

小型擁壁
擁壁平均高さ0.8m以上1.0m以下
機械構成比: 3.52% 労務構成比:

SPK23040069
18-8-40BB 基礎碎石無し
77.14% 材料構成比: 19.34%

単第0 -0037 表

1 m3 当り
標準単価: 84,391.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回・超低騒音・C機能・排2011 山積0.45/平積0.35m3,吊能力2.9t	2.73%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回・超低騒音・C機能付・排2011 山積0.45/平積0.35m3		MTPC00145 MTPT00145
その他(機械)			その他(機械)		EK009
型わく工	23.37%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	22.19%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	8.79%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	2.74%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	18.58%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.59%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

現場打天端コンクリート

SPK23040052

単第0 -0038 表

18-8-40BB

一般養生

1

m3 当り

機械構成比: 2.89%

労務構成比:

66.82%

材料構成比:

30.29%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

55,495.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	2.89%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
型わく工	23.04%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	15.75%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.87%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	28.53%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.76%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		E9999

施工単価表

コンクリート

SPK23040154

単第0 -0039 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 31.93%

材料構成比: 68.07%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

24,215.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	14.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	8.38%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.11%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	68.07%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

目地板

SPK23040122

単第0 -0040 表

1工事当り使用量30m2未満

瀝青繊維質目地板 t=10mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

63.91%

材料構成比:

36.09%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

3,582.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	47.33%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	16.27%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
目地板 瀝青繊維質板 厚10mm	36.09%		瀝青繊維質目地板 厚さ10mm		TTPC00199 TTPT00199
積算単価			積算単価		EP001
A=1 1工事当り使用量30m2未満			B=1 瀝青繊維質目地板 t=10mm		

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK23040234

単第0 -0041 表

RM-30

全仕上り厚100mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 10.05% 労務構成比:

31.45% 材料構成比: 58.50%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 555.97000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	4.02%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	3.18%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.04%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	14.47%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	5.08%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	4.81%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.42%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK23040234

単第0 -0041 表

RM-30

全仕上り厚100mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 10.05% 労務構成比:

31.45% 材料構成比: 58.50%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 555.97000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整碎石 30~0mm	54.88%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00010 TTPT00357
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.97%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=5 H=1 RM-30 -(全ての費用)			E=100 全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

表層(車道・路肩部)
平均幅員1.4m以上3.0m以下

SPK23040241

単第0 -0042 表

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.92% 労務構成比: 15.52%

材料構成比: 82.56%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,628.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅1.4~3.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.22%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅1.4~3.0m		KTPC00059 KTPT00059
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.25%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
<賃>タイヤローラ 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.23%		タイヤローラ 質量3~4t		KTPC00057 KTPT00057
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	5.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	3.64%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	3.58%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	1.25%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

表層(車道・路肩部)
平均幅員1.4m以上3.0m以下

SPK23040241

単第0 -0042 表

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.92% 労務構成比: 15.52%

材料構成比: 82.56%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,628.2000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	74.96%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	7.23%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.33%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=3 平均幅員1.4m以上3.0m以下 C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

区画線設置(ペイント式)
水性型(常温式) 実線 15cm

SDT00003

単第0 -0043 表

1000 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_ペイント式(車載式)【手間のみ】 実線_15cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
水性型トラフィックペイント(JISK5665_1種A 常温型 白	51.500	L			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106~0.850mm	40.170	kg			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	35.020	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=1 白色 F=1 時間的制約なし H=1 -			B=4 水性型(常温式) E=1 実線_15cm G=1 - I=1 -(全ての費用)		

施工単価表

鋼矢板圧入(Nmax 25)
陸上施工 3型

S0440
圧入長(m) 9以下(6超)

単第0 -0044 表

10

枚 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.357	人			
特殊作業員	0.357	人			
とび工	0.714	人			
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 圧入力1,000kN 排出ガス対策型2次基準	0.357	日			単第0-0045 表 10/28
機-18_ラフテレーンクレーン運転 25t吊 排出ガス対策型2次基準	0.357	日			単第0-0046 表 10/28
諸雑費	1	%			#09
*** 合計 ***	10	枚			
*** 単位当たり ***	1	枚			
A=1 陸上施工 C=2 圧入長(m)_9以下(6超)			B=2 3型		

施工単価表

鋼矢板引抜き
陸上施工 3型

S0454
引抜長(m) 9以下(6超)

単第0 -0047 表

10 枚 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.208	人			
特殊作業員	0.208	人			
とび工	0.417	人			
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 圧入力1,000kN 排出ガス対策型2次基準	0.208	日			単第0-0045 表 10/48
機-18_ラフテレーンクレーン運転 25t吊 排出ガス対策型2次基準	0.208	日			単第0-0046 表 10/48
諸雑費	0.2	%			#09
*** 合計 ***	10	枚			
*** 単位当たり ***	1	枚			
A=1 陸上施工 C=2 引抜長(m)_9以下(6超)			B=2 3型		

施工単価表

鋼矢板圧入(Nmax 50)
25<Nmax 50 陸上施工 3型

S0450
圧入長(m) 12以下(9超)

単第0 -0048 表

10 枚 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.625	人			
特殊作業員	0.625	人			
とび工	1.250	人			
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 圧入力1,000kN 排出ガス対策型2次基準	0.625	日			単第0-0045 表 10/16
機-24_杭打用ウォータジェット運転 エンジン式14.7MPa (150kg/cm2)	0.625	日			単第0-0049 表 10/16
機-18_ラフテレーンクレーン運転 25t吊 排出ガス対策型2次基準	0.625	日			単第0-0046 表 10/16
諸雑費	8	%			#09
*** 合計 ***	10	枚			
*** 単位当たり ***	1	枚			
A=1 陸上施工 C=2 3型			B=1 25<Nmax 50 D=3 圧入長(m)_12以下(9超)		

施工単価表

鋼矢板引抜き
陸上施工 3型

S0454
引抜長(m) 12以下(9超)

単第0 -0050 表

10 枚 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.250	人			
特殊作業員	0.250	人			
とび工	0.500	人			
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 圧入力1,000kN 排出ガス対策型2次基準	0.250	日			単第0-0045 表 10/40
機-18_ラフテレーンクレーン運転 25t吊 排出ガス対策型2次基準	0.250	日			単第0-0046 表 10/40
諸雑費	0.2	%			#09
*** 合計 ***	10	枚			
*** 単位当たり ***	1	枚			
A=1 陸上施工 C=3 引抜長(m)_12以下(9超)			B=2 3型		

施工単価表

油圧式杭圧入引抜機据付・解体
圧入 (Nmax 25)

S0458

単第0 -0051 表

III型

1

回 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.290	人			
特殊作業員	0.290	人			
とび工	0.580	人			
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 圧入力1,000kN 排出ガス対策型2次基準	0.250	日			単第0-0045 表
機-18_ラフテレーンクレーン運転 25t吊 排出ガス対策型2次基準	0.300	日			単第0-0046 表
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	回			
A=1 圧入 (Nmax 25) C=1 陸上施工			B=2 III型		

施工単価表

油圧式杭圧入引抜機据付・解体
圧入 (Nmax 50)

S0458

単第0 -0052 表

III型

1

回 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.500	人			
特殊作業員	0.500	人			
とび工	1.000	人			
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 圧入力1,000kN 排出ガス対策型2次基準	0.290	日			単第0-0045 表
機-18_ラフテレーンクレーン運転 25t吊 排出ガス対策型2次基準	0.450	日			単第0-0046 表
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	回			
A=2 C=1 圧入 (Nmax 50) 陸上施工			B=2 III型		

施工単価表

油圧式杭圧入引抜機据付・解体
引抜き

S0458

単第0 -0053 表

1

回 当り

III型

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.190	人			
特殊作業員	0.190	人			
とび工	0.390	人			
機-24_油圧式杭圧入引抜機運転 圧入力1,000kN 排出ガス対策型2次基準	0.130	日			単第0-0045 表
機-18_ラフテレーンクレーン運転 25t吊 排出ガス対策型2次基準	0.190	日			単第0-0046 表
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	回			
A=4 引抜き C=1 陸上施工			B=2 III型		

施工単価表

切梁・腹起し設置,撤去【橋台】
設置

SHD10019

単第0 -0056 表

頁0 -0091

10 t 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.700	人			
とび工	3.200	人			
溶接工	1.700	人			
普通作業員	1.700	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	1.700	日			
諸雑費	5	%			#09
*** 合計 ***	10	t			
*** 単位当たり ***	1	t			
A=1 設置 C=1 -			B=1 - D=1 ラフテレーンクレーン25t吊		

施工単価表

切梁・腹起し設置,撤去【橋台】
撤去

SHD10019

単第0 -0057 表

頁0 -0092

10 t 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.000	人			
とび工	1.900	人			
溶接工	1.000	人			
普通作業員	1.000	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	1.000	日			
諸雑費	7	%			#09
*** 合計 ***	10	t			
*** 単位当たり ***	1	t			
A=2 撤去 C=1 -			B=1 - D=1 ラフテレーンクレーン25t吊		

施工単価表

山留材質料【橋台】
H-350, 150kg/m及びH-300, 100kg/m

SHD10013

単第0 -0058 表

1 t 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
(賃料)鋼製山留材 H-350, 150kg/m 90日(3か月)以内	1.000	t			
修理費及び損耗費:主部材	1.000	t			
(賃料)鋼製山留材 部品 90日(3か月)以内	0.220	t・日			
修理費及び損耗費:副部材(A)	0.220	t			
修理費及び損耗費:副部材(B)	0.040	t			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	t			
A=1 山留材質料 C=1 - E=2 修理費及び損耗費:副部材(A) G=31 賃料期間(日)			B=3 鋼製山留材 H-350, 150kg/m D=2 修理費及び損耗費:主部材 F=2 修理費及び損耗費:副部材(B)		

施工単価表

切梁・腹起し設置,撤去【橋脚】
設置

SHD10019

単第0 -0059 表

頁0 -0094

10 t 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.700	人			
とび工	3.200	人			
溶接工	1.700	人			
普通作業員	1.700	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	1.700	日			
諸雑費	5	%			#09
*** 合計 ***	10	t			
*** 単位当たり ***	1	t			
A=1 設置 C=1 -			B=1 - D=1 ラフテレーンクレーン25t吊		

施工単価表

切梁・腹起し設置,撤去【橋脚】
撤去

SHD10019

単第0 -0060 表

頁0 -0095

10 t 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.000	人			
とび工	1.900	人			
溶接工	1.000	人			
普通作業員	1.000	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	1.000	日			
諸雑費	7	%			#09
*** 合計 ***	10	t			
*** 単位当たり ***	1	t			
A=2 撤去 C=1 -			B=1 - D=1 ラフテレーンクレーン25t吊		

施工単価表

山留材質料【橋脚】

SHD10013

単第0 -0061 表

H-300, 100kg/m

1 t 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
(賃料)鋼製山留材 H-300, 100kg/m 90日(3か月)以内	1.000	t			
修理費及び損耗費:主部材	1.000	t			
(賃料)鋼製山留材 部品 90日(3か月)以内	0.220	t・日			
修理費及び損耗費:副部材(A)	0.220	t			
修理費及び損耗費:副部材(B)	0.040	t			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	t			
A=1 山留材質料 C=1 - E=2 修理費及び損耗費:副部材(A) G=59 賃料期間(日)			B=2 鋼製山留材 H-300, 100kg/m D=2 修理費及び損耗費:主部材 F=2 修理費及び損耗費:副部材(B)		

施工単価表

大型土のう製作・設置(RTC設置)

SHD10005

単第0 -0067 表

頁0 -0102

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.192	人			1*0.192
特殊作業員	0.192	人			1*0.192
普通作業員	0.192	人			1*0.192
耐候性大型土のう(2.0t用) 丸型,径110cm×長110cm 短期仮設対応(1年),令和5年改定基準適合品	10.000	枚			
処理土	10.000	m3			ほぐした土量
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.192	日			単第0-0068 表
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	0.192	日			
諸雑費	6	%			#09
*** 合計 ***	10	袋			
*** 単位当たり ***	1	袋			
A=4 D=100 耐候性(短期)大型土のう(R5改定基準適合品) 【F】土砂(m3)			B=2	土砂の計上あり	

10 袋 当り

施工単価表

大型土のう設置
作業半径 6mを超え20m以下

SHD10009

単第0 -0069 表

頁0 -0104

10 袋 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.125	人			1*0.125
特殊作業員	0.125	人			1*0.125
普通作業員	0.125	人			1*0.125
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	0.125	日			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	10	袋			
*** 単位当たり ***	1	袋			
A=2 作業半径 6mを超え20m以下					

施工単価表

土砂等運搬

SPK23040002

単第0 -0072 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間有り 距離8.0km以下(6.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 46.25% 労務構成比:

38.07%

材料構成比: 15.68%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,330.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	46.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	38.07%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.68%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=25 距離8.0km以下(6.5km超)			B=2 バックホウ山積1.4m3(平積1.0m3) D=2 DID区間有り		

施工単価表

路体(築堤)盛土
 施工幅員4.0m以上

SPK23040004

単第0 -0073 表

施工数量10,000m3未満 障害無し

1

m3 当り

機械構成比: 18.74% 労務構成比:

64.69% 材料構成比: 16.57%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

214.13000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	11.51%		<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音		KTPC00036 KTPT00036
<賃>振動ローラ(土木用フラットSドラム型) 質量11~12t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	7.23%		振動ローラ(土工用) [フラット・シングルドラム型] 質量11~12t		KTPC00058 KTPT00058
運転手(特殊)	43.87%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	20.82%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	16.57%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 C=1 施工幅員4.0m以上 障害無し			B=1 施工数量10,000m3未満		

施工単価表

掘削
土砂 オープンカット 押土有り

SPK23040001

単第0 -0074 表

普通土30,000m3未満又は湿地軟弱土

1

m3 当り

機械構成比: 55.28% 労務構成比:

24.97% 材料構成比: 19.75%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

317.09000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ブルドーザ 湿地・排3 20t級	55.28%		ブルドーザ 湿地・排3 20t級		MTPC00148 MTPT00148
運転手(特殊)	24.97%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	19.75%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=1 押土有り			B=1 オープンカット E=1 普通土30,000m3未満又は湿地軟弱土		

施工単価表

掘削
土砂 オープンカット 押土無し

SPK23040001

単第0 -0075 表

障害無し 5,000m3未満

1

m3 当り

機械構成比: 45.14% 労務構成比:

34.64%

材料構成比: 20.22%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

317.66000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	45.14%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00128 MTPT00128
運転手(特殊)	34.64%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	20.22%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=2 押土無し E=3 5,000m3未満			B=1 オープンカット D=1 障害無し		

施工単価表

現場発生品及び支給品積込み・荷卸し

SPK23040411

単第0 -0076 表

クレーン装置付BT2t級2.9t吊

1

t 当り

機械構成比: 14.15% 労務構成比: 82.74%

材料構成比: 3.11%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

8,606.40000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t	14.15%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
特殊作業員	41.50%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	40.83%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.11%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 クレーン装置付BT2t級2.9t吊					

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬

SPK23040410

単第0 -0077 表

クレーン装置付BT2t級2.9t吊

片道運搬距離20.0km以下(17.0km超)

1

t 当り

機械構成比: 14.21% 労務構成比:

82.66% 材料構成比: 3.13%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

9,996.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t	14.21%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
特殊作業員	41.66%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	41.00%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.13%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=15 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離20.0km以下(17.0km超)			B=2 DID区間有り		

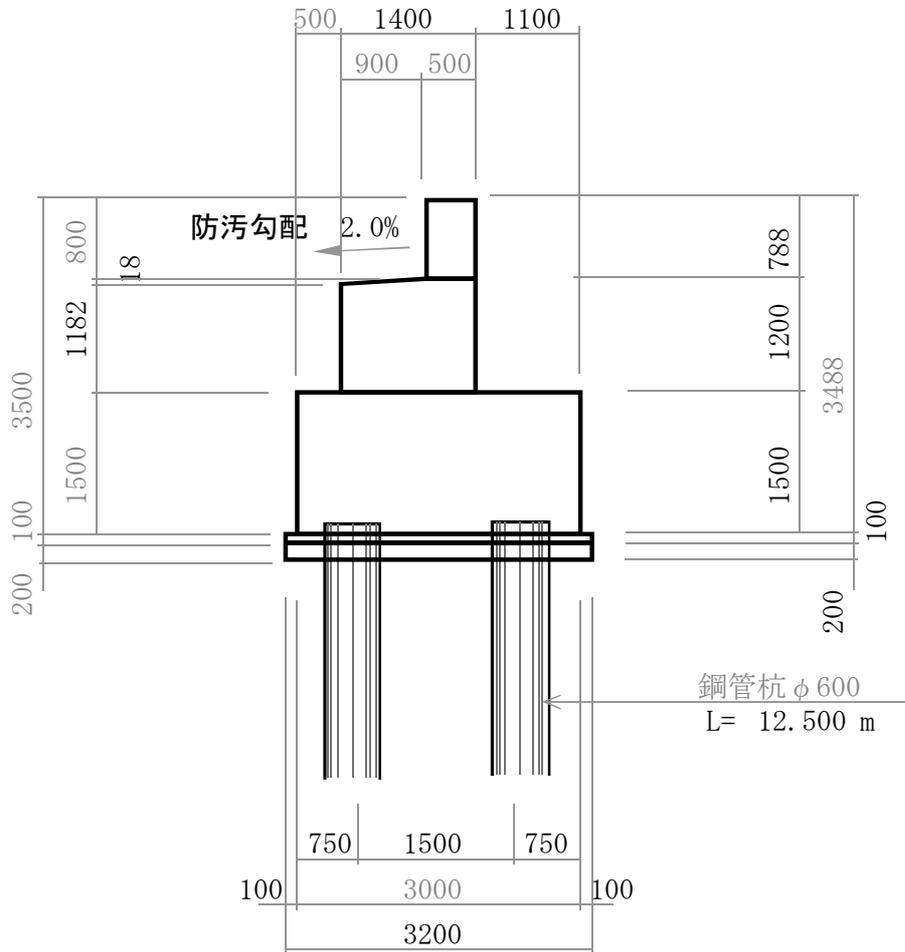
1-1 A1橋台数量計算書

1) A1橋台数量総括表

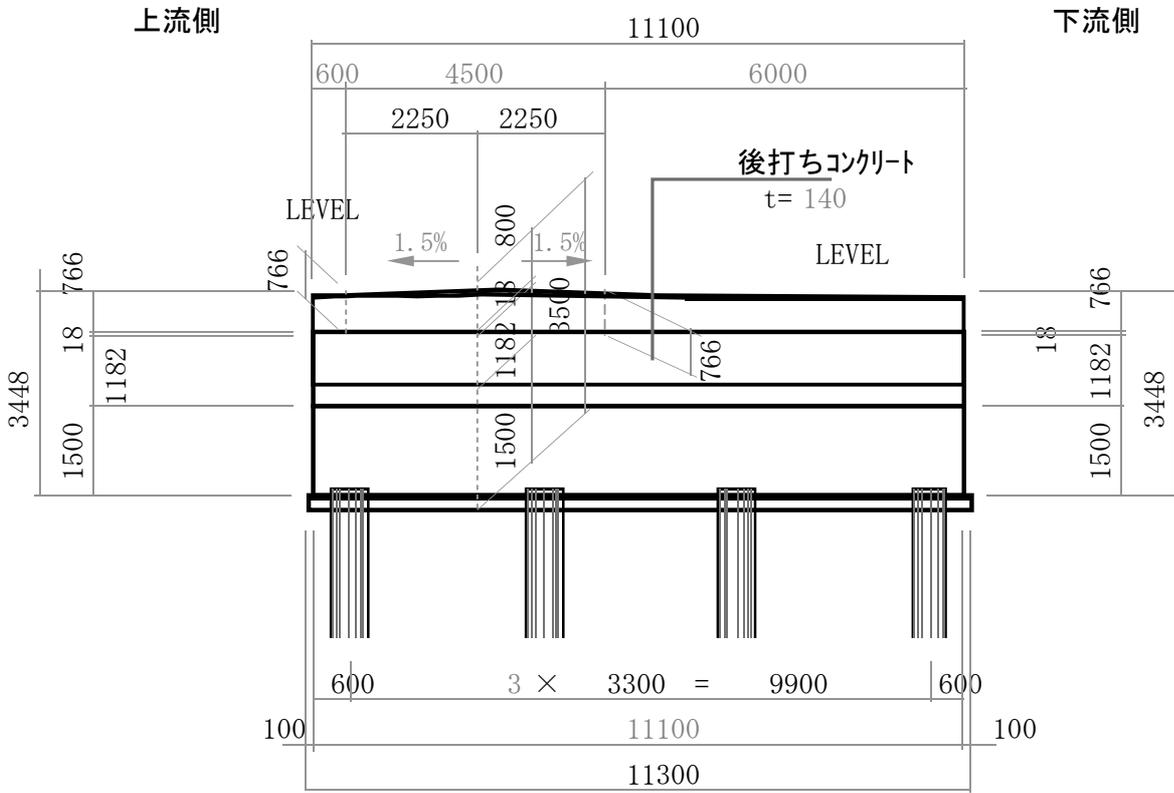
工種		規格・寸法	単位	数量	設計計上	摘要	
本 体 工	コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$	m ³	72.13	72		
	型 枠	一般構造物	m ²	86.85	87		
	均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	3.62	4	t=100mm	
	均しコンクリート型枠		m ²	2.90	3		
	基礎砕石	RC-40	m ²	36.16	36	t=200mm	
	鉄 筋 (SD345)	D13		t	0.48	0.48	484kg
		D16~D25		t	2.11	2.11	2107kg
		合計		t	2.59	2.59	2591kg
	鉄筋継手	機械継手D16	箇所	4.00	4		
	円筒型枠	$\phi 150$	m	4.16	4		
沓座箱抜型枠		m ²	0.47	0.5			
基 礎 工	鋼管杭打込	$\phi 600, 12.5\text{m}$	本	8.00	8		
	鋼 材 取 卸	SKK400 SS400	鋼管 $\phi 600 \times 8$	t	13.104	13.1	13104kg
			杭頭ずれ止め	t	0.050	0.1	50kg
			杭頭スラストパッド	t	0.002	0.0	2kg
			杭先端補強バンド	t	0.216	0.2	216kg
			合計	t	13.372	13.4	13372kg
	溶 接	現場隅肉溶接	m	30.16	30		
	杭頭コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$	m ³	2.4	2		
	鉄 筋 (SD345)	D13		t	0.232	0.23	232kg
		D16~D25		t	1.136	1.14	1136kg
合 計			t	1.368	1.37	1368kg	
杭 土 工	埋戻(礫質土)		m ³	19.07	20	中詰土	
	残土		m ³	265.25	270		
土 工	作業土工	掘削(A領域)	m ³	133.10	130		
		掘削(B領域)	m ³	95.60	100		
		埋戻C	m ³	147.42	150		
		残土	m ³	64.90	60		

2) A1橋台数量算出根拠図

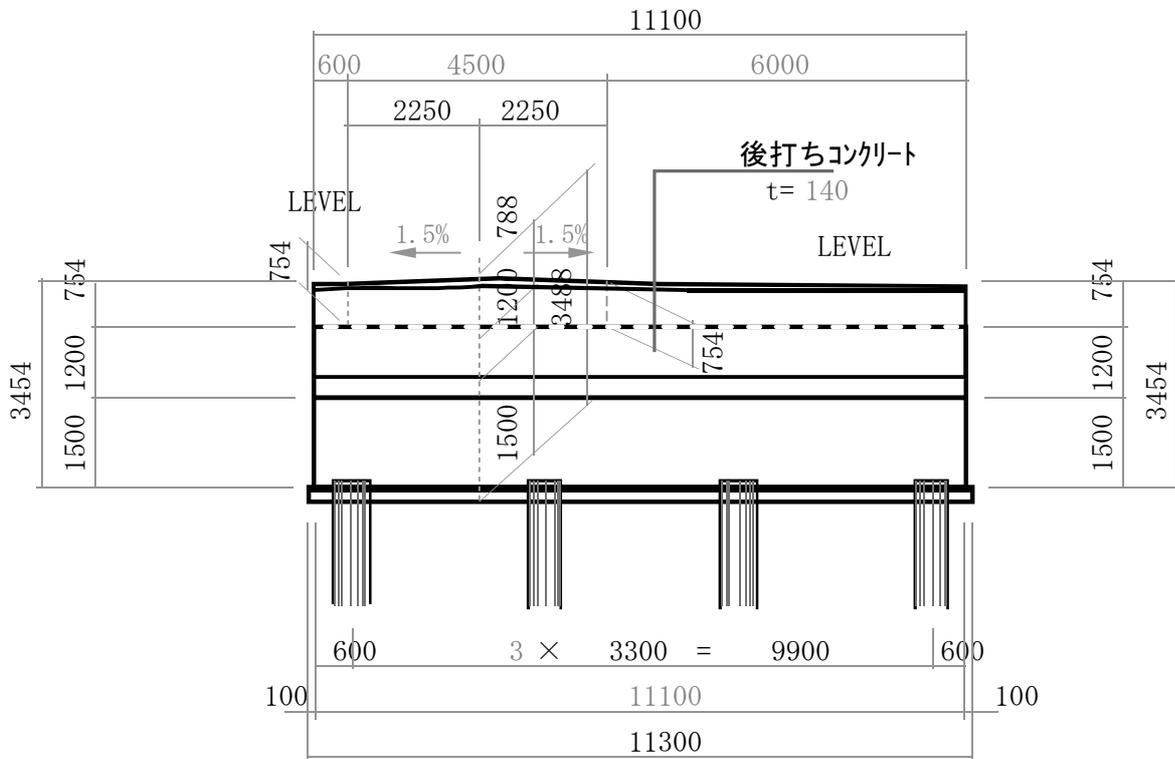
断面図



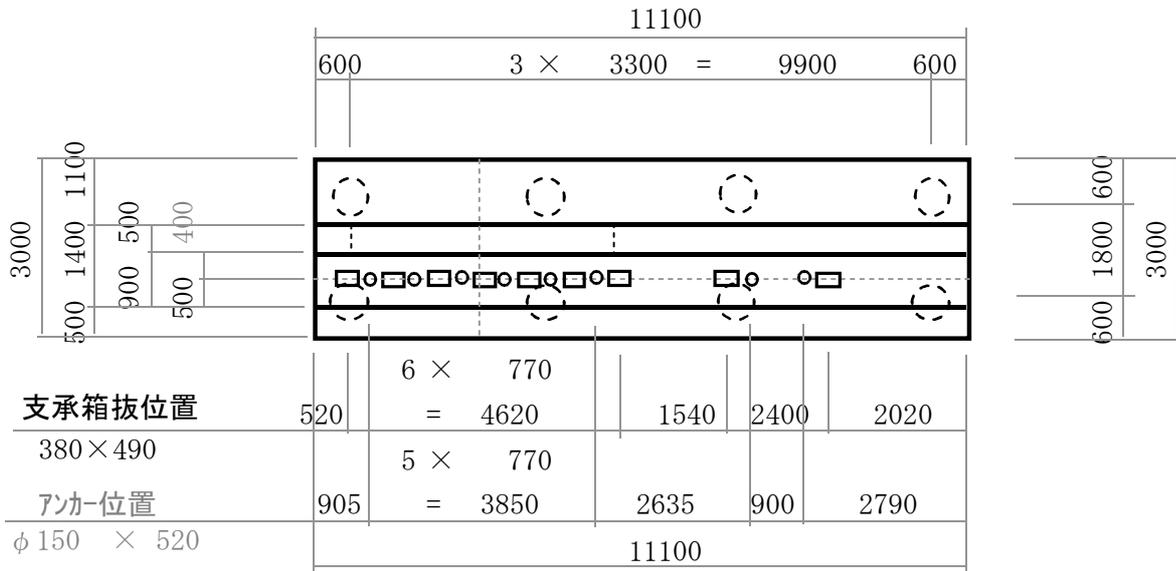
正面図



背面図



平面図



縦壁の斜角 $\theta = 90^\circ 0' 0''$

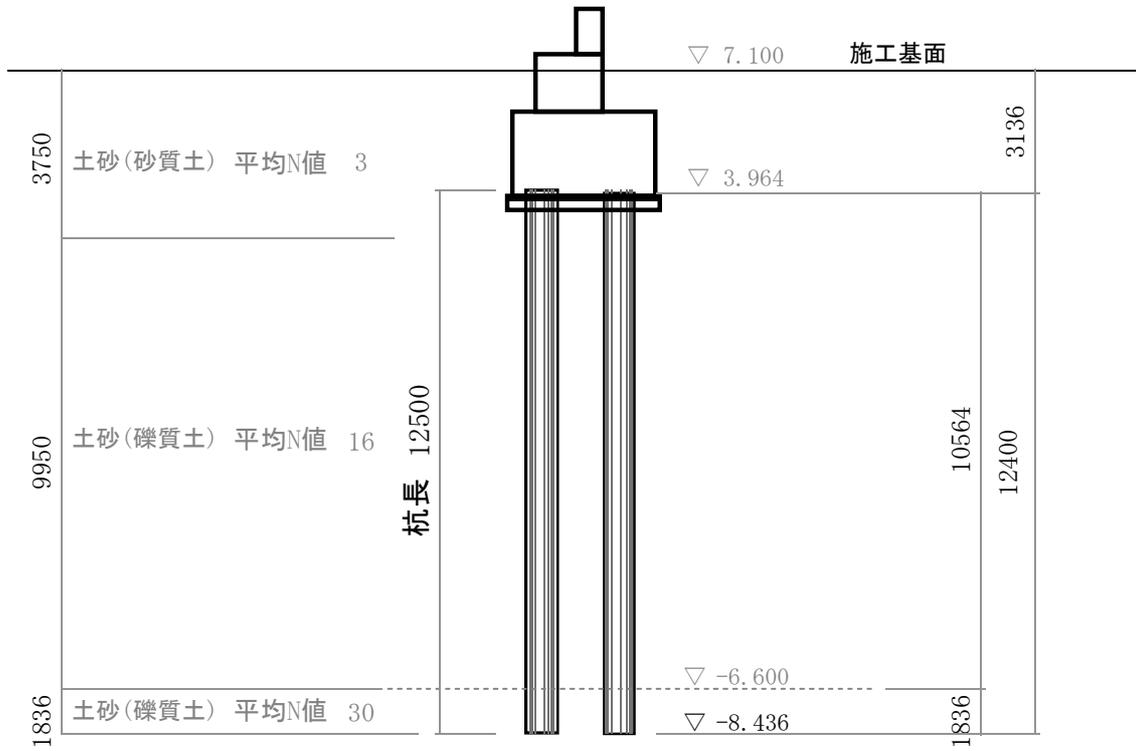
底版の斜角 $\phi = 90^\circ 0' 0''$

斜率

$$1/\sin \theta = 1.0000$$

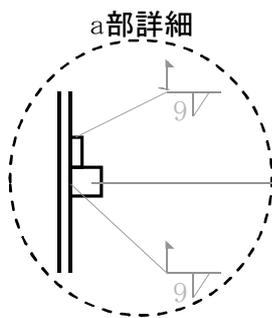
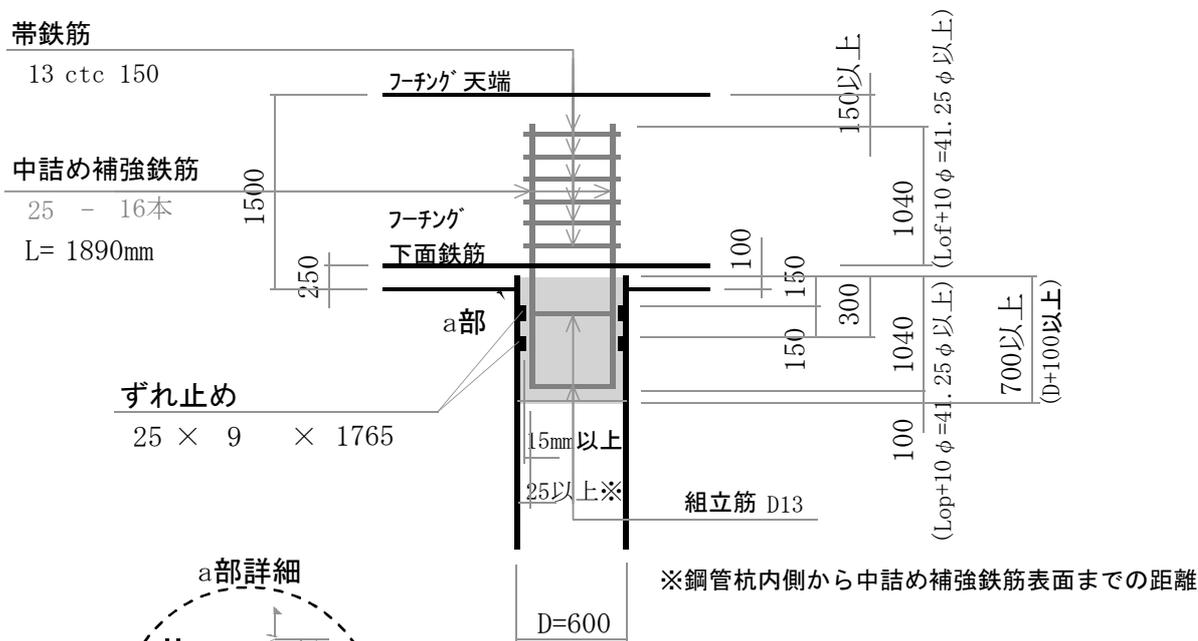
$$1/\sin \phi = 1.0000$$

杭基礎



鋼管杭 $\phi 600$

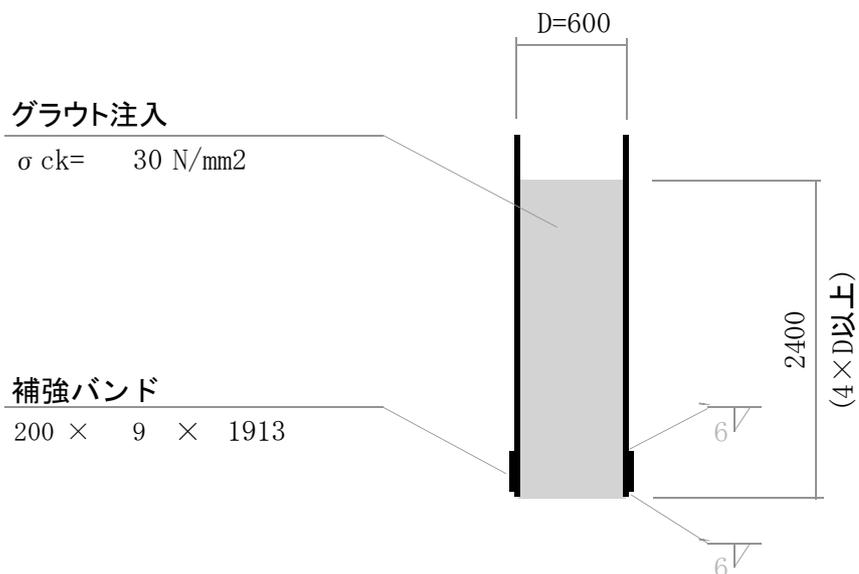
杭頭の詳細



ずれ止めストッパー (現場溶接補助材)
25 × 9 × 50 - 3箇所

杭先端の詳細

グラウト注入方式



3) A1橋台数量計算

a) コンクリート ($\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$)

胸壁 (パラペット)

前面

$$a1 = 1/2 \times (0.766 + 0.766) \times 0.600 = 0.460 \text{ m}^2$$

$$a2 = 1/2 \times (0.766 + 0.800) \times 2.250 = 1.762 \text{ m}^2$$

$$a3 = 1/2 \times (0.800 + 0.766) \times 2.250 = 1.762 \text{ m}^2$$

$$a4 = 1/2 \times (0.766 + 0.766) \times 6.000 = 4.596 \text{ m}^2$$

$$A1 = \Sigma = 8.580 \text{ m}^2$$

背面

$$a5 = 1/2 \times (0.754 + 0.754) \times 0.600 = 0.452 \text{ m}^2$$

$$a6 = 1/2 \times (0.754 + 0.788) \times 2.250 = 1.735 \text{ m}^2$$

$$a7 = 1/3 \times (0.788 + 0.754) \times 2.250 = 1.735 \text{ m}^2$$

$$a8 = 1/2 \times (0.754 + 0.754) \times 6.000 = 4.524 \text{ m}^2$$

$$A2 = \Sigma = 8.446 \text{ m}^2$$

$$V1 = 1/2 \times (8.580 + 8.446) \times 0.500 = 4.26 \text{ m}^3$$

$$V2 = -0.500 \times 2.850 \times 0.140 = -0.20 \text{ m}^3$$

$$V3 = -0.500 \times 8.250 \times 0.140 = -0.58 \text{ m}^3$$

※V2、V3は伸縮切欠の控除表す。

$$\Sigma V1 = 3.48 \text{ m}^3$$

豎壁

前面

$$A3 = 1/2 \times (1.182 + 1.182) \times 11.100 = 13.120 \text{ m}^2$$

背面

$$A4 = 1/2 \times (1.200 + 1.200) \times 11.100 = 13.320 \text{ m}^2$$

$$V4 = 1/2 \times (13.120 + 13.320) \times 1.400 = 18.51 \text{ m}^3$$

$$V5 = 1/2 \times (0.500 + 1.400) \times 0.018 \times 11.100 = 0.19 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V2 = 18.70 \text{ m}^3$$

底版 (フーチング)

$$V6 = 1.500 \times 3.000 \times 11.100 = 49.95 \text{ m}^3$$

コンクリート合計

$$\Sigma V = 3.48 + 18.70 + 49.95 = \underline{\underline{72.13 \text{ m}^3}}$$

b) 型 枠

胸壁 (パラペット)

前面

$$A1 = (\text{コンクリートより : 胸壁前面}) = 8.580 \text{ m}^2$$

背面

$$A2 = (\text{コンクリートより : 胸壁背面}) = 8.446 \text{ m}^2$$

左側面

$$A5 = 1/2 \times (0.766 + 0.754) \times 0.500 \times 1/\sin \theta = 0.380 \text{ m}^2$$

右側面

$$A6 = 1/2 \times (0.766 + 0.754) \times 0.500 \times 1/\sin \theta = 0.380 \text{ m}^2$$

伸縮及び舗装部の控除

$$A9 = -0.140 \times (2.850 + 8.250 + 0.500) \times 2 = -3.248 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A1 = 14.538 \text{ m}^2$$

豎壁

前面

$$A3 = (\text{コンクリートより : 豎壁前面}) = 13.120 \text{ m}^2$$

背面

$$A4 = (\text{コンクリートより : 豎壁背面}) = 13.320 \text{ m}^2$$

$$A7 = 0.018 \times 11.100 = 0.200 \text{ m}^2$$

左側面

$$A8 = 1/2 \times (1.182 + 1.200) \times 1.400 \times 1/\sin \theta = 1.667 \text{ m}^2$$

$$A9 = 1/2 \times (0.500 + 1.400) \times 0.018 \times 1/\sin \theta = 0.017 \text{ m}^2$$

右側面

$$A10 = 1/2 \times (1.182 + 1.200) \times 1.400 \times 1/\sin \theta = 1.667 \text{ m}^2$$

$$A11 = 1/2 \times (0.500 + 1.400) \times 0.018 \times 1/\sin \theta = 0.017 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A2 = 30.008 \text{ m}^2$$

底版 (フーチング)

前面

$$A12 = 1.500 \times 11.100 = 16.650 \text{ m}^2$$

背面

$$A13 = 1.500 \times 11.100 = 16.650 \text{ m}^2$$

左側面

$$A14 = 1.500 \times 3.000 \times 1/\sin \phi = 4.500 \text{ m}^2$$

右側面

$$A15 = 1.500 \times 3.000 \times 1/\sin \phi = 4.500 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A2 = 42.300 \text{ m}^2$$

型枠合計

$$\Sigma A = 14.538 + 30.008 + 42.300 = \underline{\underline{86.85 \text{ m}^3}}$$

c) 均しコンクリート ($\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$)

$$A = 11.300 \times (3.000 + 0.100 \times 1/\sin\phi \times 2) = 36.16 \text{ m}^2$$

$$V = 36.16 \times 0.100 = \underline{\underline{3.62 \text{ m}^3}}$$

d) 均しコンクリート型枠

前面延長

$$L1 = 11.100 + 0.100 \times 1/\sin\phi \times 2 = 11.300 \text{ m}$$

背面延長

$$L2 = 11.100 + 0.100 \times 1/\sin\phi \times 2 = 11.300 \text{ m}$$

左側面延長

$$L3 = 3.200 \times 1/\sin\phi = 3.200 \text{ m}$$

右側面延長

$$L4 = 3.200 \times 1/\sin\phi = 3.200 \text{ m}$$

$$\Sigma L = 29.000 \text{ m}$$

$$A = 29.000 \times 0.100 = \underline{\underline{2.9 \text{ m}^2}}$$

e) 基礎砕石 (RC-40)

$$A = (\text{均しコンクリートの平面積と同じ}) = \underline{\underline{36.16 \text{ m}^2}}$$

$$(V = 36.16 \times 0.200 = 7.23 \text{ m}^3)$$

f) 鉄筋 (SD345)

D13	484 kg		
D16~D25	2107 kg	機械継手D16	4箇所
合計	<u>2591 kg</u>		

g) 円筒型枠

$$\phi 150 \quad L1 = 0.520 \times 8 = \underline{\underline{4.16 \text{ m}}}$$

h) 沓座箱抜型枠

$$A = (0.380 + 0.490) \times 2 \times 0.030 \times 9 = \underline{\underline{0.47 \text{ m}^2}}$$

4) A1橋台基礎数量計算

杭種： 中掘鋼管杭(グラウト注入方式)

杭径： $\phi = 0.600 \text{ m}$

杭長： $L = 12.500 \text{ m}$

杭本数： $N = 8 \text{ 本}$

a) 鋼材取卸

項目	材質	寸法			単位重量 (kg/m又はkg/個)	数量 (本又は個)	重量 (kg)
		幅(mm)	厚(mm)	長(mm)			
鋼管 $\phi 600$	SKK400		9	12500	131	8	13104
杭頭ずれ止め	SS400	25	9	1765	3.12	16	50
杭頭ずれ止めストッパー	SS400	25	9	50	0.09	24	2
杭先端補強バンド	SS400	200	9	1913	27.03	8	216
合 計							13372

b) 溶接

【参考値】工場隅肉溶接(6mm換算)

$$\begin{array}{rcl} \text{補強バンド} & L1 = 1.885 \text{ m} \times 2 \text{ 段} \times 8 \text{ 本} \times \text{換算率} & = 30.16 \text{ m} \\ & \Sigma L = & 30.16 \text{ m} \end{array}$$

現場隅肉溶接

$$\begin{array}{rcl} \text{ずれ止め・} & & \\ \text{ストッパー} & L1 = 1.885 \text{ m} \times 2 \text{ 段} \times 8 \text{ 本} & = 30.16 \text{ m} \\ & \Sigma L = & \underline{\underline{30.16 \text{ m}}} \end{array}$$

c) 杭頭コンクリート ($\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$)

$$V = \pi/4 \times 0.582^2 \times 1.140 \times 8 \text{ 本} = 2.4 \text{ m}^3$$

d) 杭頭鉄筋 (SD345)

$$\begin{array}{rcl} D13 & 29 \text{ kg} \times 8 \text{ 本} & = 232 \text{ kg} \\ D16 \sim D25 & 142 \text{ kg} \times 8 \text{ 本} & = 1136 \text{ kg} \\ \hline \text{合 計} & 171 \text{ kg} & \Sigma = \underline{\underline{1368 \text{ kg}}} \end{array}$$

【参考値】 e) グラウト注入 ($\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$ 呼び強度)

$$V = 0.582^2 \times \pi \div 4 \times 2.400 \times 8 \text{ 本} = 5.11 \text{ m}^3$$

【参考値】f) 土質別掘削長

砂質土 (N値<20)			
L= 3.750 × 8本	=	30.00 m	
砂質土 (N値≥40)			
L= 0.000 × 8本	=	0.00 m	
礫質土 (N値<20)			
L= 9.950 × 8本	=	79.60 m	
礫質土 (N値≥40)			
L= 1.836 × 8本	=	14.69 m	

荷重平均N値

土層No.	1	2	3	合計	加重平均N値
土質	砂質土	礫質土	礫質土	—	14.52
N値	3	16	30	—	
層厚(L)	3.750	9.950	1.836	15.536	
N×L	11.3	159.2	55.1	225.5	

g) 杭土工

砂質土

$$V = \pi/4 \times 0.600^2 \times (30.00 + 0.00) \times 8本 = 67.86 \text{ m}^3$$

礫質土

$$V = \pi/4 \times 0.600^2 \times (79.60 + 14.69) \times 8本 = 213.28 \text{ m}^3$$

埋戻(杭)

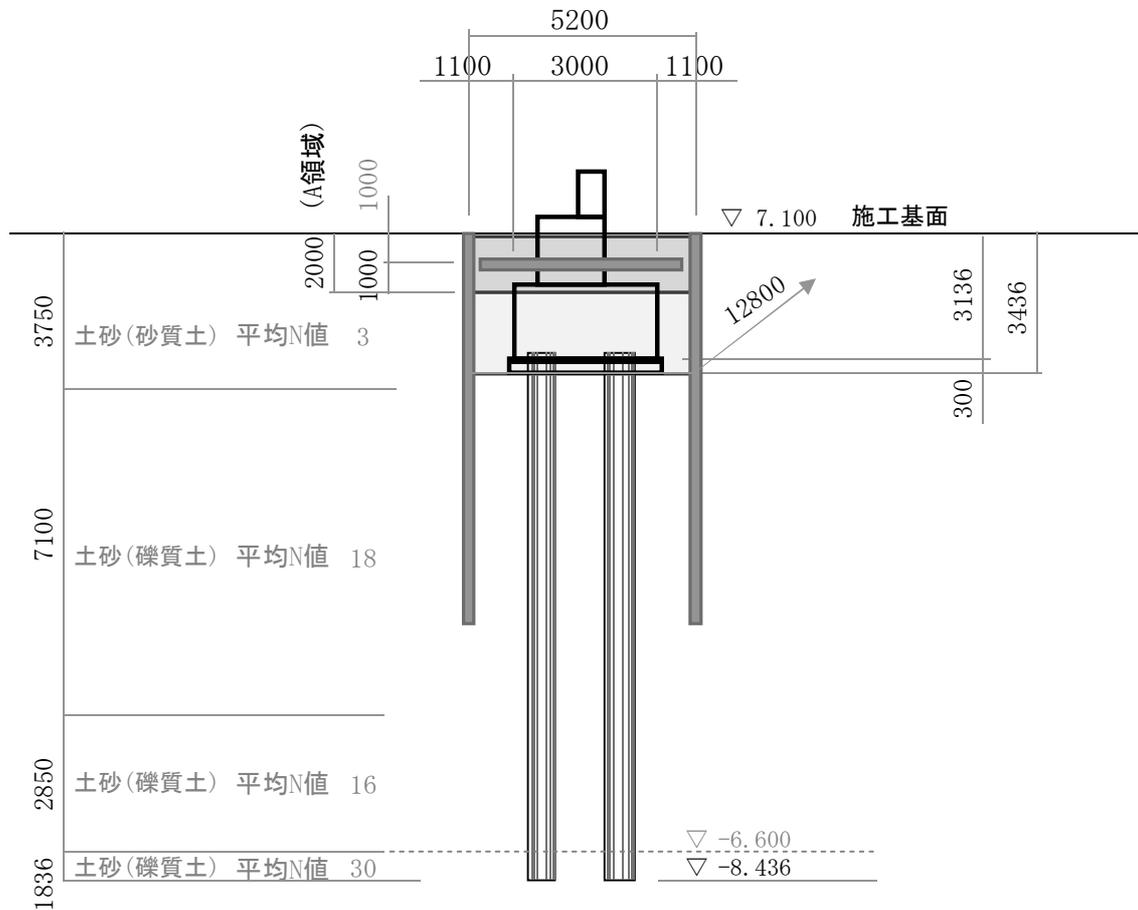
$$V = \pi/4 \times 0.582^2 \times \frac{8.960}{L=12.500-1.140(\text{杭頭部コンクリート打設長})-2.400(\text{杭内の杭先端コンクリート打設長})} \times 8本 = 19.07 \text{ m}^3$$

残土

$$V = 67.86 + 213.28 - 19.07 \div 1.2 = 265.25 \text{ m}^3$$

5) A1橋台土工数量計算

a) 土工根拠図



・ 土留掘削

A領域 (土砂)

$$V = 5.200 \times 12.800 \times 2.000 = 133.1 \text{ m}^3$$

B領域 (土砂)

$$V = 5.200 \times 12.800 \times 1.436 = 95.6 \text{ m}^3$$

・ 埋戻 (C)

$$V = 133.1 + 95.6 - \frac{7.23}{\text{基礎碎石}} - \frac{3.62}{\text{均しコンクリート}} - \frac{49.95}{\text{底板}} - \frac{18.51}{\text{壁}} - \frac{1.97}{\text{胸壁}} = 147.42 \text{ m}^3$$

・ 残土

$$V = 133.1 + 95.6 - 147.42 \div 0.9 = 64.9 \text{ m}^3$$

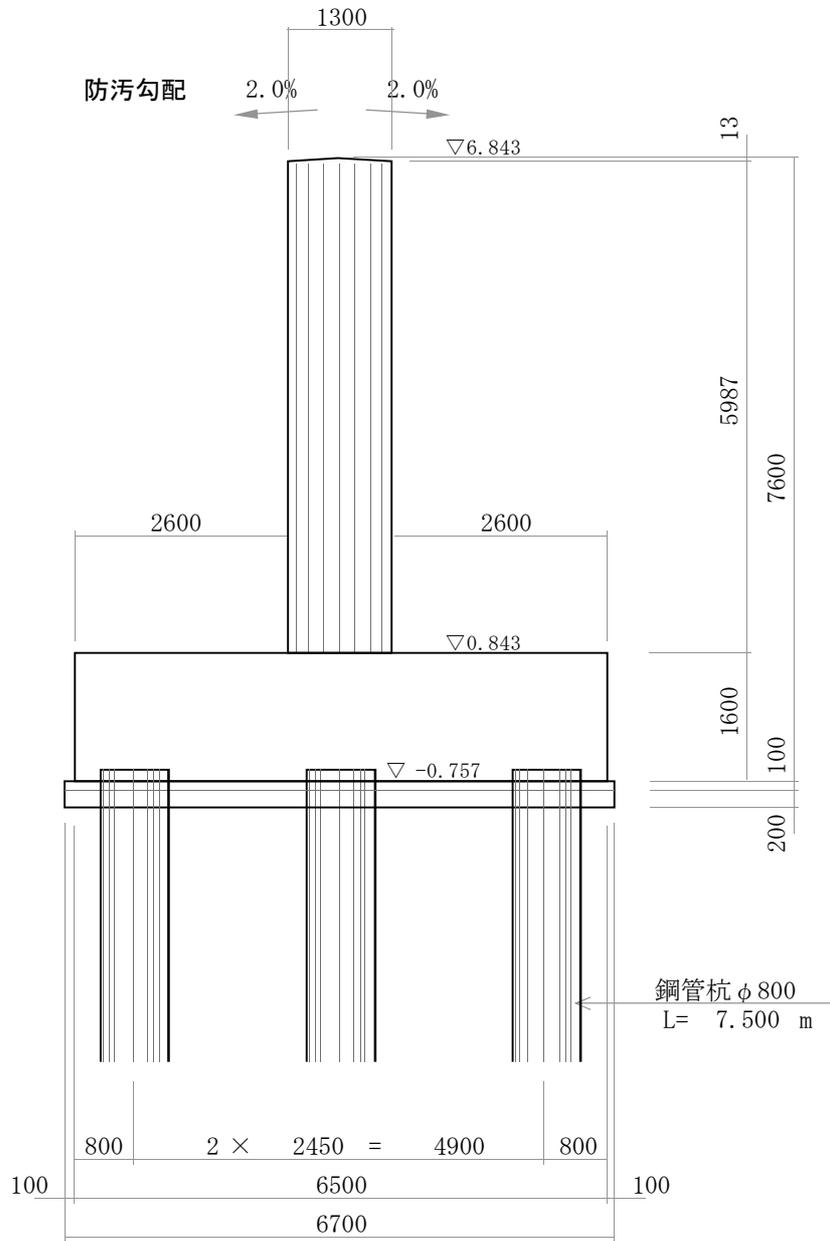
2-2 P1橋脚数量計算書

1) P1橋脚数量総括表

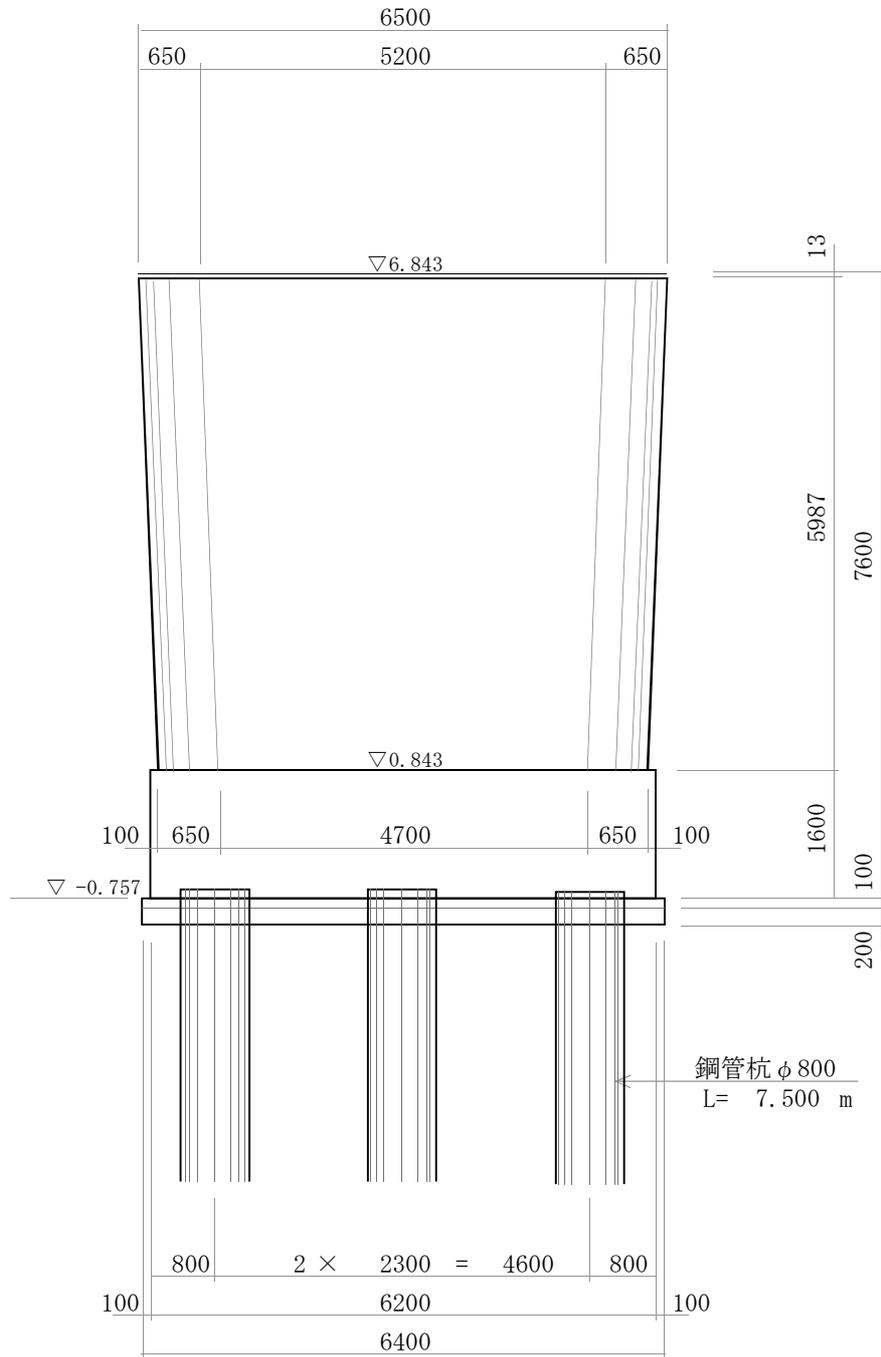
工種		規格・寸法	単位	数量	設計計上	摘要	
本 体 工	コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$	m ³	111.00	111		
	鉄筋 (SD345)	D16~D25	t	5.59	5.59	5594kg	
		D29~D32	t	4.94	4.94	4942kg	
		D35~D51	t	2.08	2.08	2078kg	
		合計	t	12.61	12.61	12614kg	
	円筒型枠	$\phi 150$	m	3.36	3		
水替工		日	13	13			
鋼管杭打込		$\phi 800, 7.5\text{m}$	本	9.00	9		
基 礎 工	鋼材 取卸	SKK400	鋼管 $\phi 800 \times 9$	t	11.880	11.9	11880kg
		SS400	杭頭ずれ止め	t	0.101	0.1	101kg
			杭頭スラストパッド	t	0.005	0.0	5kg
			杭先端補強バンド	t	0.485	0.5	485kg
			合計	t	12.471	12.5	12471kg
	溶接	現場隅肉溶接	m	45.23	45		
	杭頭コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$	m ³	4.37	4		
	鉄筋 (SD345)	D13	t	0.28	0.28	279kg	
		D16~D25	t	1.19	1.19	1188kg	
		合計	t	1.47	1.47	1467kg	
杭土工	埋戻(礫質土)	m ³	14.22	10	中詰土		
	残土	m ³	493.92	490			
土 工	作業土工	掘削(A領域)	m ³	140.80	140		
		掘削(B領域)	m ³	211.20	210		
		掘削(C領域)	m ³	22.70	20		
		埋戻C	m ³	270.80	270		
		残土	m ³	73.80	70		

2) P1橋脚数量算出根拠図

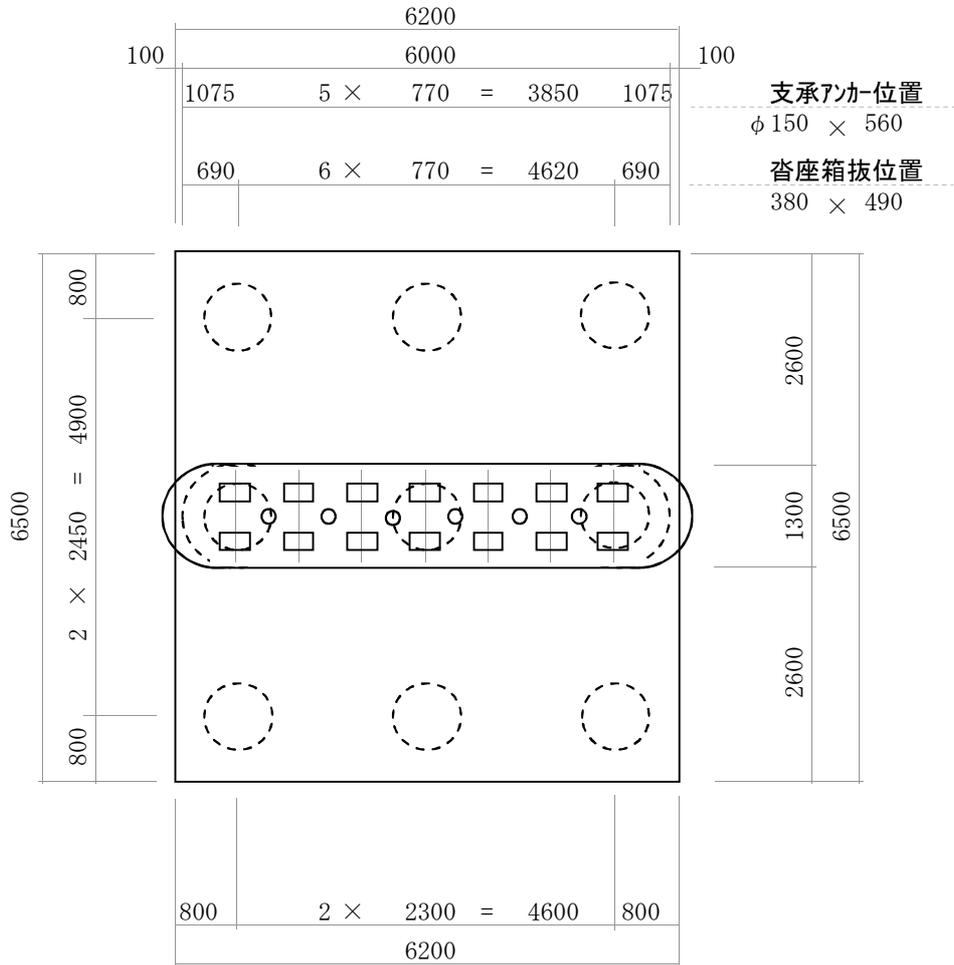
断面図



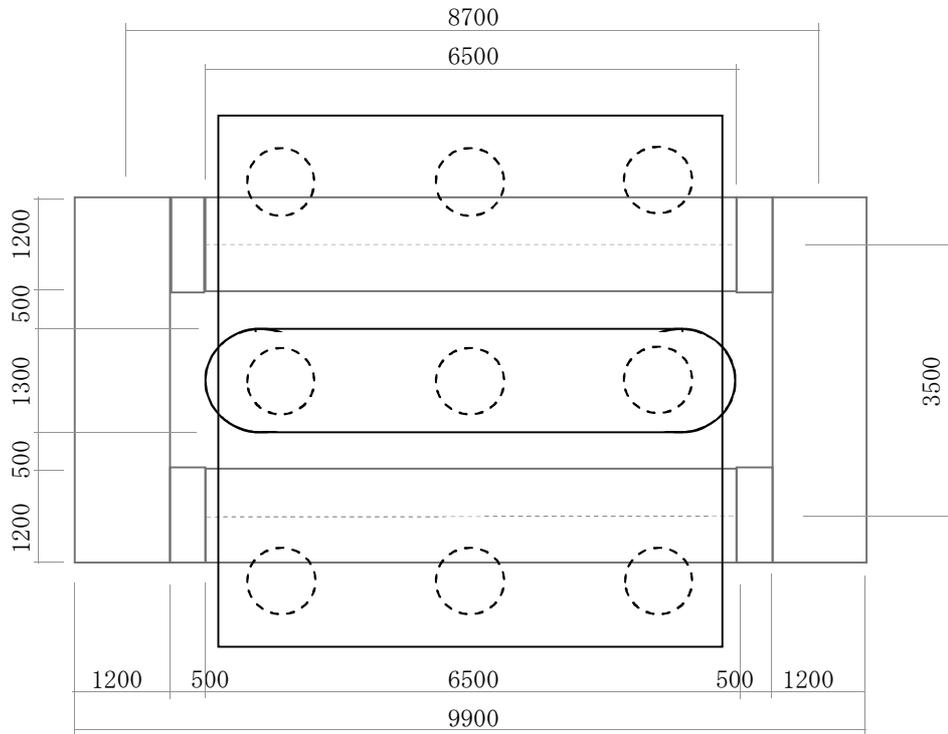
正 面 图



平面图

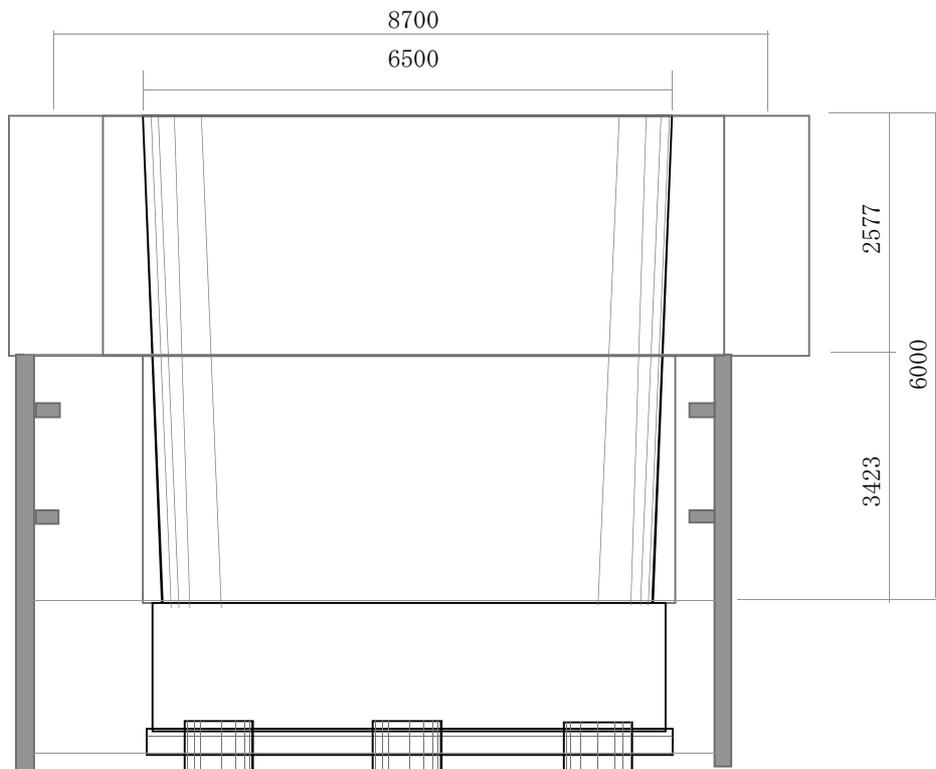


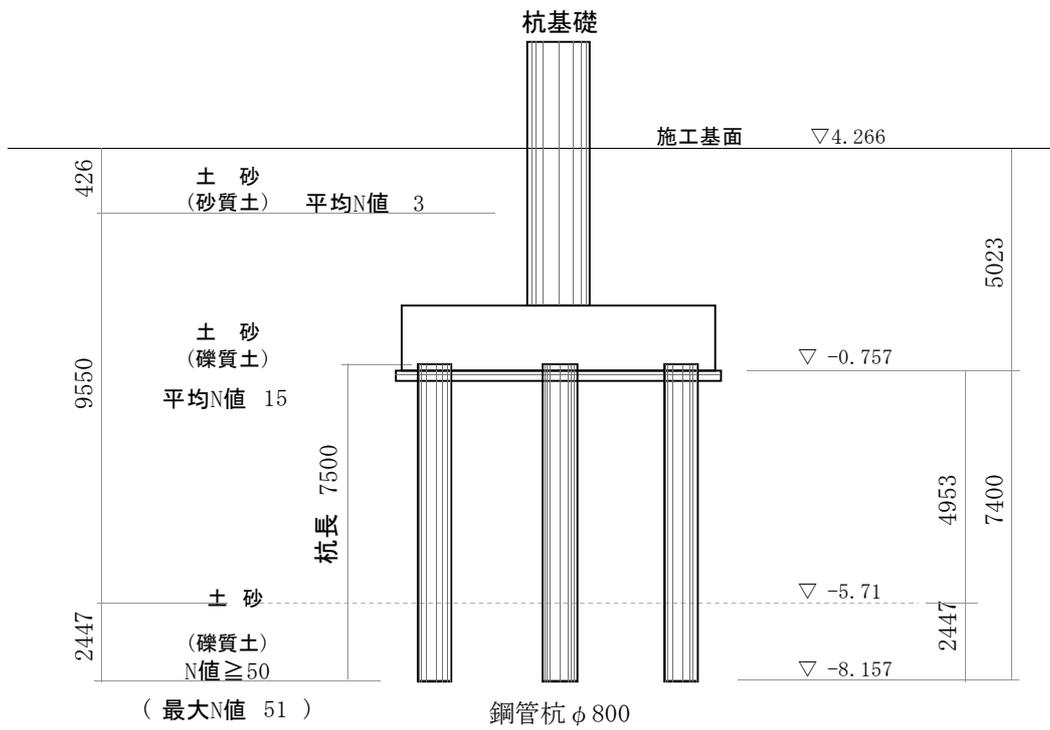
【参考図】 足場工平面図



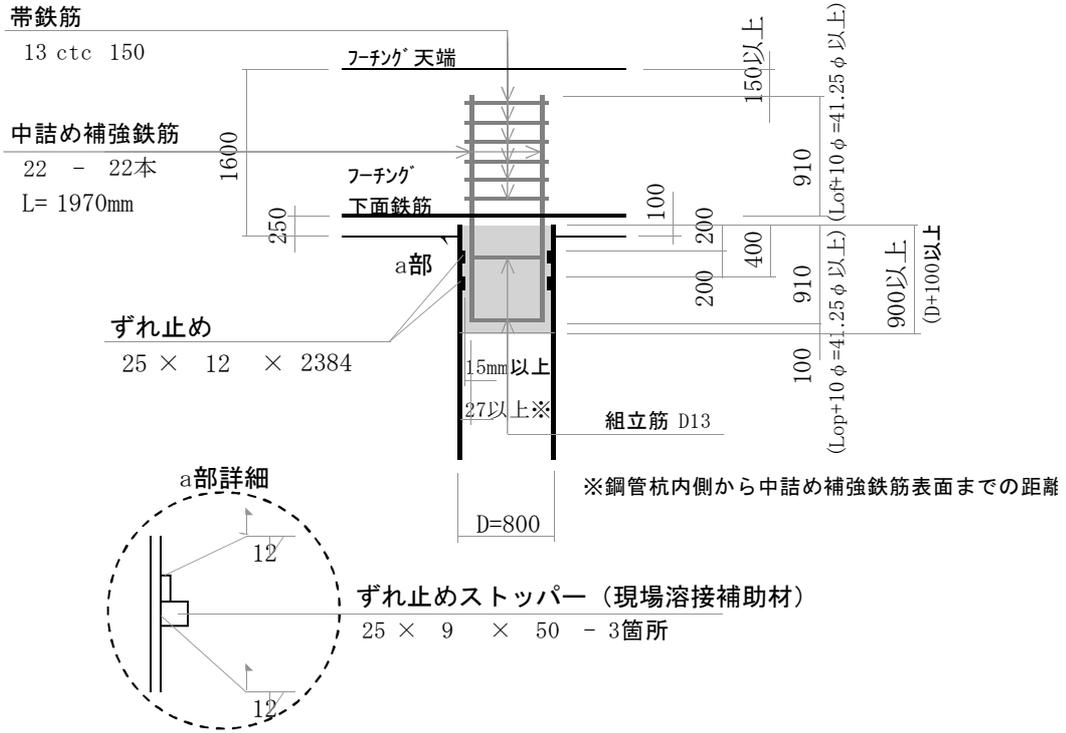
下段枠組足場設置高 H= 3.423 m 、 上段枠組足場設置高 H= 2.577 m
下段枠組足場の延長 L= 13.00 m 、 上段枠組足場の延長 L= 24.40 m

【参考図】 足場工正面図



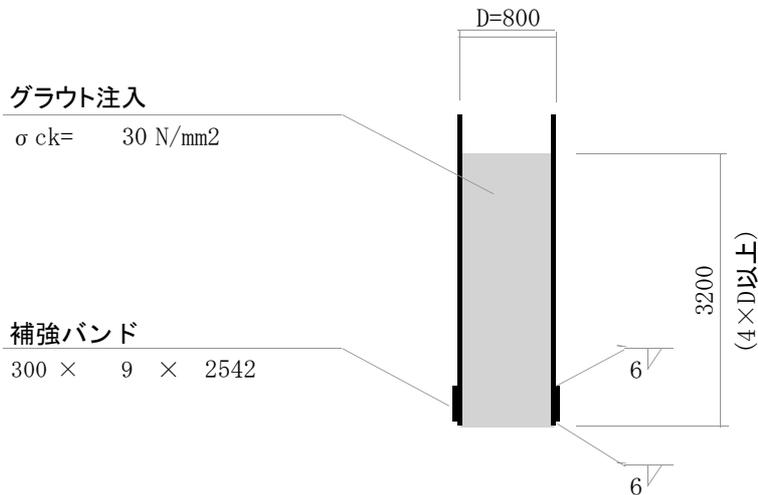


杭頭の詳細



杭先端の詳細

グラウト注入方式



3) P1橋脚数量計算

a) コンクリート ($\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$)

柱

柱断面

$$a1 = \pi/4 \times 1.300^2 = 1.327 \text{ m}^2$$

$$a2 = 5.200 \times 1.300 = 6.760 \text{ m}^2$$

$$\Sigma a1 = 8.087 \text{ m}^2$$

$$a1 = \pi/4 \times 1.300^2 = 1.327 \text{ m}^2$$

$$a2 = 4.700 \times 1.300 = 6.110 \text{ m}^2$$

$$\Sigma a1 = 7.437 \text{ m}^2$$

$$V1 = 1/2 \times (8.087 + 7.437) \times 5.987 = 46.47 \text{ m}^3$$

$$V2 = 1/2 \times 1.300 \times 0.013 \times 5.200 = 0.04 \text{ m}^3$$

$$V3 = 1/2 \times 1.300^2 \times \pi/4 \times 0.013 = 0.01 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 46.52 \text{ m}^3$$

底版 (フーチング)

$$V2 = 1.600 \times 6.500 \times 6.200 = 64.48 \text{ m}^3$$

コンクリート合計

$$\Sigma V = 46.52 + 64.48 = \underline{\underline{111.00 \text{ m}^3}}$$

【参考値】b) 型 枠

柱

前面(直線部)

$$A5 = 1/2 \times (5.200 + 4.700) \times 5.987 = 29.636 \text{ m}^2$$

背面(直線部)

$$A6 = 1/2 \times (5.200 + 4.700) \times 5.987 = 29.636 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A2 = 59.27 \text{ m}^2$$

底版 (フーチング)

前面

$$A7 = 1.600 \times 6.200 = 9.92 \text{ m}^2$$

背面

$$A8 = 1.600 \times 6.200 = 9.92 \text{ m}^2$$

左側面

$$A9 = 1.600 \times 6.500 = 10.40 \text{ m}^2$$

右側面

$$A10 = 1.600 \times 6.500 = 10.40 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A3 = 40.64 \text{ m}^2$$

型枠合計

$$\Sigma A = 59.27 + 40.64 = \underline{\underline{99.91 \text{ m}^3}}$$

【参考値】c) 型 枠(円形)

左側面

$$A11 = \pi \times 1.300 \div 2 \times 5.987 = 12.226 \text{ m}^2$$

$$A12 = \pi \times 1.300 \div 2 \times 0.013 \div 2 = 0.013 \text{ m}^2$$

右側面

$$A13 = \pi \times 1.300 \div 2 \times 5.987 = 12.226 \text{ m}^2$$

$$A14 = \pi \times 1.300 \div 2 \times 0.013 \div 2 = 0.013 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A1 = \underline{\underline{24.478 \text{ m}^2}}$$

【参考値】d) 均しコンクリート ($\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$)

$$A = 6.700 \times 6.400 = 42.880 \text{ m}^2$$

$$V = 42.88 \times 0.100 = \underline{\underline{4.29 \text{ m}^3}}$$

【参考値】e) 均しコンクリート型枠

前面延長

$$L1 = 6.400 = 6.400 \text{ m}$$

背面延長

$$L2 = 6.400 = 6.400 \text{ m}$$

左側面延長

$$L3 = 6.700 = 6.700 \text{ m}$$

右側面延長

$$L4 = 6.700 = 6.700 \text{ m}$$

$$\Sigma L = 26.200 \text{ m}$$

$$A = 26.200 \times 0.100 = \underline{\underline{2.62 \text{ m}^2}}$$

【参考値】f) 基礎碎石 (RC-40)

$$A = (\text{均しコンクリートの平面積と同じ}) = \underline{\underline{42.880 \text{ m}^2}}$$

$$(V = 42.88 \times 0.200 = 8.58 \text{ m}^3)$$

g) 鉄筋 (SD345)

$$D16 \sim D25 \quad 5594 \text{ kg}$$

$$D29 \sim D32 \quad 4942 \text{ kg}$$

$$D35 \sim D51 \quad 2078 \text{ kg}$$

$$\text{合 計} \quad \underline{\underline{12614 \text{ kg}}}$$

h) 円筒型枠

$$\phi 150 \text{ 、 } L2 = 0.560 \times 6 = \underline{\underline{3.36 \text{ m}}}$$

【参考値】i) 沓座箱抜型枠

$$A = (0.380 + 0.490) \times 2 \times 0.030 \times 14 = 0.73 \text{ m}^2$$

【参考値】j) 足場工 (枠組足場)

$$\text{下段 設置延長 } L = 13.000 \text{ m, 設置高 } H = 3.423 \text{ m}$$

$$\text{上段 設置延長 } L = 24.400 \text{ m, 設置高 } H = 2.577 \text{ m}$$

$$A1 = 13.000 \times 3.423 = 44.5 \text{ 掛m}^2$$

$$A2 = 24.400 \times 2.577 = 62.9 \text{ 掛m}^2$$

$$\Sigma A = 107.4 \text{ 掛m}^2$$

k) 水替工

- ・ 水替数量 (水換水位【施工時水位】 $\frac{3.158 \text{ m}}{\text{上流側河床高}} + \frac{0.200 \text{ m}}{\text{施工時水位}} = 3.358 \text{ m}$)

コンクリート

柱

$$V1 = 8.087 \times (3.358 - 0.843) = 20.3 \text{ m}^3$$

底版

$$V2 = 6.500 \times 6.200 \times 1.600 = 64.5 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 84.8 \text{ m}^3$$

型 枠

柱

$$A1 = \pi \times 1.300 \times (3.358 - 0.843) = 10.3 \text{ m}^2$$

$$A2 = 5.200 \times 2 \times (3.358 - 0.843) = 26.2 \text{ m}^2$$

底版

$$A3 = \Sigma A3 = 40.6 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 77.1 \text{ m}^2$$

均しコンクリート

$$V = 4.29 = 4.3 \text{ m}^3$$

均しコンクリート型枠

$$A = 2.62 = 2.6 \text{ m}^2$$

- ・ 水替日数

工 種	単位	水替対象数量		水替日数(日)
		A	標準作業量(/日) B	
コンクリート	m3	84.8	40	2.120
型 枠	m2	77.1	15	5.140
均しコンクリート	m3	4.3	16	0.269
同上型枠	m2	2.6	10	0.260
鉄 筋	t	5.97	1.2	4.972
合 計				12.761
				13日

4) P1橋脚基礎数量計算

杭種： 中堀鋼管杭(グラウト注入方式)
 杭径： $\phi = 0.800 \text{ m}$
 杭長： $L = 7.500 \text{ m}$
 杭本数： $N = 9 \text{ 本}$

a) 鋼材取卸

項目	材質	寸法			単位重量 (kg/m又はkg/個)	数量 (本又は個)	重量 (kg)
		幅(mm)	厚(mm)	長(mm)			
鋼管 $\phi 800$	SKK400		9	7500	176	9	11880
杭頭ずれ止め	SS400	25	12	2384	5.61	18	101
杭頭ずれ止めストップ	SS400	25	9	50	0.09	54	5
杭先端補強バンド	SS400	300	9	2542	53.88	9	485
合 計							12471

b) 溶接

【参考値】工場隅肉溶接(6mm換算)

$$\text{補強バンド } L1 = 2.513 \text{ m} \times 2 \text{ 段} \times 9 \text{ 本} \times \text{換算率} = 45.23 \text{ m}$$

$$\Sigma L = 45.23 \text{ m}$$

現場隅肉溶接 (6mm換算)

ずれ止め m

$$\text{ストップ } L1 = 2.513 \text{ m} \times 2 \text{ 段} \times 9 \text{ 本} = 45.23 \text{ m}$$

$$\Sigma L = 45.23 \text{ m}$$

c) 杭頭コンクリート ($\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$)

$$V = \pi/4 \times 0.782^2 \times 1.010 \times 9 \text{ 本} = \underline{\underline{4.37 \text{ m}^3}}$$

d) 杭頭鉄筋 (SD345)

$$D13 \quad 31 \text{ kg} \times 9 \text{ 本} = 279 \text{ kg}$$

$$D16 \sim D25 \quad 132 \text{ kg} \times 9 \text{ 本} = 1188 \text{ kg}$$

$$\text{合 計} \quad 163 \text{ kg} \quad \Sigma = \underline{\underline{1467 \text{ kg}}}$$

【参考値】 e) グラウト注入 (σ_{ck} = 30 N/mm² 呼び強度)

$$V = 0.782^2 \times \pi \div 4 \times 3.200 \times 9 \text{ 本} = 13.83 \text{ m}^3$$

【参考値】 f) 土質別掘削長

砂質土 (N値 < 20)

$$L = 0.426 \times 9 \text{ 本} = 3.83 \text{ m}$$

礫質土 (N値 < 20)

$$L = 9.55 \times 9 \text{ 本} = 85.95 \text{ m}$$

礫質土 (N値 ≥ 40)

$$L = 2.447 \times 9 \text{ 本} = 22.02 \text{ m}$$

荷重平均N値

土層No.	1	2	3	合計	加重平均N値
土質	(砂質土)	(礫質土)	(礫質土)	—	21.68
N値	3	15	51	—	
層厚(L)	0.426	9.550	2.447	12.423	
N×L	1.3	143.3	124.8	269.3	

g) 杭土工

砂質土

$$V = \pi/4 \times 0.800^2 \times 3.83 \times 9 \text{ 本} = 17.33 \text{ m}^3$$

礫質土

$$V = \pi/4 \times 0.800^2 \times 107.97 \times 9 \text{ 本} = 488.44 \text{ m}^3$$

埋戻(杭)

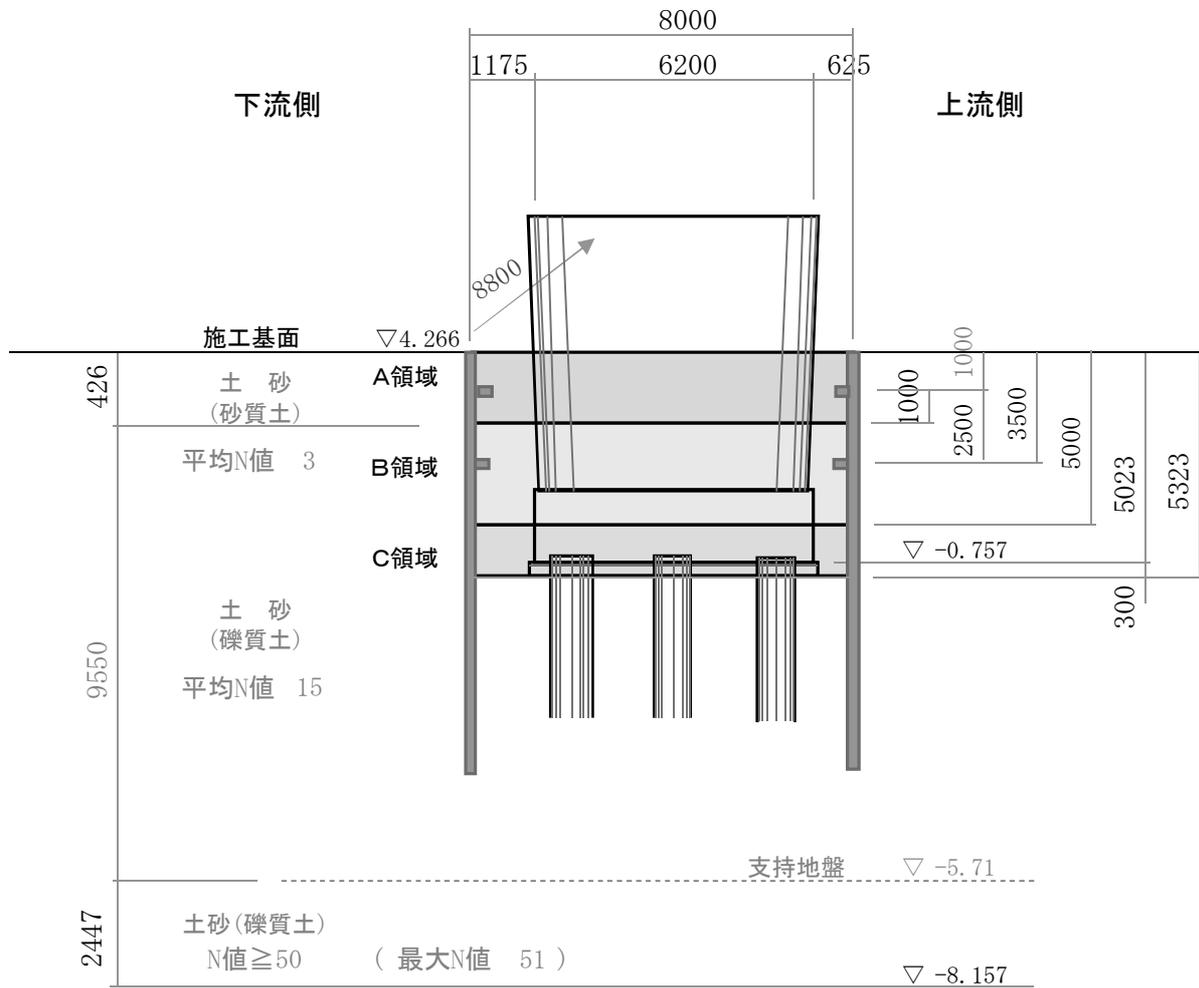
$$V = \pi/4 \times 0.782^2 \times \frac{3.290}{L=7.500-1.010 \text{ (杭頭部コンクリート打設長)} - 3.200 \text{ (杭内の杭先端コンクリート打設長)}} \times 9 \text{ 本} = 14.22 \text{ m}^3$$

残土

$$V = 17.33 + 488.44 - 14.22 \div 1.2 = \underline{\underline{493.92 \text{ m}^3}}$$

5) P1橋脚土工数量計算

a) 土工根拠図



・ 土留掘削

A領域 (土砂)

$$V = 8.000 \times 8.800 \times 2.000 = 140.8 \text{ m}^3$$

B領域 (土砂)

$$V = 8.000 \times 8.800 \times 3.000 = 211.2 \text{ m}^3$$

C領域 (土砂)

$$V = 8.000 \times 8.800 \times 0.323 = 22.7 \text{ m}^3$$

・ 埋戻 (C)

$$V = 140.8 + 211.2 + 22.7 - \frac{8.58}{\text{基礎碎石}} - \frac{4.29}{\text{均しコンクリート}} - \frac{64.48}{\text{底版}} - \frac{26.57}{\text{柱}} = 270.8 \text{ m}^3$$

・ 残土

$$V = 140.8 + 211.2 + 22.7 - 270.8 \div 0.9 = 73.8 \text{ m}^3$$

3. 仮設工数量計算書

3-1 数量総括表

工種	規格・寸法	単位	数量			設計計上	摘要	
			A1	P1	合計			
仮締切工	鋼矢板・切梁腹起し	Ⅲ型, L= 9.5m	枚	90	-	90	90	
		Ⅲ型, L= 11.0m	枚	-	84	84	84	
			枚	-	-	-	-	
		矢板重量	t	51.30	55.44	106.74	106.7	
		主部材	t	5.75	8.44	14.19	14.2	
		副部材(A)	t	1.27	1.86	3.13	-	率計上
		副部材(B)	t	0.23	0.34	0.57	-	率計上
		山留材 合計	t	7.25	10.64	17.89	17.9	
		運搬	t	58.32	65.74	124.06	124.1	
	圧入・引抜	加重平均 13.06	m	765	-	765	765	
		加重平均 25.22	m	-	840	840	840	
		加重平均 24.31	m	-	-	-	-	
		加重平均 14.66	m	-	-	-	-	
	仮排水工	大型土のう	製作・設置(A1)	袋	234	-	234	234
設置(P1)			袋	-	228	228	228	流用
撤去(A1・P1)			袋	6	228	234	234	
高密度ポリエチレン管		φ700×15.00m×2本	m	-	-	-	-	
ヤード	盛土	購入土(処理土)	m3	1,119.2	-	1,119.2	1,100	盛土分
		購入土(運搬)	m3	1,127.7		1,127.7	1,100	盛土・土のう
		障害無し(A1施工時)	m3	841.5				購入土
		障害無し(P1施工時)	m3	-	437.2	1,278.7	1,300	流用
			m3	-	-	-	-	
	掘削	押土有り(P1施工時)	m3	841.5	-	841.5	840	
		押土無し(P1施工時)	m3	-	804.6			
		押土無し(撤去時)	m3	-	437.2	1,241.8	1,200	
	処理工	残土(積込)	m3	1,160.3	437.2	1,597.5	1,600	
		残土(運搬・処分)	m3	1,165.3	627.2	1,792.5	1,800	
廃プラ(運搬・積込)		t	0.018	0.684	0.702	0.7	3.0kg/袋	
廃プラ(処分)		kg	18.0	684.0	702	700		

土量配分表

単位:m3

(整数表示は、単位:袋)

ヤード造成(A1施工時) (ほぐし)

工種	土質		不足土	残土
購入土	処理土		1119.2	
購入土	処理土		234.0	

$$841.5 \times 1.33 = 1119.2$$

工種	
盛土	841.5
土のう製作設置	234

$$1119.2 / 1.2 = 932.7$$

$$234.0 / 1.2 = 195.0$$

合計

購入土(地山)	
運搬	
	932.7
	195.0
合計	1127.7

ヤード造成(P1施工時) (地山)

工種	土質	発生土	流用土	残土
掘削	砂質土	841.5	485.8	355.7
土のう撤去	砂質土	6		5.0
掘削	礫質土	804.6		804.6

$$485.8 \times 0.9 = 437.2$$

$$234 - 6 = 228$$

工種	
盛土	437.2
土のう設置	228

$$841.5 - 485.8 = 355.7$$

$$6.0 / 1.2 = 5.0$$

$$804.6 - 0.0 = 804.6$$

小計

残土処理(地山)	
運搬・処分	積込
355.7	355.7
5.0	
804.6	804.6
小計	1165.3
	1160.3

ヤード撤去 (地山)

工種	土質	発生土	流用土	残土
掘削	砂質土	437.2		437.2
土のう撤去	砂質土	228		190.0

$$437.2 - 0.0 = 437.2$$

$$228.0 / 1.2 = 190.0$$

小計

合計

工種	
盛土	
土のう設置	

残土処理(地山)	
運搬・処分	積込
437.2	437.2
190.0	
小計	627.2
合計	1792.5
	1597.5

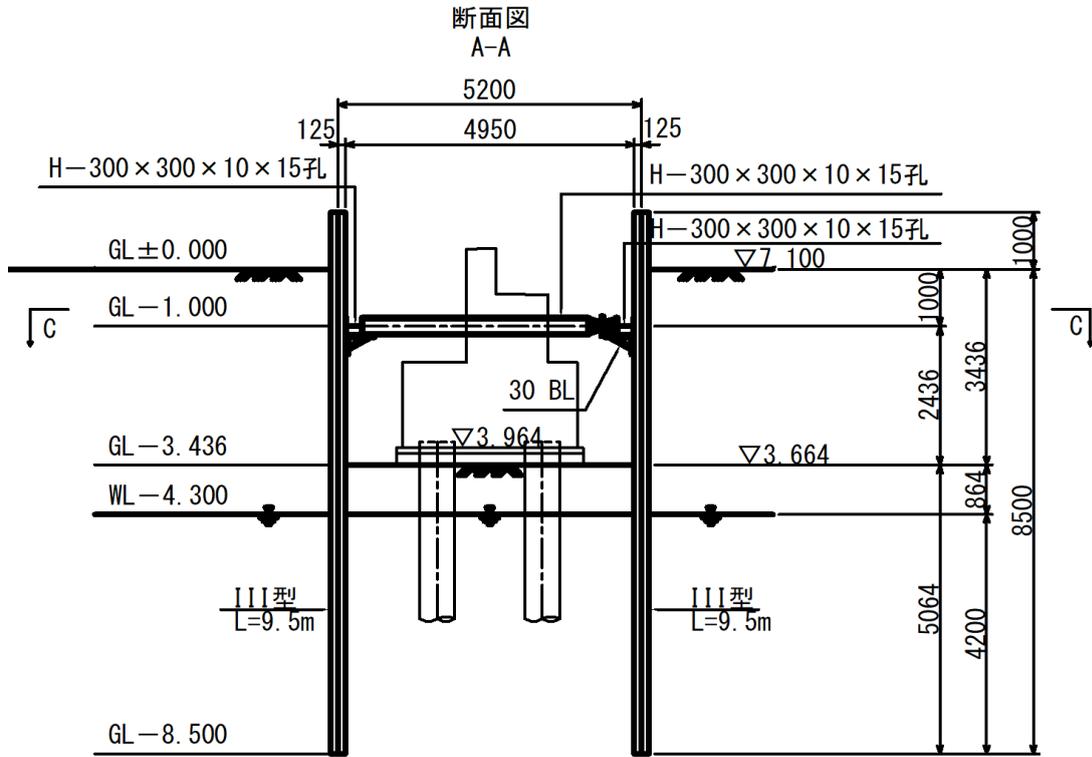
土量変化率	変化率L	変化率C	L/C
礫質土	1.20	0.90	1.33
砂質土	1.20	0.90	1.33

A1
盛土→
A1
土のう→

P1
盛土→
P1
土のう→

3-2 A1橋台仮設土留工数量計算書

1) 鋼矢板締切工数量算出根拠図



2) 鋼矢板締切工 (切梁式 : A1橋台)

$$\text{締切延長 } L = (12.800 + 5.200) \times 2 = 36.00 \text{ m}$$

鋼矢板枚数 (Ⅲ型, L=9.500m)

$$N = 36.00 \div 0.400 = 90 \text{ 枚}$$

鋼矢板重量

$$W = 9.500 \times 60.0 \times 90 = 51300 \text{ kg}$$

(51.30 t)

供用日数 : 50 日

山留材

部材	寸法 (mm)	長さ (m)	単位質量 (kg/m)	1本当り重量 (kg/本)	本数 (箇所)	重量 (kg)	備考
腹起し	H- 350×350×12×19孔	4.900	150	735.0	2	1470	主部材
腹起し 継ぎ手	H- 350×350×12×19孔	11.800	150	1770.0	2 2	3540	主部材
切梁	H- 300×300×10×15孔	3.700	100	370.0	2	740	主部材
主部材						5750	合計
副部材	(A) 主部材×0.22					1265	
副部材	(B) 主部材×0.04					230	

供用日数 : 31 日

3) 圧入長及び引抜長

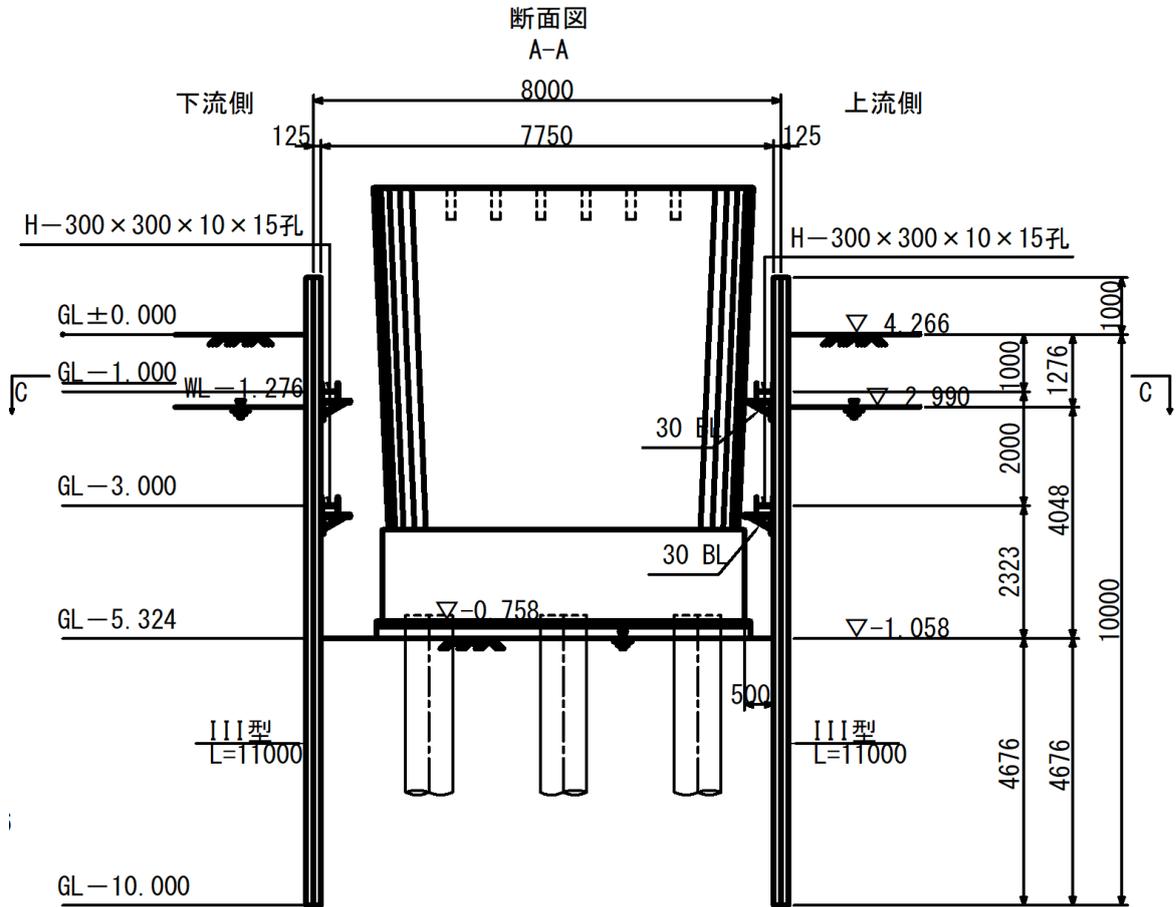
地層	層厚 D(m)	最大N値 Nmax	D×Nmax
砂質土	2.000	3.0	6.00
砂質土	1.750	3.0	5.25
砂質土	4.750	21.0	99.75
合計	8.500	-	111.00

$$\text{圧入・引抜長 } L = 8.500 \text{ m} \times 90 \text{ 枚} = 765.0 \text{ m}$$

$$\text{加重平均N値} = \Sigma D \times N_{\text{max}} / \Sigma D = 111.00 \div 8.500 = 13.06$$

3-3 P1橋脚仮設土留工数量計算書

1) 鋼矢板締切工数量算出根拠図



2) 鋼矢板締切工 (切梁式 : P1橋脚)

橋台部

$$\text{締切延長 } L = (8.000 + 8.800) \times 2 = 33.60 \text{ m}$$

鋼矢板枚数 (Ⅲ型, L=11.000m)

$$N = 33.60 \div 0.400 = 84 \text{ 枚}$$

鋼矢板重量

$$W = 11.000 \times 60.0 \times 84 = 55440 \text{ kg}$$

$$(55.44 \text{ t})$$

供用日数 : 74 日

山留材

部材	寸法 (mm)	長さ (m)	単位質量 (kg/m)	1本当り重量 (kg/本)	本数 (本)	重量 (kg)	備考
腹起し	H- 300×300×10×15孔	7.700	100	770.0	4	3080	主部材
腹起し	H- 300×300×10×15孔	7.900	100	790.0	4	3160	主部材
火打ち	H- 300×300×10×15孔	2.750	100	275.0	8	2200	主部材
主部材						8440	合計
副部材	(A) 主部材×0.22					1857	
副部材	(B) 主部材×0.04					338	

供用日数 : 59 日

3) 圧入長及び引抜長

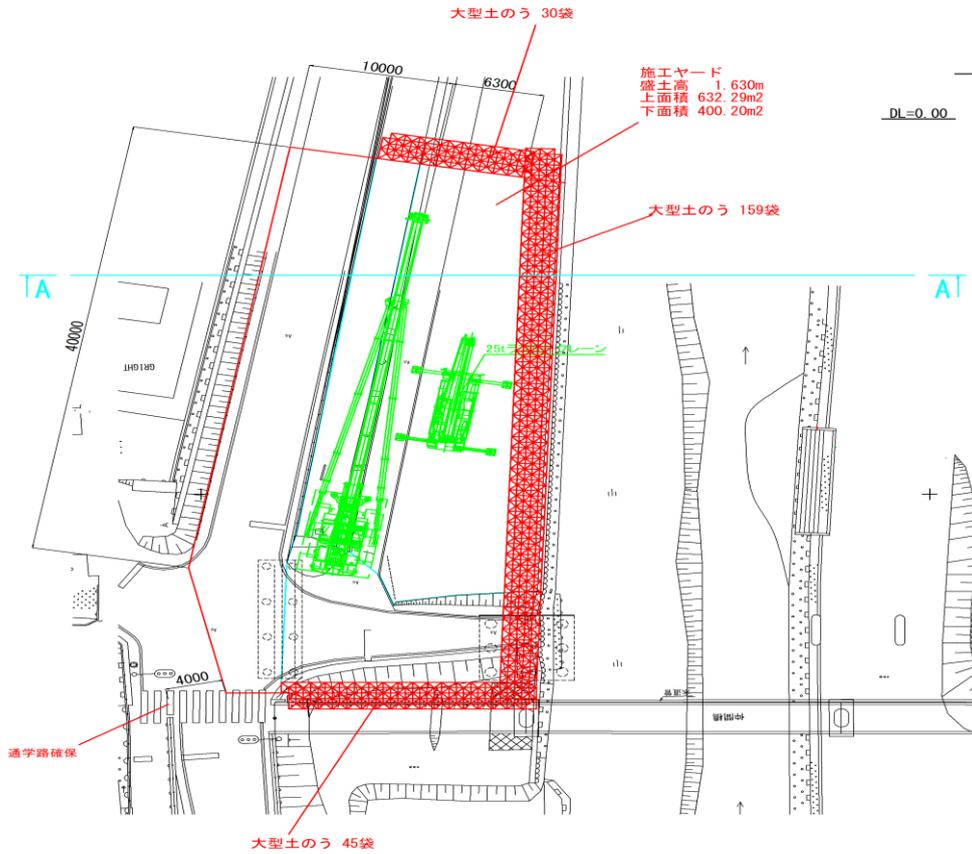
地層	層厚 D(m)	最大N値 Nmax	D×Nmax
砂質土	0.426	6	2.556
砂質土	5.250	17	89.25
砂質土	2.750	32	88
砂質土	1.574	46	72.404
合計	10.000	-	252.21

$$\text{圧入・引抜長 } L = 10.000 \text{ m} \times 84 \text{ 枚} = 840.0 \text{ m}$$

$$\text{加重平均N値} = \Sigma D \times N_{\text{max}} / \Sigma D = 252.21 \div 10.000 = 25.22$$

3-6 仮設盛土工数量計算書

A1橋台施工時 【第1期施工】



盛土

施工ヤード

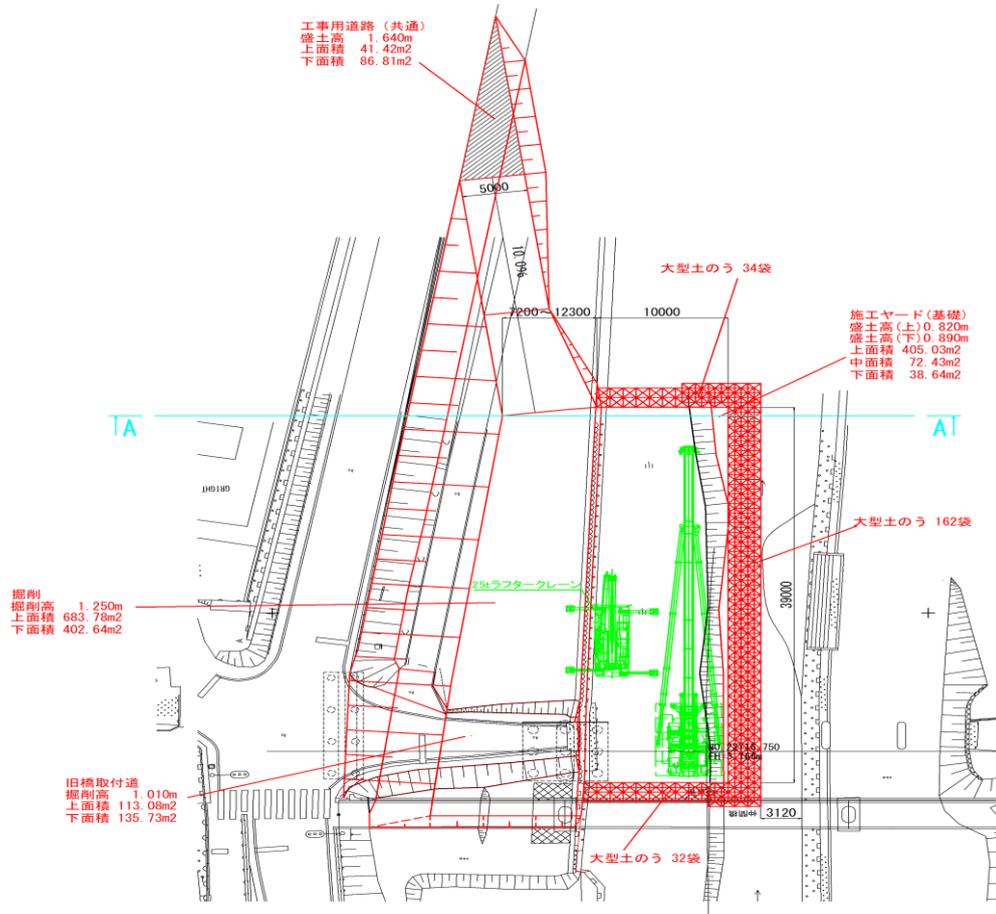
$$V = 1/2 \times (632.29 + 400.2) \times 1.630 = 841.5 \text{ m}^3$$

$$= 841.5 \text{ m}^3$$

大型土のう

$$N = 30 \text{ 袋} + 159 \text{ 袋} + 45 \text{ 袋} = 234 \text{ 袋}$$

P1橋脚施工時 【第2期施工】



盛土

工事用道路①

$$V1 = 1/2 \times (41.42 + 86.81) \times 1.640 = 105.1 \text{ m}^3$$

河川内盛土

$$V2 = 1/2 \times (405.03 + 405.03) \times 0.820 = 332.1 \text{ m}^3$$

$$V3 = 1/2 \times (72.43 + 38.64) \times 0.890 = 49.4 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 437.2 \text{ m}^3$$

掘削

緑地(公園)

$$V3 = 1/2 \times (683.78 + 402.64) \times 1.250 = 679 \text{ m}^3$$

旧橋取付道路

$$V4 = 1/2 \times (113.08 + 135.73) \times 1.010 = 125.6 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 804.6 \text{ m}^3$$

大型土のう

$$N = 34 \text{ 袋} + 162 \text{ 袋} + 32 \text{ 袋} = 228 \text{ 袋}$$

4. 護岸工数量計算書

4-1 護岸工数量総括表

工種	種 別	規 格・寸 法	単 位	数 量						設計計上 数 値	備 考
				左岸側			合 計				
				第2期	第3期	第4期	第2期	第3期	第4期		
護岸工	ブロック積面積	控え35cm	m ²	58.1			58.1			58	
	裏込碎石	RC-40	m ³	17.5			17.5			18	
	基礎工	1号	m	17.2			17.2				
		コンクリート	m ³	2.9			2.9			3	
		均しコンクリート	m ³	1.2			1.2			1	
		均し型枠	m ²	3.4			3.4			3	
	天端コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m								
	護岸法肩工		m	17.2			17.2				
		巻止コンクリート	m ³	5.2			5.2			5	
		天端コンクリート	m ³	0.8			0.8			0.8	
		平張コンクリート	m ³	3.1			3.1			3	
		基礎碎石	m ²	15.0			15.0			15	
		目地材	m ²	7.4			7.4			7	
	練石積		m ²								
	裏込碎石	RC-40	m ³								
	基礎工	3号	m								
作業土工	床掘	m ³	70.5			70.5			70		
	埋戻C	m ³	44.2			44.2			40	ルーズ	
	残土	m ³	33.7			33.7			30		

工事用道路工数量総括表

工種	種 別	規 格・寸 法	単 位	数 量						設計計上 数 値	備 考
				左岸側			合 計				
				第2期	第3期	第4期	第2期	第3期	第4期		
交通管理工	上層路盤	RM-30 100mm	m	28.0			28.0			28	
	表層	車道1.4~3.0m	m	28.0			28.0			28	
	区画線	水性 15cm	m	30.0			30.0			30	
	交通誘導警備員B		人	125.0			125.0			125	
	交通誘導警備員B	2交替 1の組	人	21.0			21.0			21	8時~20時
	交通誘導警備員B	2交替 2の組	人	21.0			21.0			21	20時~8時

土工流用図 (護岸工：施工年度別)

第1期工事

作業土工

床掘

0.0 m³

埋戻

0.0 m³

残土

0.0 m³

L=1.20

0.0

0

第2期施工

作業土工

床掘

70.5 m³

埋戻

44.2 m³

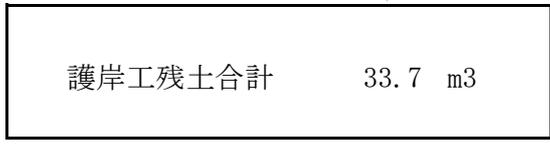
残土

33.7 m³

L=1.20 ルーズ

36.8

33.7

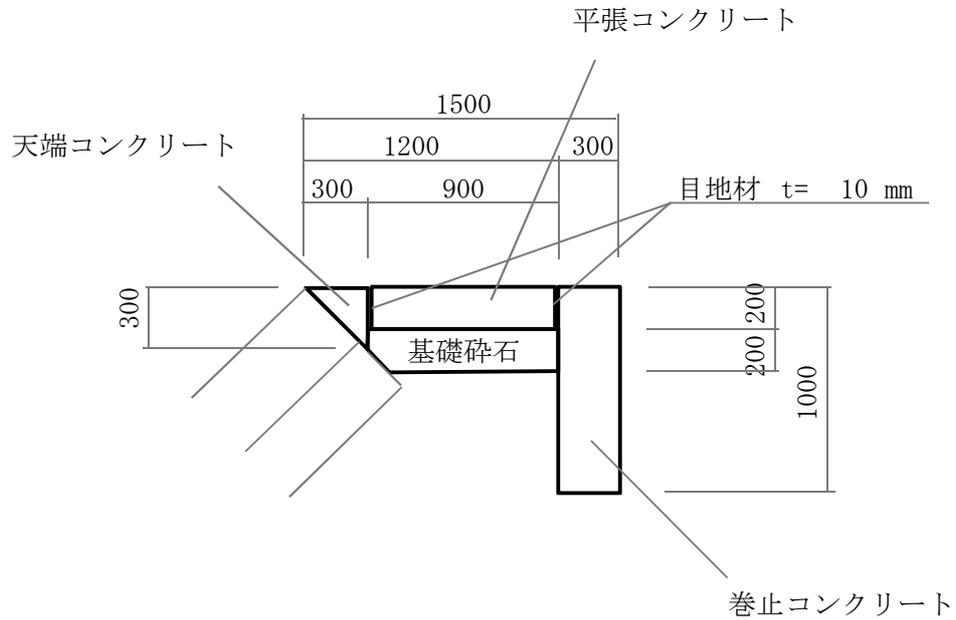


左岸側

計 第 5 表		護岸法肩工						計 算 書		
測 点	距離	巻止コンクリート			天端コンクリート				平均	立 積
			平均	立 積		平均	立 積			
低水護岸		0.30			0.045					
第2期工事	17.20	0.30	0.30	5.2	0.045	0.045	0.8			
小計										
第2期工事				5.2			0.8			0.0
合 計	17.20			5.2			0.8			0.0

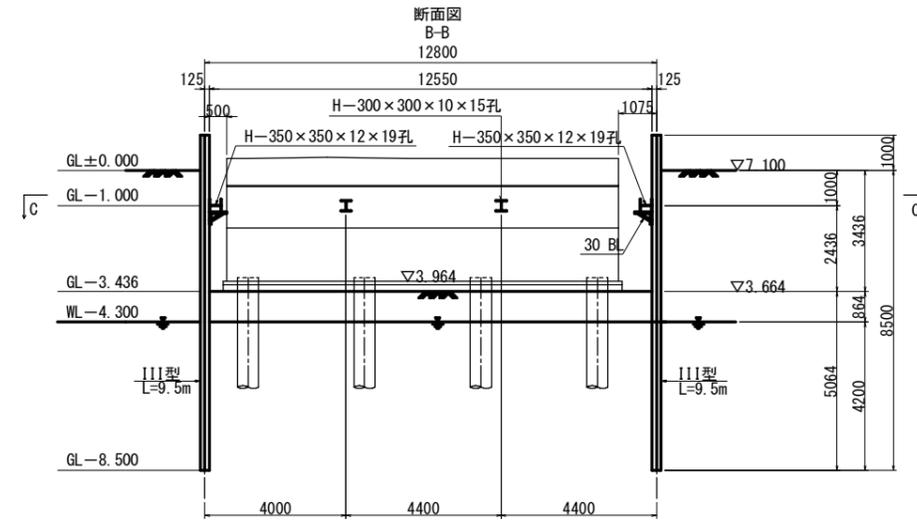
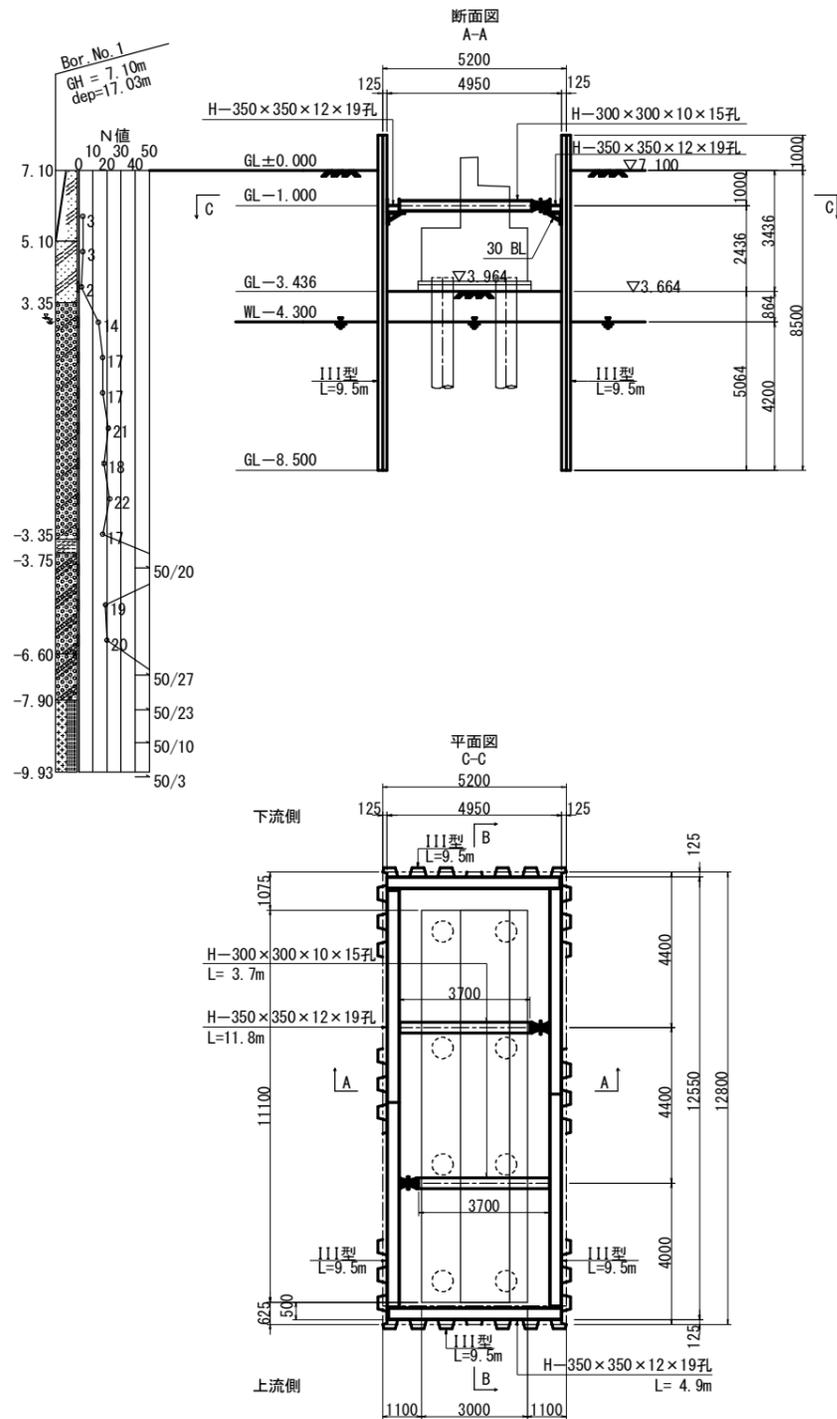
左岸側

計 第 6 表		護岸法肩工						計 算 書		
測 点	距離	平張コンクリート			基礎碎石			目地材		
			平均	立 積		平均	平 積		平均	平 積
低水護岸		0.18			0.87			0.40		
第 2 期工事	17.20	0.18	0.18	3.1	0.87	0.87	15.0	0.40	0.40	6.9
								0.18		
(横目地材)	3.0							0.18	0.18	0.5
	17.2/5.0≒3.0箇所									
小計				3.1			15.0			7.4
合 計	20.20			3.1			15.0			7.4



種別	規格・寸法	単位	算式	数量	摘要
(巻止コンクリート)					
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	$= 0.30 \times 1.00 \times 10.00$	3.00	
型枠		m ²	$= 1.00 \times 2 \times 10.00$	20.00	
(天端コンクリート)					
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	$= 0.30 \times 0.30 / 2 \times 10.00$	0.45	
型枠		m ²	$= 0.30 \times 10.00$	3.00	
(平張コンクリート)					
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	$= (0.90 - 0.02) \times 0.20 \times 10.00$	1.76	
基礎砕石	RC-40	m ²	$= 0.867 \times 10.00$	8.67	t=200mm
目地材	t=10mm	m ²	$= 0.20 \times 2 \times 10.00$	4.00	
横目地材	t=10mm	m ²	$= 0.20 \times 0.90$	0.18	1箇所/5.0m

【参考図】 A1橋台仮設土留工詳細図 S=1:100



主要部材数量表

部材名	寸法	単位	数量	単位質量	質量	備考
土留め壁(鋼矢板)	111型	m	855.000	60.0kg/m	51.300t	
鋼矢板合計						
支保工(腹起し)	H-350×350×12×19孔	m	33.400	150.0kg/m	5.010t	主部材
支保工(切ばり)	H-300×300×10×15孔	m	7.400	100.0kg/m	0.740t	主部材
主部材合計					5.750t	
副部材(A)	主部材合計×0.22				1.265t	
副部材(B)	主部材合計×0.04				0.230t	

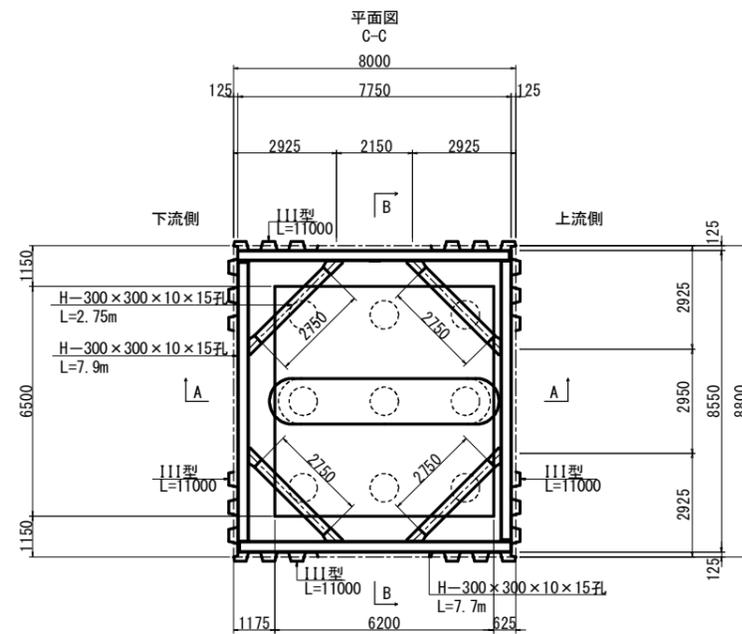
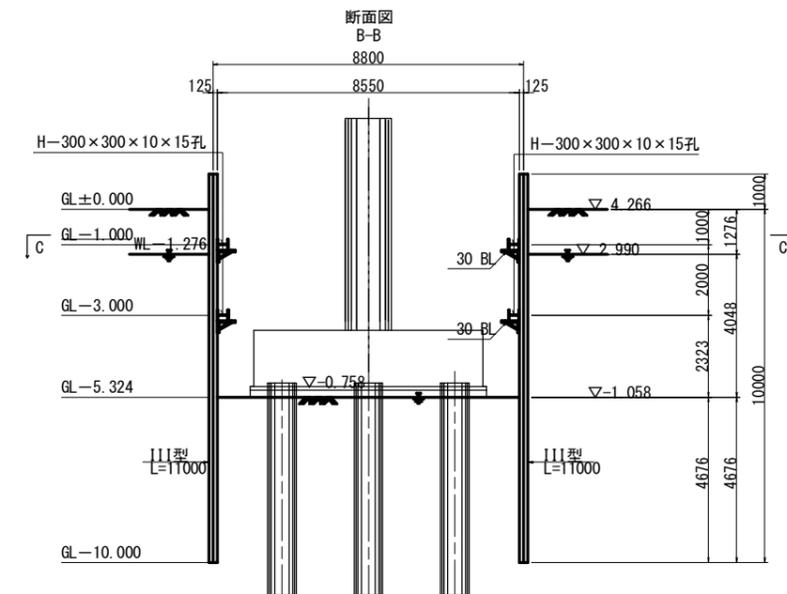
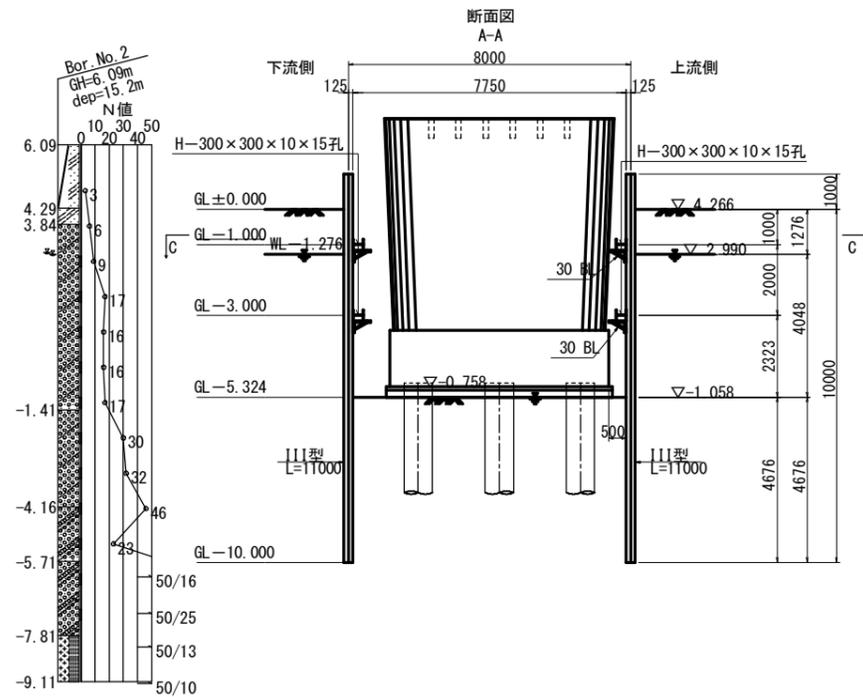
設計条件

対象構造物	橋台	
掘削面積	5.200m × 12.800m	
掘削深さ	-3.436m	
地下水位	WL-4.300m	
土圧	安定計算	ランキン
	断面計算	断面計算用土圧
水圧	三角形	
地表面上載荷重	10.00kN/m ²	
切ばりの温度軸力	150.0kN	

※本図面はA1をA3に縮小している(縮尺50%)※

工事名	橋梁災害復旧工事(今津20号線・仲間橋)(23-1)		
図面名	【参考図】 A1橋台仮設土留工詳細図		
作成年月日	2024年 1月		
縮尺	1:100	図面番号	1 / 8
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

【参考図】P1橋脚仮設土留工詳細図 S=1:100



主要部材数量表

部材名	寸法	単位	数量	単位質量	質量	備考
土留め壁(鋼矢板)	111型	m	924.000	60.0kg/m	55.440t	
鋼矢板合計						55.440t
支保工(腹起し)	H-300x300x10x15孔	m	62.400	100.0kg/m	6.240t	主部材
支保工(火打ち)	H-300x300x10x15孔	m	22.000	100.0kg/m	2.200t	主部材
主部材合計						8.440t
副部材(A)	主部材合計×0.22					1.857t
副部材(B)	主部材合計×0.04					0.338t

設計条件

対象構造物	橋脚	
掘削面積	8.000m × 8.800m	
掘削深さ	-5.323m	
地下水位	WL -0.850m	
土圧	安定計算	ランキン
	断面計算	断面計算用土圧
水圧	三角形	
地表面上載荷重	10.00kN/m2	

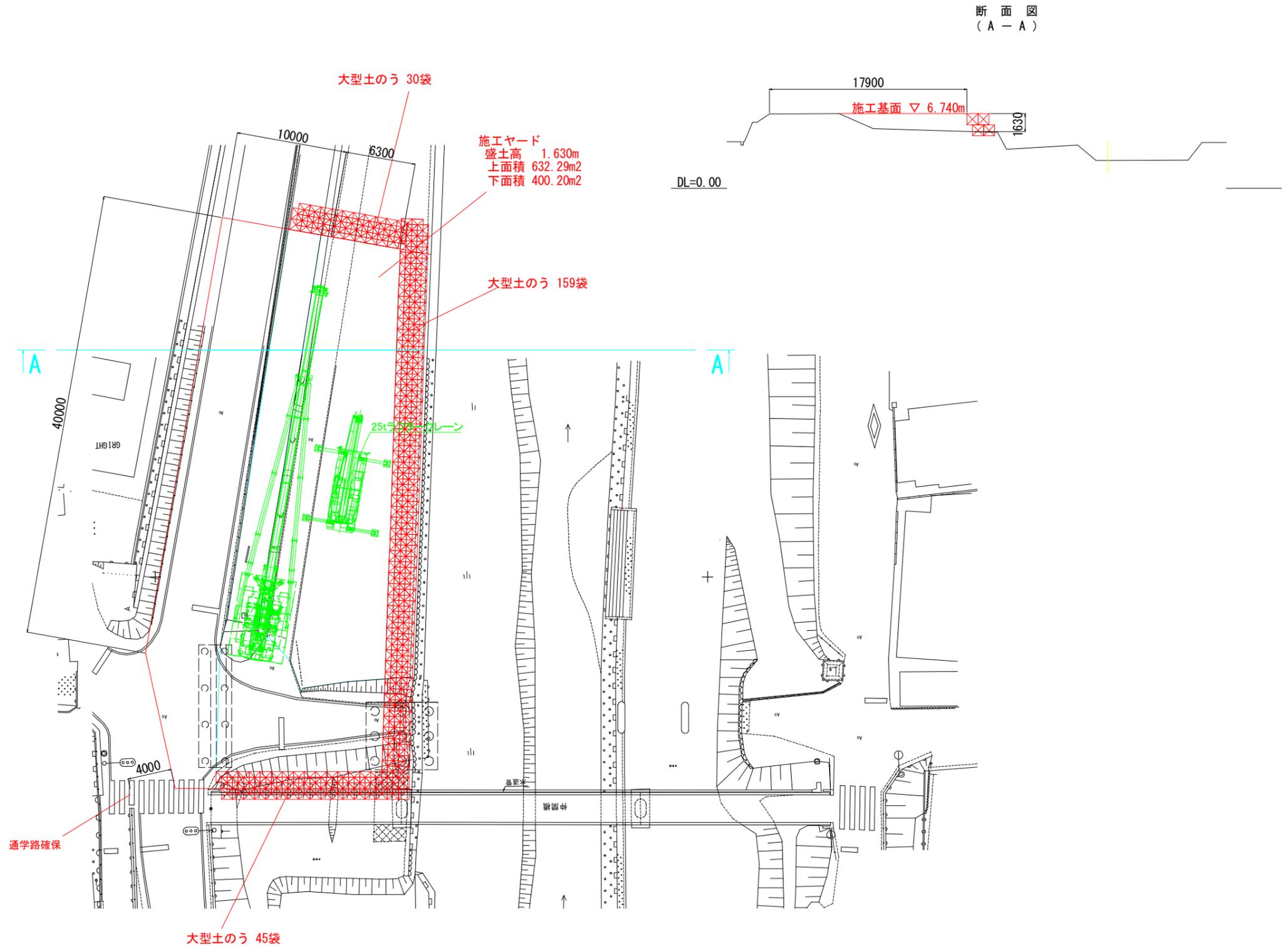
※本図面はA1をA3に縮小している(縮尺50%)※

工事名	橋梁災害復旧工事(今津20号線・仲間橋)(23-1)		
図面名	【参考図】P1橋脚仮設土留工詳細図		
作成年月日	2024年1月		
縮尺	1:100	図面番号	2 / 8
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

ステップ(1) 第1期工事

※施工基面フラット

【参考図】基礎工計画図(左岸側)その1 S=1:200



※本図面はA1をA3に縮小している(縮尺50%)※

工事名	橋梁災害復旧工事(今津20号線・仲間橋)(23-1)		
図面名	【参考図】基礎工計画図(左岸側)その1		
作成年月	2024年 1月		
縮尺	1:200	図面番号	3 / 8
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

ステップ② 第1期工事

【参考図】基礎工計画図(左岸側)その2 S=1:200

※施工基面フラット

25t吊ラフテレーンクレーン定格総荷重

作業半径 (m)	ブーム長		
	L= 16.5 m	L= 23.5 m	L= 30.5 m
9.0	8.5 t	8.2 t	8.2 t
10.0	7.05 t	7.4 t	7.4 t
11.0	5.85 t	6.4 t	6.4 t
12.0	4.95 t	5.5 t	5.5 t
13.0	4.2 t	4.75 t	4.75 t
14.0	3.6 t	4.1 t	4.15 t
15.0		3.6 t	3.8 t
16.0		3.15 t	3.45 t
17.0		2.8 t	3.05 t
18.0		2.45 t	2.7 t
19.0		2.15 t	2.45 t
20.0		1.9 t	2.2 t
21.0		1.7 t	1.95 t
22.0			1.75 t
24.0			1.75 t

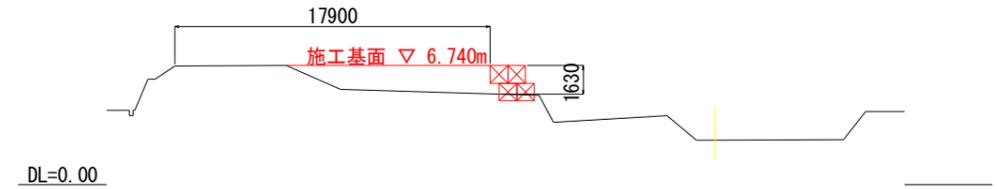
> (4.0t+0.50t) × 1.2= 5.40t (プラント)

> (2.0t+0.50t) × 1.2= 3.00t (発電機)

各資機材重量
 鋼管杭 W1= 1.4 t
 セメントサイロ W1= 1.5 t
 プラント W1= 4.0 t
 発電機 W1= 2.0 t

(フック重量 0.50 t)

断面図
(A-A)



※本図面はA1をA3に縮小している(縮尺50%)※

工事名	橋梁災害復旧工事(今津20号線・仲間橋)(23-1)		
図面名	【参考図】基礎工計画図(左岸側)その2		
作成年月日	2024年 1月		
縮尺	1:200	図面番号	4 / 8
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

ステップ③ 第1期工事

【参考図】仮設土留工計画図(左岸側)その1 S=1:200

鋼矢板
25t吊ラフテレーンクレーン定格総荷重

作業半径 (m)	ブーム長		
	L= 16.5 m	L= 23.5 m	L= 30.5 m
9.0	8.5 t	8.2 t	8.2 t
10.0	7.05 t	7.4 t	7.4 t
11.0	5.85 t	6.4 t	6.4 t
12.0	4.95 t	5.5 t	5.5 t
13.0	4.2 t	4.75 t	4.75 t
14.0	3.6 t	4.1 t	4.15 t
15.0		3.6 t	3.8 t
16.0		3.15 t	3.45 t
17.0		2.8 t	3.05 t
18.0		2.45 t	2.7 t
19.0		2.15 t	2.45 t
20.0		1.9 t	2.2 t
21.0		1.7 t	1.95 t
22.0			1.75 t
24.0			1.75 t

$> (0.51t+0.50t) \times 1.2 = 1.212t$

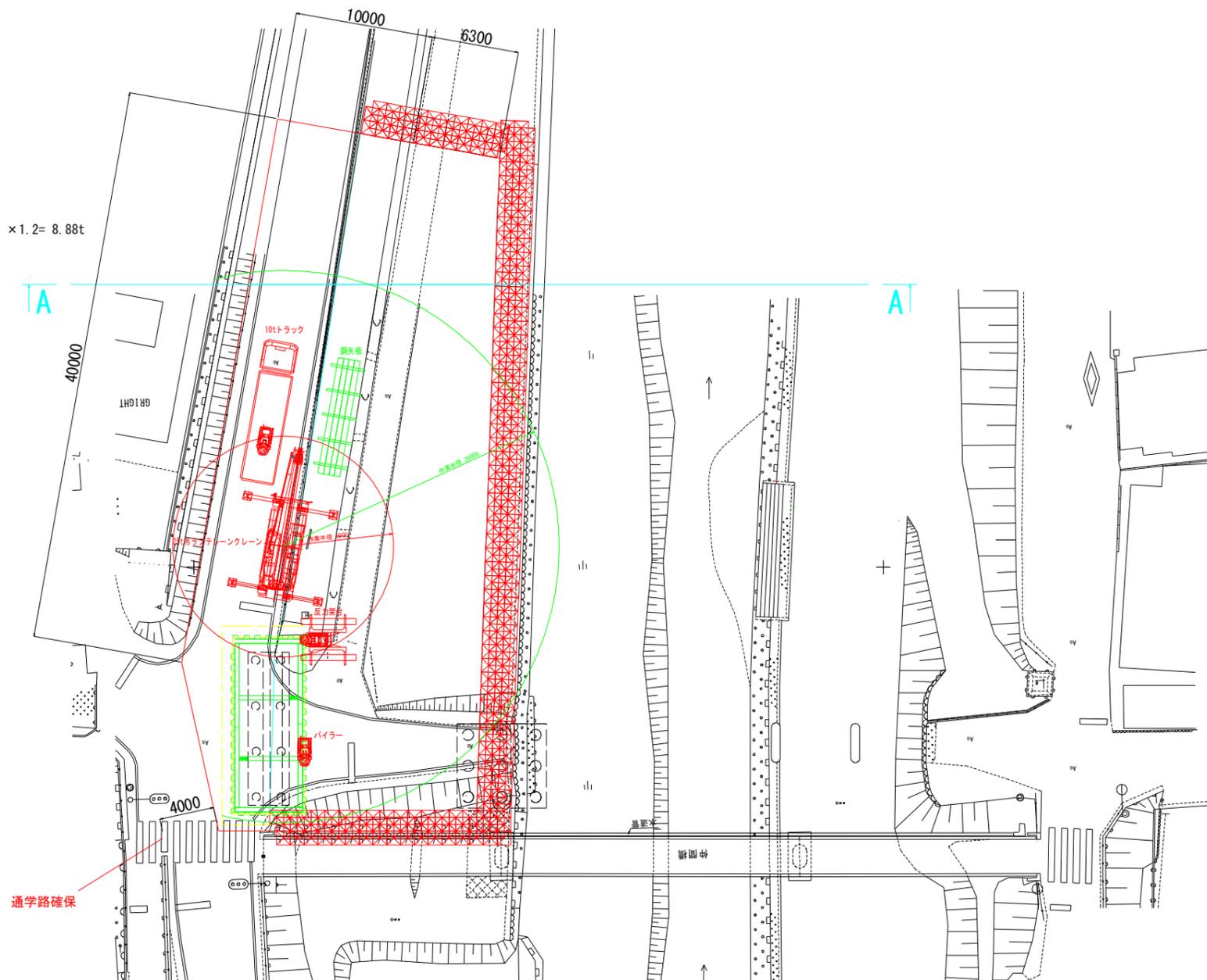
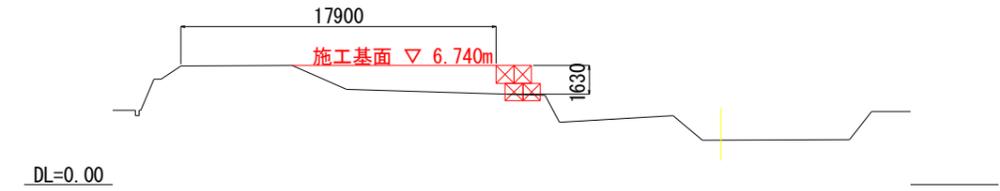
(フック重量 0.50 t)

パイラー
25t吊ラフテレーンクレーン定格総荷重

作業半径 (m)	ブーム長	
	L= 16.5 m	L= 23.5 m
6.0	14.6 t	10.2 t
6.5	13.8 t	10.6 t
7.0	13.0 t	10.1 t
8.0	10.55 t	9.1 t
9.0	8.5 t	8.2 t

$> (6.9t+0.50t) \times 1.2 = 8.88t$

(フック重量 0.50 t)



※本図面はA1をA3に縮小している(縮尺50%)※

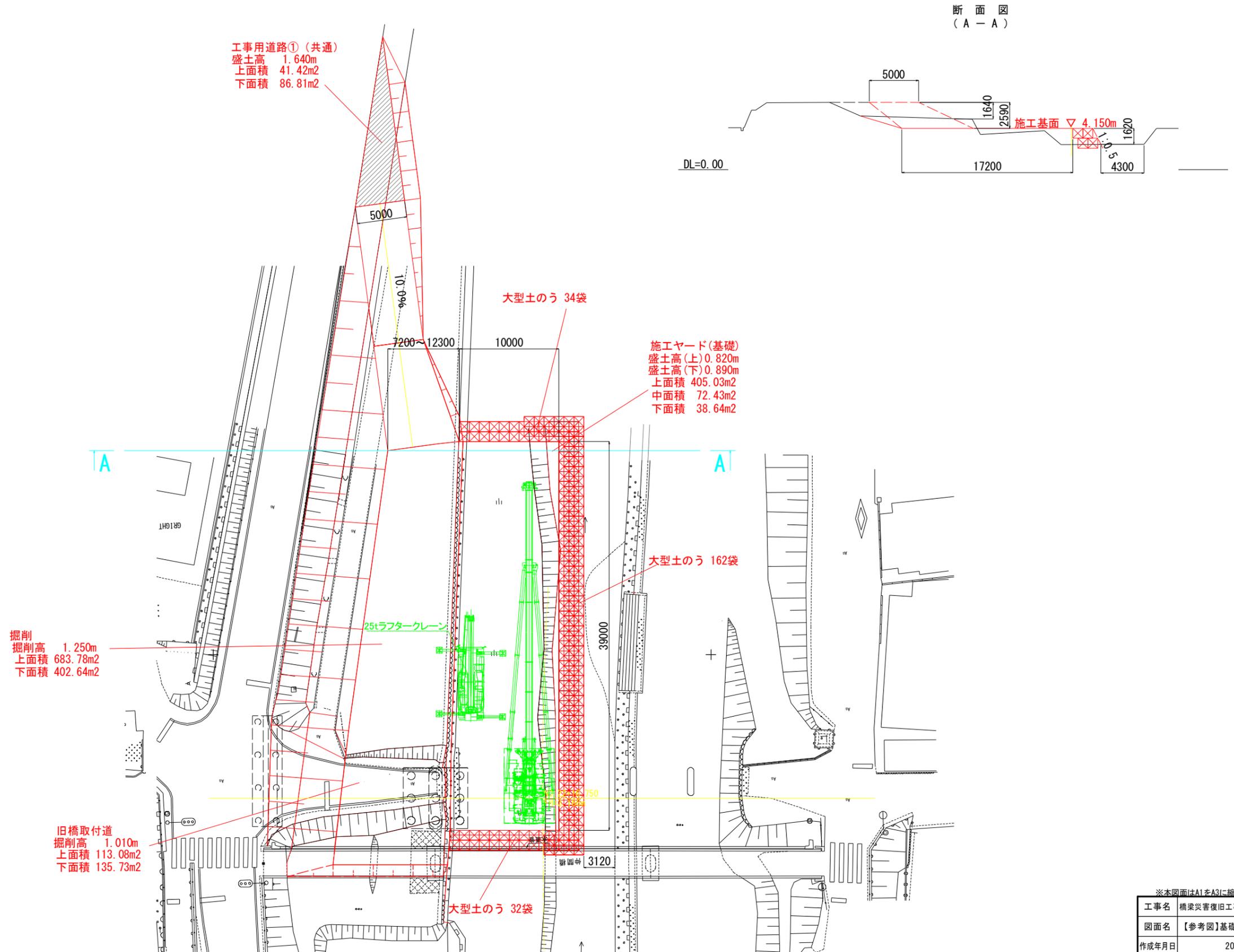
工事名	橋梁災害復旧工事(今津20号線・仲間橋)(23-1)		
図面名	【参考図】仮設土留工計画図(左岸側)その1		
作成年月日	2024年 1月		
縮尺	1:200	図面番号	5 / 8
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

ステップ④ 第2期工事

※施工基面フラット

【参考図】基礎工計画図(左岸側)その3 S=1:200

断面図
(A-A)



※本図面はA1をA3に縮小している(縮尺50%)※

工事名	橋梁災害復旧工事(今津20号線・仲間橋)(23-1)		
図面名	【参考図】基礎工計画図(左岸側)その3		
作成年月日	2024年 1月		
縮尺	1:200	図面番号	6 / 8
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

ステップ⑤ 第2期工事

【参考図】基礎工計画図(左岸側)その4 S=1:200

※施工基面フラット

25t吊ラフテレーンクレーン定格総荷重

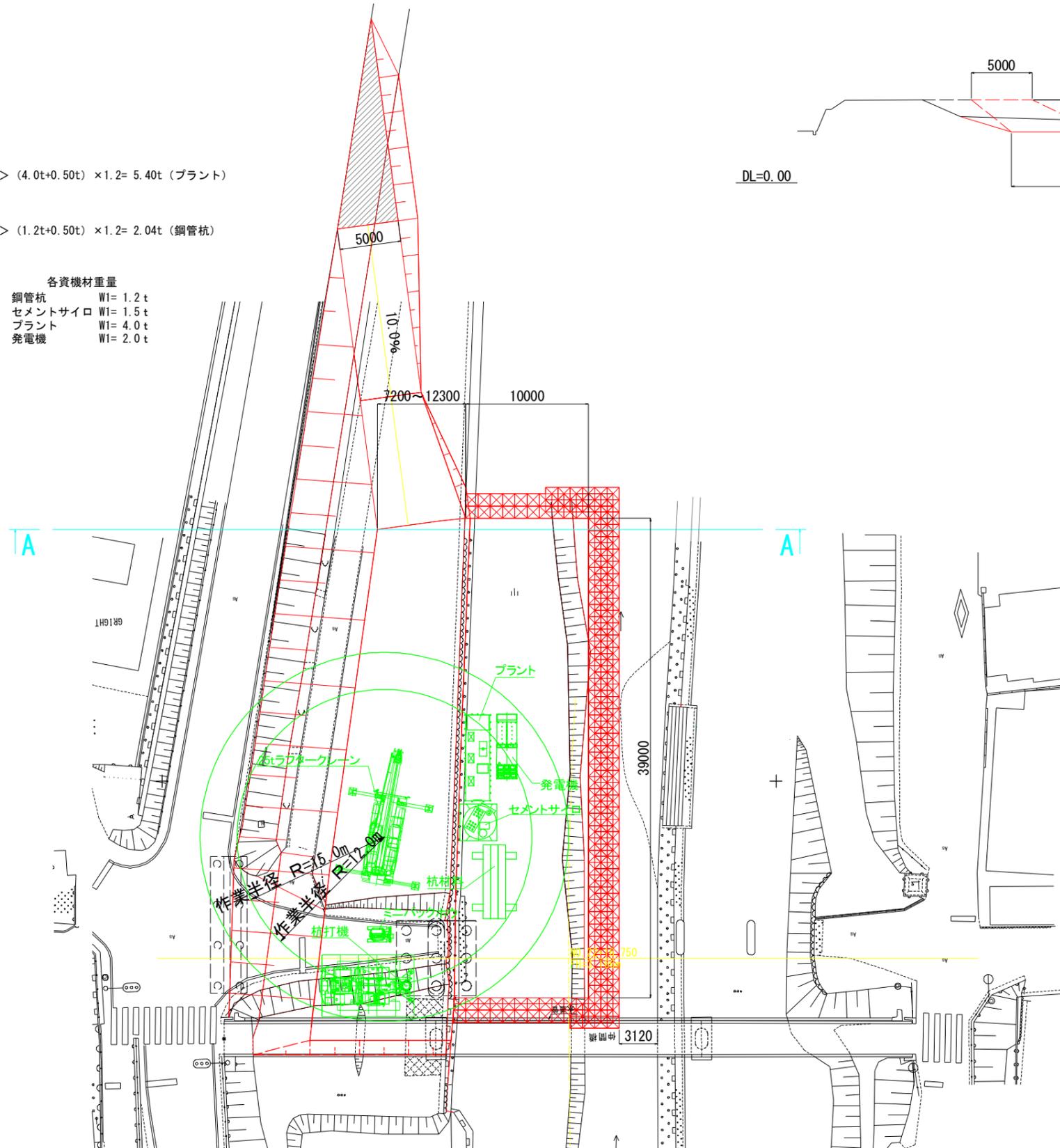
作業半径 (m)	ブーム長		
	L= 16.5 m	L= 23.5 m	L= 30.5 m
9.0	8.5 t	8.2 t	8.2 t
10.0	7.05 t	7.4 t	7.4 t
11.0	5.85 t	6.4 t	6.4 t
12.0	4.95 t	5.5 t	5.5 t
13.0	4.2 t	4.75 t	4.75 t
14.0	3.6 t	4.1 t	4.15 t
15.0		3.6 t	3.8 t
16.0		3.15 t	3.45 t
17.0		2.8 t	3.05 t
18.0		2.45 t	2.7 t
19.0		2.15 t	2.45 t
20.0		1.9 t	2.2 t
21.0		1.7 t	1.95 t
22.0			1.75 t
24.0			1.75 t

(フック重量 0.50 t)

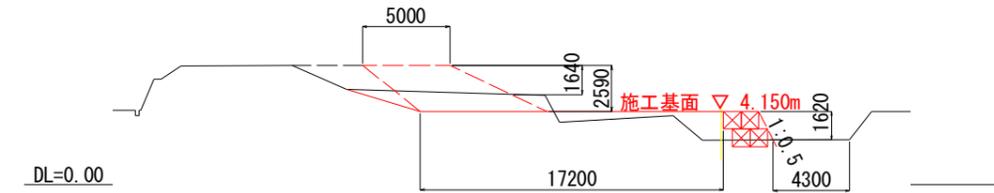
> (4.0t+0.50t) × 1.2= 5.40t (プラント)

> (1.2t+0.50t) × 1.2= 2.04t (鋼管杭)

各資機材重量
 鋼管杭 W1= 1.2 t
 セメントサイロ W1= 1.5 t
 プラント W1= 4.0 t
 発電機 W1= 2.0 t



断面図
(A-A)



※本図面はA1をA3に縮小している(縮尺50%)※

工事名	橋梁災害復旧工事(今津20号線・仲間橋)(23-1)		
図面名	【参考図】基礎工計画図(左岸側)その4		
作成年月	2024年 1月		
縮尺	1:200	図面番号	7 / 8
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		

ステップ⑥ 第2期工事

【参考図】仮設土留工計画図(左岸側)その2 S=1:200

※施工基面フラット

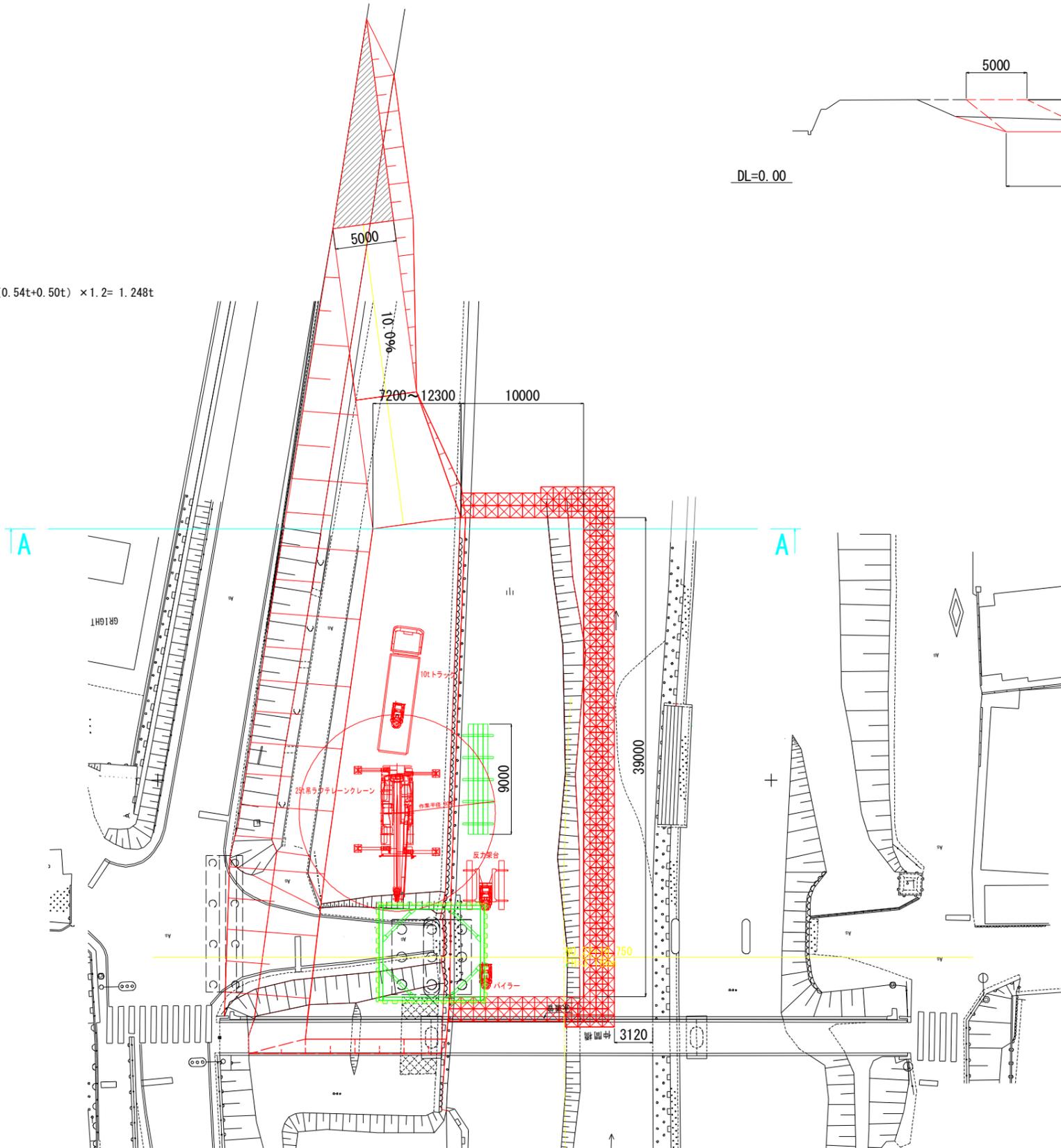
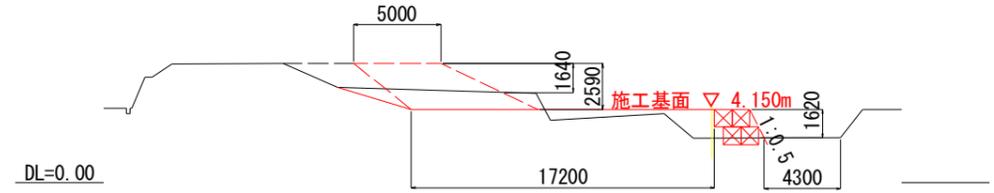
鋼矢板
25t吊ラフテレーンクレーン定格総荷重

作業半径 (m)	ブーム長		
	L= 16.5 m	L= 23.5 m	L= 30.5 m
9.0	8.5 t	8.2 t	8.2 t
10.0	7.05 t	7.4 t	7.4 t
11.0	5.85 t	6.4 t	6.4 t
12.0	4.95 t	5.5 t	5.5 t
13.0	4.2 t	4.75 t	4.75 t
14.0	3.6 t	4.1 t	4.15 t
15.0		3.6 t	3.8 t
16.0		3.15 t	3.45 t
17.0		2.8 t	3.05 t
18.0		2.45 t	2.7 t
19.0		2.15 t	2.45 t
20.0		1.9 t	2.2 t
21.0		1.7 t	1.95 t
22.0			1.75 t
24.0			1.75 t

(フック重量 0.50 t)

$> (0.54t+0.50t) \times 1.2 = 1.248t$

断面図
(A-A)



※本図面はA1をA3に縮小している(縮尺50%)※

工事名	橋梁災害復旧工事(今津20号線・仲間橋)(23-1)		
図面名	【参考図】仮設土留工計画図(左岸側)その2		
作成年月日	2024年 1月		
縮尺	1:200	図面番号	8 / 8
会社名	広建コンサルタンツ株式会社		
事業者名	福山市		